

こころのうた
(愚者の箴言)

魂の叫び
(愚か者の言葉)

清瀧源一郎

目次

ノーモアヒロシマ	1
反戦か	2
甘え	3
ひとりぼっち	4
かっこいい	5
精神病のうた	6
ダニエル	7
ふるさと	8
生きる	9
共鳴	10
Sさんのうた	11
Hさんのうた	12
一里塚	13
西船橋	14
人生	15
うそ	16
止まった時間	17
ライター	18
今宵、あなたと、月光浴	19
あの時	20
西荻	21
Fさん	22
仙人	23
大桜	24
Mちゃん	25
胸突坂	26
クリフト展	27
許してください	28
4ストロークなあなた	29
佇む少女	30
あなたは、なぜ。(自ら命を絶った女子高生に捧ぐ)	31
命のデフレーション(自ら命を絶った女子高生に捧ぐ)	32

レクイエム（自ら命を絶った人たちに捧ぐ）	33
雨は涙色 スイサイド・レイン（自ら命を絶った男子高校生に捧ぐ）	34
Solitude 孤独な闘い（自ら命を絶った女子高校生に捧ぐ）	35
いじめ	36
スイサイド・パラダイス ハライソ（自ら命を絶った子供たちに捧ぐ）	37
三十六計逃げるにしかず。	38
人間	39
鈍牛のように歩む。	40
恥をかこう。	41
しょうがいしゃ	42
世間体（実体のない魔物）	43
天使の旅路	44
自分からは逃げられない。	45
30年のタイムラグ（合気道なあなた）	46
作業着の天使（ミモザ）	47
ペルソナー 善良な市民（という仮面を被った人々）	48
管理社会・監視社会	49
女神の手	50
海へ行く	51
死のダイブ（来世であいましょう。）	52
城之崎	53
吉野川	54
大阪	55
死ぬな！ 生きろ！	56
若者よ、死に急ぐな！	57
愛する人	58
未来堂	59
99.99%の絶望と、0.01%の希望。	60
人間、その矛盾した存在。	61
凍った少女	62
F 快速暴走車輜	63
思い出	64
働き者の人形	65
天の裁き	66
死は神の救いなのか？	67
愛のレコンキスタ	68
美しき国	69
愛に生きる	70
最後の波（ラストチャンス）	71
愛のシナジー	72

愛に殉ずる	73
幸せを祈る	74
愛するということ	75
愛の試練	76
運命に全てを委ねる。	77
真実の愛	78
人間は罪深い存在なのか?	79
木人	80
アメリカ	81
オーストラリア (ジョージガール)	82
我が青春のランディオーネ	83
我が青春のスターレット	84
我が心のクラブマン	85
春の夜の夢	86
桜の咲く頃	87
やさしいあなた	88
プロビデンス (人様の声は、神様の声)	89
真実の力 (プロビデンス)	90
信じる	91
99, 99%の狂気と、0, 01%の正気	92
パステルカラーのあなた	93
因果律	94
真理への旅	95
朋遠方より来る有り	96
心は自由だ	97
他人の風景	98
この瞬間を生きる。	99
いつも心は	100
昔は良かった のか	101
こころ	102
the king of city pops	103
美しき人へ	104
運命の輪	105
真夏の工事現場	106
天は見ている、知っている。	107
黄昏の街で	108
灼熱の街	109
死にたくなった時にだけ思い出してごめんね。	110
死なんがための生なのか?	111
30年の禅問答 (面壁30年)	113

ありのままを受け入れる、全てを受け入れる。	114
弱くていいじゃないか。	115
魂のレコンキスタ	116
三尺去って師の影を踏まず。	117
人は嘘をつかなければ生きていけないのか？	118
人生は、タイトロープ。	119
絶望は、希望の母。	120
灰身滅智	121
三界唯心	122
運命は、性格の中にある。	123
克己復礼	124
立命	125
窮すれば通ず。	126
晩秋の海にて。	127
モデムは生きていた。	128
無用の用。	129
アメリカン・ニュー・ソート（光明思想）	130
100%なんてない。（見切り発車でいこう！）	131
人間は欲望の塊なのか？	132
生きるためには、勇気と強さが必要だ。	133
弱そうで強いのが、一番いい。	134
コミュ力、マイナス無限大。	135
愚か者で行こう。（大愚は大賢に通ず。）	136
愛のメタファー。	137
現実主義者と理想主義者。	138
心のホイルスピン。	139
誹謗中傷社会。（毀誉褒貶を気にするのは愚か者）	140
今、元気を失くしている朋へ。	141
人は人間性に始まり、人間性に終わる。	142
iphone は生きていた。	143
生命力を100%出せ！	144
メンタル・デトックス	145
ネット世界は小宇宙。	146
クリスマス。	147
憎しみに似た何か、そして、愛に似た何か。	149
人生は、是道場。（魂の鍛錬）	150
今が全てだ！！	151
タイムマシン。	152
冷静になれ！！	153
相手の立場で考えてみる。	154

カオスからコスモスへ。(混沌とした世界の中で)	155
愛する人へ。(Forget menot)	157
トップスターは星になった。	158
霊妙不可思議大自然。	160
メンタル・ゾンビとして生きる。	162
果たせなかった約束。(汝、誓うなかれ。)	163
メンタル・アルケミー。(或いは、魂の錬金術)	164
親という存在。	166
チョコレート	167
春に届いた葉書。	168
心の壁を取り払おう。	169
みんな何かを背負っている。	170
生命の神秘。	171
ハンバーガー。	172
時の重み。(或いは、心のタイムトラベラー)	173
ふつうってすごい。(でも、ふつうって何だろう?)	175
欲。	176
イブ・イブ。	177
クリスマス・イブ。	178
クリスマス。(その優しさが、時として人を傷つける。)	179
人を喜ばせると、自分が幸せになる。	180
神の見えざる救いの手。	182
貴方の名前を思い出せなくなりそうです。	183
UFO	184
成道前の魔境。(テンプテーション)	185
大晦日。	186
新年を迎えたのに、なんか苛々する。	187
クラス会。	188
地震の時 あの家族	189
ipod	191
鯖。	192
Not even justice , I want to get truth ! (太陽の牙ダグラムより引用)	193
大震災に思う。	195
成人の日を迎えて。	196
あの日の誓い。	198
生と死 (芥川龍之介、マインレンデル、五木寛之、ゴーリキーから引用)	199
得をする算段。(小林秀雄の言葉を引用)	201
新潟から城崎への旅。(ガーネット・クロウを聴きながら)	203
冬の海。(能登半島に思いを)	204
弱さの自覚は、強さの自覚に勝る。(パスカルのパンセにヒントを得て。)	205

天に委ねよう。	206
愛の欠乏。	207
ただ真理が知りたいだけ。	209
朝永博士の量子力学。	211
朝永三十郎博士。	213
根性。	215
高等遊民。	216
海へ行った。(サバシスターを聴きながら。)	218
とある物理学者。	219
コンビニで働いていたあの子。(ミスチルの「HERO」を聴きながら。)	221
高校生の頃考えたタイムマシン。(過去観測機。)	223
収集癖。	225
AI。	227
とある昔話。(大根 . . . ?)	228
父親の存在。(父の日ではない日こそ。)	230
全集。	232
あの日 . . . 、ハンバーガー . . . 。	234
小野道風。(なんべんも、なんべんも。)	236
百科事典。	238
大切なことほど、忘れてしまう。	240
キリスト様のように . . . 、或いは . . . 、巨人アトラスのように . . . 。	241
K へ。	243
剣道五段の男。	244
謝るといふこと。	246
挨拶。	248
鳩の巣キャンプ場・貴方の思い出。(ガーネット・クロウを聴きながら。)	249
こころのかけら . . . 。	251
台湾。	252
辞書。	254
Fool の勇猛心。	256
弱者と強者・善人と悪人。	257
立春大吉。(暦の上では春が来た。)	259
K よ . . . 。	260
10万キロ突破。(さすがはヴィッツ・さすがは TOYOTA。)	262
過去は変えることができない . . . 、未来は . . . 。	264
安全運転。	266
私が不安を感じるときは . . . 。	267
言霊。	268
弱い人ほど . . . 、善を為すほうが良い . . . ?	270
強さと弱さは . . . 、表裏一体 . . . ?	271

世捨て人。	273
大いに笑おう。	275
万年筆。	277
Y へ。	278
とあるバイク屋。	280
牛井太郎。	282
とある物理学教授の思い出。	284
ノッポさんの思い出。	286
東洋古典。	288
文化と culture.	290
バレンタインデーを前に。(真心ブラザーズの「ひこうきぐも」を聴きながら。)	291
逆境。	293
バレンタインデー	295
星になった愛犬。	296
運転マナー。	298
はじめての野〇。	299
「サンデードライバー」	300
京都から来た男 (桂浜にて。)	302
時には泥をかぶることも必要だ ?	304
Piazza.	306
生ききている人間は (小林秀雄の言葉から)	308
季節を忘れてしまいそうです	310
あの日 . . . キャンプファイヤー (ガーネット・クロウ「夢のひとつ」 を聴きながら。)	311
人間の相場。(氷川清話より引用。)	313
スウェーデンボルグの霊界日記	315
パン屋さんで あの日	317
不幸を感じている人より不幸に慣れて了った人の方が不幸である。(小林秀雄 の著書から。)	319
秘密性の強い人は	321
三連休	322
家貧にして未だ貧ならず (安岡先生の著書のあとがきより引用。)	323
オレオ に似たビスケット ?	324
グランツーリスモ・スポーツ。	326
人間は絶えず孤独にならなければならない。(安岡先生の著書より引用。)	328
アルフォート	330
Z の男	331
うぐいす	332
弱さを見せることができるのは、強さの証だ	334
明日世界が終わるとしても	336

グランツーリスモ7・・・。	337
SNS・・・。	339
昼も夜も働く男・・・。	340
柔道白帯の男・・・。	342
内弁慶・・・。	345
意地を張らなければ・・・。	346
清濁併せ呑む男になれ・・・。	347
コーヒー・・・。	348
アイスクリーム・・・。	349
道徳観念。	350
Wi-Fi・・・。	351
気。	353
麺好きだった男・・・。	354
キットカット・・・。	356
Bspec・・・。	357
ファイル更新・・・。	358
カーテンを開けると・・・。	359
風の強い日に・・・、海へ・・・。	361
ブラジルに渡った男・・・。	362
・・・筋トレ・・・。	364
フィナーレ・・・。	366
・・・奇跡・・・。	368
保育園に通っていた頃・・・、給食の・・・、思い出・・・、のようなもの・・・。	369
スマートウォッチ・・・。	371
ウイークリー・チャレンジ・・・。	373
アンドロイド（ガーネット・クロウの「風とレインボー」を聴きながら）・・・。	374
大学サッカー部の男（ガーネット・クロウの「世界はまわると言うけれど」を聴きながら）・・・。	375
魚・・・を・・・食べると・・・。	377
家に帰ると・・・。	378
剣道八段の男・・・。	379
札幌の女性（ひと）・・・（ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら）・・・。	381
ランチャ・デルタの男・・・。	383
手紙や葉書を書くということ・・・。	385
Wii U・・・。	386
日銀へ行った男・・・。	388
近藤正臣さんは、電気羊の夢を見るか・・・？（フィリップ・K・ディックを真似した・・・。）	389
Nintendo Switch Lite・・・。	391

高原の少女・・・。	393
ディズニーランド・・・。	395
ボン・マルシェ・・・。	397
ヒッチハイクの男・・・。	399
天の試練・・・。	401
昔・・・、バイクに乗っていた頃・・・、夕暮れ・・・、ライトが・・・。	403
黙養・・・。	405
自分の救済者は自分自身である・・・。ブッダ様の言葉・・・。(天日矛さん の動画より・・・。)	406
戻ってきた葉書・・・。	407
誕生日・・・。	408
ネイションズカップ・・・。	409
数学の参考書・・・。	410
ZARD・・・。	411
公園を歩いていると・・・ネコが・・・。	412
将棋・・・。	413
数学と将棋が得意だった男・・・。	415
デイリーレース・・・。	417
悪魔的にうまい!!・・・ロッチェ・・・克蘭キー・・・。	418
ロッチェ・ガーナミルクチョコレート・・・。	420
日記・・・。	422
ゴールデンウイーク・・・。	423
安定した遅さ・・・。	424
懐かしい人からのメール・・・。	425
メインフレーム・・・。	426
ネイションズカップ・・・予選・・・は・・・疲れる・・・。	427
懐かしい人・・・。	428
ファインマン物理学・・・の・・・講義録・・・。	429
ネイションズカップ・・・予選・・・最終ラウンド・・・。	430
マウス・・・。	431
大型連休・・・最終日・・・を・・・迎えて・・・。	433
人生・・・生きるということ・・・。	434
人は・・・何を・・・恐れているのか・・・？	436
86の女性(ハチロクのひと)・・・。	438
自分の殻を破るということ・・・。	439
窓・・・。	441
「常に本物であれば、逆転できる。」・・・ソクラテスの言葉・・・(ネットより 引用)・・・。	443
キーボード・・・。	444
久米仙人・・・。	446

ヘパリーゼ・・・。	447
自分の過去と向き合う・・・。	448
ビーチバレー大会・・・。	449
グランツーリスモ7・・・スーパーフォーミュラ・・・。	450
グランツーリスモ7・・・マニファクチャラーズカップ・・・予選・・・第 4ラウンド・・・。	451
運・・・鈍・・・根・・・。	453
モラル・・・と・・・道德・・・。	455
大努力・・・。	457
人生・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。	458
「あまりにも自由なのは、よいことではない。何もかも不如意なのは、よいこ とではない。」(パスカルの「パンセ」より引用・・・)・・・。	459
天才・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。	461
人生の瑣事・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。	463
グラウンド・ゴルフ大会・・・。	465
ロト6・・・。	466
フロオベル・・・。	467
泣いた赤鬼・・・(ヒロスケ童話より・・・)・・・。	468
ランニング・・・。	470
ギリシャ語・・・。	471
夏は・・・行事が・・・重なる・・・。	472
戦争と平和・・・。	473
哲学科の男・・・。	474
理工学部の男・・・。	476
トルストイ・・・。	478
ラテン語・・・の・・・辞書・・・。	480
ヘブライ語・・・の・・・本・・・。	481
ランニング・・・。	482
疲れた時には・・・チョコレート・・・。	483
生きることに・・・疲れた・・・。	484
ギース・ハワード・・・。	485
部屋の片付けが・・・下手だ・・・。	486
矢野健太郎先生の・・・数学小辞典・・・。	487
この季節になると・・・アイス・・・が・・・。	489
聖書・・・。	490
ストイケイア・・・ユークリッド・・・原論・・・。	492
父の日・・・を・・・迎えて・・・。	494
誠実・・・(朝日文庫・中国古典先20・史記三より引用)・・・。	495
人間の・・・欲・・・。	497

「福と禍とは、慎むと慎まざるにあり。」・・・白楽天の言葉・・・。(貝原益軒の「養生訓」・・・松田道雄訳より引用・・・。)	498
睡眠は・・・少ないほうが良い・・・?	499
この時期は・・・疲れる・・・。	500
358・・・。	501
雨の日曜日・・・海へ・・・。(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・。)	502
「本当に大切なことは、目に見えないんだよ。」(サン・テグジュペリ「星の子さま」より引用・・・。)	504
真実の中に嘘が有り・・・嘘の中に真実がある・・・?	506
成功にたえられない人もいる・・・?(カール・メニンジャー「おのれに背くもの」より引用・・・。)	507
暗夜行路・・・。	509
ギリシャ文字・・・。	510
不条理同盟の男たち・・・変人・・・?(ガーネット・クロウ「短い夏」を聴きながら・・・。)	511
Kα γ η σ π ε ρ α・・・。	513
今年も・・・半年が・・・過ぎ去った・・・。	515
対人不安は・・・自分を・・・愚か者だと思えば・・・楽になるらしい・・・。(観音経の解説書より引用・・・。)	516
久しぶりの旅・・・。	517
新紙幣・・・。	518
ただ・・・ひたすら・・・暑い・・・。	519
空手チャンピオン・・・の・・・兄・・・。	520
真夏のチョコレート・・・。	522
東大理系卒の英語講師・・・。	523
古代ギリシャ文明・・・。	526
本を読むとき・・・やたらと・・・タバコを吸う・・・。(小林秀雄も書いている・・・。)	528
学生時代・・・帰り道・・・コンビニで・・・。(徳永英明さんの「レイニー・ブルー」を聴きながら・・・。)	529
三ツ矢サイダー・・・。	530
土いじりをすれば・・・強くなれる・・・。(養老先生の著書より引用・・・。)	531
ドイツ語の・・・担任の先生・・・。	532
オリンピック銀メダルの男・・・。	534
読書傾向は変わる・・・。	536
・・・夏・・・。	537
・・・ネコ・・・。(ガーネット・クロウ「Nora」を聴きながら・・・。)	538
トンボ・・・。	539
暑い・・・。	540

知らない内に、人を傷つけていることも多い・・・？	541
シェンキーウイツ・・・二人画工・・・。	542
Education・・・。	543
他人を批判している時は・・・。	544
台風が来れば・・・涼しくなるのかな・・・？（ダイアーストレイツを聴きながら・・・。）	545
Farewell MyLovely・・・。（アラン・パーソンズプロジェクトを聴きながら・・・。）	546
グランツリースモフ・・・に・・・飽きてきた・・・。	547
昔読んだ本を・・・読み返すと・・・。	548
掃除をすると・・・。	549
恥をかいても・・・傷ついても・・・人間関係を・・・広げていこう・・・。	550
強くなるということは・・・鈍くなるということ・・・かもしれない・・・。	551
同級生っていいもんだな・・・。	552
「さよなら」・・・と・・・言うこと・・・。（養老孟司先生の著書より引用。）	553
蝉が・・・鳴いている・・・。	555
暑い・・・暑すぎる・・・溶けそうだ・・・。	556
1973年のピンボール・・・（村上春樹先生の小説・・・。）・・・。	557
最近・・・なんか・・・疲れた・・・。	559
八大龍王様・・・雨降らせ給え・・・。	560
熱帯夜・・・というか・・・もう・・・熱帯より暑い・・・。（プリンセスプリ ンセスを聴きながら・・・。）	561
8月6日に思う・・・。	563
小説を（本）を読むということ・・・。	565
野火（大岡昇平先生の小説・・・。）・・・。	567
いいカッコをしようとする、と、苦しい・・・。	568
夏休み・・・？	569
意地悪なことをする人も・・・いるもんなんだなあ・・・。	570
独りよがりの真面目さ・・・（独りよがりの正義）・・・。	571
名誉や利益を求めずに、責任だけを取ろう・・・。	572
学生時代に・・・読んでいた・・・本を・・・今読むと・・・。	573
冬の寒さを・・・思い出せない・・・。	574
雨はどこへ行った・・・？	575
十字架を背負って・・・（山下達郎さんの「希望という名の光」を聴きながら・・・）・・・。	576
消えてしまいたい・・・と・・・思ったことは・・・何度もあった・・・。	577
どうすれば・・・罪を・・・償うことができるのか・・・？	579
懐かしい人・・・って・・・、なんか・・・いいよね・・・。	580
蝉の惑星・・・？	581
幻魔大戦・・・（平井和正先生の小説・・・。）・・・（ローズマリー・バトラー を聴きながら・・・。）・・・。	582

蝉の声・・・	584
囁かれながら・・・生きよう・・・。(ダイアーストレイツを聴きながら・・・)	585
地獄の釜の底をぶち抜いたら、そこは極楽だった・・・(谷口雅春先生の言葉・・・)	586
命・・・	587
罪・・・(ガーネット・クロウ「Love LoneStar」を聴きながら・・・)	588
数学・・・の・・・単位・・・(オブレビオン)・・・(ガーネット・クロウ「短い夏」を聴きながら)・・・	589
人は・・・愛されるために・・・生きるのか・・・?(キースエマーソンを聴きながら・・・)	590
汗・・・。(マーク・ノップラーを聴きながら・・・)	592
鈴虫・・・?	593
世界各地で・・・	594
生きることは・・・苦しい・・・?	595
人力車・・・(ELPを聴きながら・・・)・・・	596
台風・・・(マイク・オールドフィールド「ムーンライト・シャドウ」を聴きながら・・・)	597
夏が・・・(山下達郎さんの「さよなら夏の日」を聴きながら・・・)	598
8月も・・・もう・・・	599
誰もが・・・悩みを・・・抱えている・・・	600
9月・・・(竹内まりやさんの「September」を聴きながら・・・)・・・	602
大安・・・	603
野草・・・	604
百足・・・	605
病は気から・・・	607
罪と記憶・・・(ELOの「タイムトラベラー」を聴きながら・・・)・・・	609
ナポリ・・・(真心ブラザーズを聴きながら・・・)・・・	611
魔法使いの弟子・・・	614
ホカベン屋の・・・女性(ひと)・・・(小松未歩さんの歌を聴きながら・・・)	616
好奇心は・・・脳にいい・・・(ラジオで聴いた・・・)・・・	619
親に・・・苛々するのは・・・何故だろう・・・?	620
シェーキーズ・・・	621
バッタ・・・	624
TRの女性(ひと)・・・(工藤静香さんの「抱いてくれたらいいのに」を聴きながら・・・)・・・	625
シャアはなぜ、ドムに乗らなかったのか・・・?(ZARDの名曲を聴きながら・・・)・・・	627
今はもう・・・秋・・・なのか・・・?	628
山へ行った・・・	630

引きこもっていた頃・・・(B'z の「ミエナイチカラ」を聴きながら・・・)	632
長かった・・・今年の夏も・・・もう・・・終わりなのか・・・(Doasinfinit 「柊」を聴きながら・・・)	634
K・・・(B'z 「ミエナイチカラ」を聴きながら・・・)	636
生協食堂・・・(森高千里さんの「私の夏」を聴きながら・・・)	637
シャープのメビウス・・・(一昔前のノートパソコン・・・)	639
海へ行った・・・(ガーネット・クロウを聴きながら・・・)	641
なんだか最近・・・苛々する・・・親に対して・・・	643
雨・・・(森高千里さんの「雨」を聴きながら・・・)	644
誰にも負けるな・・・(祖母の言葉・・・)	645
久しぶりの・・・グランツーリスモ7・・・(Do As Infinity 「柊」を聴きなが ら・・・)	646
新しい・・・テレビ・・・	647
マスク・・・	648
シャープ・ザウルス・・・	649
Xbox One・・・	650
プレステ2は・・・生きていた・・・	651
剣豪2・・・	652
メンタルにいいこと・・・	653
久しぶりの・・・草刈り・・・(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きな がら・・・)	655
昔・・・ある公園にて・・・(ガーネット・クロウ「風とRAINBOW」を 聴きながら・・・)	656
ランニング・・・	658
自分正常化・・・	659
タマムシ・・・	660
サムライスピリッツ・・・	661
ホカ弁屋の店員さんは・・・どこに行った・・・?	662
富士通のノートパソコン・・・	663
カワサキ・スーパーシェルパ・・・	665
スターラスター・・・	666
一週間ぶりに・・・走った・・・	667
こころのバイク乗り・・・(令多映子さんの「SailOn～風に向かって」を聴き ながら・・・)	668
緑色の女性(みどりいろのひと)・・・(吉田拓郎さんの「流星」を聴きなが ら・・・)	669
人生は・・・ゲームに・・・似てる・・・?	671
EA UFC4・・・	672
真・女神転生III・ノクターン・HD リマスター版・・・	673

積善改過・・・	674
友達・・・	675
ああ・・・親に・・・苛々する・・・	676
牛若丸・・・(MANISHの「煌めく瞬間に捕われて」を聴きながら・・・)	678
黄色い・・・リバーシブルの・・・ブルゾン・・・(令多映子さんの「SailOn ～風に向かって」を聴きながら・・・)	680
学生時代の・・・ネルシャツ・・・	682
友情の青いシャツ・・・(島谷ひとみさんの「亜麻色の髪の乙女」を聴きなが ら・・・)	683
ここを閉ざしていたのは・・・自分自身だった・・・	685
何故親に苛々するのだろうか・・・?	686
ここを閉ざして苦しむよりも、ここを開いて傷ついたほうが良い・・・	687
親孝行をしようと思っているのに、どうして親を苦しめてしまうのであろう か・・・?(薬師如来真言を聴きながら・・・)	688
たまごごはん・・・	690
初冬の海へ・・・	691
マーガリン・・・	693
EA UFC2・・・xbox one バージョン・・・輸入版・・・(ガーネット・クロウ 「風とRAINBOW」を聴きながら・・・)	694
友情・・・	695
ログインと、サインイン・・・	696
冬至・・・	697
イブイブ・・・	698
クリスマスイブ・・・	699
とうとう・・・クリスマス・・・(佐野元春さんの「Christmas timeinblue」を 聴きながら・・・)	700
肉餃子・・・	701
肉餃子・・・	701
器・・・	703
プリンター・・・の・・・故障・・・	705
コンビニで働く女性・・・	707
ポリテクセンターの女性・・・	708
孟母断機・・・(大修館書店「社会人のための・漢詩漢文・小百科」より引 用・・・)	710
大晦日・・・今年は・・・本当に・・・疲れた・・・(ピンク・フロイドを聴き ながら・・・)	712
たこ焼き屋の女性・・・	713
新年早々、親に苛つく・・・	714
新年早々・・・ひとつの恋が終わった・・・	715
初めて買ったDVD・・・	716

三社詣で・・・。	719
ゴミの中で寝ていた親友・・・。	720
寺田の鉄則・・・。	722
最近・・・少し・・・太ったかなあ・・・？	724
ハンバーグ・・・。	725
海辺のたこ焼き屋さんに・・・また行った・・・。	726
遠回り・・・。	728
レディーボーデン・・・。	730
サザンが好きだった女性・・・。	731
知って犯した罪と、知らずに犯した罪・・・。	733
最近・・・やたらと・・・コーヒーを飲む・・・。	735
カラスの行水・・・？	736
前田の物理・・・。	737
歯磨き・・・。	739
最近・・・よく食べる・・・。	740
わがまま・・・。	742
おしるこの缶ジュース・・・？・・・缶入りおしるこ・・・？（ガーネット・クロウの「忘れ咲き」を聴きながら・・・。）	743
カラオケスナックの女性・・・。	745
歯医者さんの思い出・・・。	747
歯医者さんの思い出・・・2・・・（ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・。）	749
初めて・・・畑に・・・種を巻いた・・・（ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・。）	751
相撲好きだった男・・・。	753
久々の・・・ネイションズカップ・・・。	755
ミニスカートの女性・・・。	756
自動販売機・・・。	758
同級生・・・。	759
親に・・・苛々する・・・なんか・・・情けない・・・。	760
さすがに・・・回転焼きも・・・飽きてきた・・・。	761
ネットで出会った貴方・・・（ガーネット・クロウ「世界はまわると言うけれど」を聴きながら・・・。）	762
台湾の・・・バスガイドさん・・・。	763
父親に・・・苛々するようになったのは・・・なぜだろう・・・まあ・・・ど うでもいいことではあるが・・・。	765
強くなれ・・・。	766
氷の砂漠・・・。	767
朋・・・確かに・・・繋がっている・・・。	769
寒い時こそ・・・筋トレ・・・。	770

真っ赤なソアラ・・・。	771
唐揚げ・・・。	773
回転焼き・・・。	774
生きるということ・・・死ぬということ・・・。	775
レビンの男・・・。	777
天の評価・・・。	779
海沿いを走る・・・。	781
point of no return (回帰不能点)・・・(ケミストリーさんの曲のタイトルを 借りた・・・。)	783
この道・・・。	784
「酒の一滴、血の一滴」・・・と言っていた先輩・・・。	785
ベルマーク・・・。	787
Zippo・・・。	788
努力と・・・才能・・・。	789
毒親	791
昔・・・親友がいた・・・。	792
オイル交換・・・。	793
消しゴム・・・。	794
こころの絆創膏・・・。	795
小鳥さんが・・・横断歩道を・・・。	796
チョコレート饅頭・・・。	798
春の嵐・・・。	799
風前の灯・・・。	800
菜の花・・・。	801
草刈り・・・。	802
週に2日・・・。	803
夢・・・。	804
マーテルジャック・N	805
国連に行った女性・・・。	807

ノーモアヒロシマ

ノーモアミナマタ

ノーモアナガサキ

ノーモアヒロシマ

うらんでいるわけじゃない。

ふくしゅうしたいわけじゃない。

おなじあやまちを、二度と繰り返してほしくないだけ。

反戦か

反戦

反戦

反戦

戦争は絶対にしないほうがいい。

でも、反戦と言いながら

何かと闘っている。

なんで、闘うのだろう。

甘え

甘えてる 甘えてる

根性がない 根性がない

皆が言う

皆が言われる

でも本当は、

ちょっとだけ、やさしくしてほしいだけ、

ちょっとだけわかってほしい、だけなのに。

ひとりぼっち

ぼくは、ひとりぼっち。

なたも、ひとりぼっち？

でもだいじょうぶ。

ぼくには、ぼくという友達がいる。

あなたには、あなたという友達がいる。

だから、だいじょうぶ。

かっこいい

かっこいい

かっこいい

かっこいい人はたくさんいる。

でも、一番かっこいいのは、

やさしい人。

精神病のうた

精神病

精神病

精神病と言っては、差別する。

障害者と言っては、差別する。

在日と言っては、差別する。

部落出身と言っては、差別する。

どうして、差別なんてするんだろう。

ダニエル

夢を乗せて、飛行機が飛び立つ。

いろんな夢を乗せて。

飛行機がやってくる。

壊れた夢を乗せて。

ふるさと

都会に出た人は、

ふるさを思う。

夢破れ、

ふるさに帰ったとき、

そこは、ふるさとはなくなる。

生きる

生きる

生きる

生きる

とにかく、生きる。

何としてでも、生きる。

共鳴

私の心の悲鳴と、

あなたの心の悲鳴が、

共鳴している。

悲しいけれど、

美しい。

Sさんのうた

Sさん、ごめんね。

何もしてあげられなかったね。

また、大滝さんの話したかったね。

今では、大滝さんのそばで、大滝さんの歌、聴いているのかな？

Sさんの、優しい笑顔、今でも思い出すよ。

大滝さんの音楽聴くたびにね。

なた、いつか会えるよね。

おやすみ。

Hさんのうた

いつも笑顔のHさん。

周りの人まで、笑顔で幸せにするHさん。

ずっと、笑顔で、幸せでいてね。

Hさんと出会っただけで、僕は幸せです。

おやすみ。

一里塚

どうやら、

間違った道を、歩いてきたようだ。

戻れるだろうか？

あの日の、

江戸川橋へ。

西船橋

何故あの日、西船橋へ行かなかったのか？

何故、終点まで、乗って行かなかったのか？

何故、途中で乗り換え、仕事に行ったのか？

いつか、

絶対に行く！

西船橋へ。

人生

間違いばかり、繰り返してきた。

までも、間違いばかり繰り返している。

これからも、

間違いを、繰り返し続けるのだろう。

うそ

嘘つきだといわれた。

何度も言われた。

確かに、

俺は、嘘ばかりついてきたのだろう。

自分自身に対してさえも。

止まった時間

私の時間は、

あの日の、江戸川橋の上で、とまったままだ。

今もなお。

ライター

コンビニで、ライターをもらった。

タバコを一個買って、

ライターも買おうとしたら、

コンビニのお姉さんが、ライターをサービスしてくれた。

たった、一個買っただけなのに、

「いつも買ってくださいから」

とって、ライターをくれた。

ありがとう、

コンビニのお姉さん。

今宵、あなたと、月光浴

あなたは、いま、どこにいるのでしょうか。

こんな夜には、

あなたと二人で、お月様の光を浴びたいものです。

素敵なあなたと。

今どこで何をしているかわからない、あなたと。

今夜は、雨なのですが。

それでも、こんな夜には、

あなたと二人で、お月様の光を浴びたいものです。

雲の上には、お月様がいらっしゃるのですから。

あなたにあえて、本当によかった。

あの時

あの時、君は何を言いたかったのか？

あの時、ぼくは、何と言ってほしかったのか？

無言のまま、時は過ぎ去った。

二十年以上も。

西萩

あなたは、あの日、

西萩の改札口で、待っていたのでしょうか？

私のことを。

あの日、私は、友達と飲みに行ったので、

西萩の、改札口に行くのが遅れたのです。

あなたは、

待っていてくれたのでしょうか？

私に来るのを。

今からでは、遅すぎるのでしょうか？

Fさん

Fさん、お元気ですか？

あれから、何年たったのでしょうか？

もっと、違った場所で出会ってれば。

もっと、早く出会ってれば。

悔やまれます。

食事に誘ってくれて、ありがとう。

もっと、違ったときに出会ってれば・・・

いつまでも、お元気で。

仙人

あなたは、画家だったのですね。

それで、フランスに留学されたのでしょうか？

フランスで、何かあったのでしょうか？

素敵な、ロマンスがあったのでしょうか？

また、素晴らしい絵を、描いてください。

いつまでも、お元気で！

大桜

やはり、

あの時、あなたを誘うべきだったのでしょうか？

あなたは、大桜を見に行く、と言っていましたね。

私も、本当は、一緒に行きたかったのです。

本当は。

でも、誘えなかった。

今では、後悔しています。

あの時、あなたを誘えばよかった。

Mちゃん

幸せに暮らしているのですね。

声を聴いて解ったよ。

声は、正直だからね。

本当にうれしいよ。

幸せに暮らしているのですね。

これからも、

ずっと幸せでありますように。

胸突坂

あの日あなたと出会いました。

胸突坂で。

私は下り、あなたは、登り。

あの日、出会うべきではなかったのでしょうか。

心が軋んでいます。

音を立てて、軋んでいます。

あなたには、聞こえるでしょうか。

クリフト展

君が誘ってくれた、

クリフト展。

寒い雨の日だった。

クリフト展。

君が誘ってくれた、

クリフト展。

許してください

私には、あなたにしてあげられることが、

たくさんあったのでしょう。

でも私には、勇気が無かったのです。

今でも後悔しています。

あなたの父君にも、一度でいいから、お会いしたかったのです。

それも叶わぬ夢となりました。

どうか、こんな私を許してください。

いつの日か、あなたと会えますように。

4 ストロークなあなた

GPZに乗っていたあなた。

ヘルメットからのびた髪を、

風になびかせていた、あなた。

あなたは、どこへ行ったのでしょうかね？

きっと今も、走り続けているのでしょう。

佇む少女

少女が、佇んでいた。

美しい少女が。

あなたは、何故、そこに佇んでいたのですか？

こんな、のどかな春の日に。

何故、そこに佇んでいたのですか？

そんなにも、美しいあなたが、

何故？

あなたは、なぜ。（自ら命を絶った女子高生に捧ぐ）

あなたは何故、

自ら、命を絶ったのでしょうか。

若い命を。

苦しかったのでしょうか。

無念だったのでしょうか。

どうか、

安らかにお眠り下さい。

命のデフレーション（自ら命を絶った女子高生に捧ぐ）

あなたの命は、11万円だったのですか？

あなたには、11万円の価値しかなかったのですか？

そんなはずはありませんよね。

あなたの命の価値は無限大です。

さあ、

勇気を出して言ってください。

本当のことを。

私はあなたの味方です。

レクイエム（自ら命を絶った人たちに捧ぐ）

無念でしょう。

心残りが多いことでしょう。

あなた達のことは、忘れません。

心ある人たちの、

記憶の中で、生き続けることでしょう。

あなた達は、確かに生きた。

そして、負けたわけではない。

あなた達は、勝ったのです。

安らかに、お眠り下さい。

雨は涙色 スイサイド・レイン （自ら命を絶った男子高校生に捧ぐ）

また、一つの尊い命が散った。

何故彼は、自ら死を選ばなければならなかったのか？

彼に何があったのか？

彼が見た、最後の景色は何だったのか？

彼の、最後の言葉は何だったのか？

彼は、最後に何を想ったのか？

彼は、星になることを選んだのでしょうか？

涙色の雨が降っている。

夜空を見上げるたびに、思い出すでしょう。

どうか、安らかにお眠り下さい。

Solitude 孤独な闘い （自ら命を絶った女子高校生に捧ぐ）

あなたには、これから、楽しいことがたくさんあったはず。

恋愛、結婚、出産、夢の実現。

幸せな人生が待っていたはず。

何故、あなたは、自ら命を絶たねばならなかったのか？

何があなたを追い詰めたのか？

大勢を相手に、一人で闘い続けたあなた。

せめて、あなたのために、祈りを捧げさせてください。

いじめ

いじめは、なぜ、なくなるのか？

なぜ、誰かをいじめめるのか？

いじめは、楽しいのか？

ストレス解消なのか？

面白半分なのか？

わからない。

そんな人たちが、大勢いるのか？

なぜなのだろう？

スイサイド・パラダイス ハライソ（自ら命を絶った子供
たちに捧ぐ）

小学生、中学生、高校生が、

自ら命を絶たねばならぬ世の中とは、

いったい、どうなっているのだろうか？

これで、人々は幸せになれるのだろうか？

子供の世界は、

大人の世界の、写し鏡だろう。

学校も、職場も、世の中も、

どうなってしまったのか？

彼らのために、ただ、祈ることしかできない。

三十六計逃げるにしかず。

いじめられたら、逃げればいい。

逃げることは、恥じゃない。

三十六計逃げるにしかず。

学校に行かなくていい。

お父さん、お母さんに話そう。

家族に話そう。

周りの大人に話そう。

大騒ぎして、問題を大きくしよう。

だから、死なないで。

苦しくても、生きていこう。

あなたのことを、大切に想っている人が、たくさんいるのです。

人間

人間は、人間であって、

それ以上でも、以下でもない。

神様仏様でもなければ、

鬼や悪魔でもない。

人間は、みんな同じ人間。

違ってするのは、個性である。

その個性の違いを、認め合うことが出来るかどうか、大切である。

鈍牛のように歩む。

鈍牛のように歩む。

お釈迦様が説かれたように、

象のように歩めないかもしれない。

犀のように歩めないかもしれない。

だから、鈍牛のように歩む。

一步一步、ゆっくり歩む。

後退はせず、

一步一步、ゆっくり歩む。

鈍牛のように歩む。

恥をかこう。

恥をかこう。

生きるために。

恥をかこう。

楽になるから。

生きることは、恥ずかしいことかもしれない。

生きるために、

恥をかこう。

恥をかくと、

楽になるから。

しょうがいしゃ

しょうがいしゃ、って何だろう？

何故、人間をカテゴライズするのだろう？

神様は、人間をカテゴライズしたのだろうか？

人間は、人間であって、

それ以上でも、以下でもない。

みんな同じ。

ただ、個性があるだけ。

それを、しょうがいしゃ、ってカテゴライズするって、いったい何なんだろう？

神様ですら、人間をカテゴライズしていないのに、

何故、人間は、人間をカテゴライズするのだろうか？

それは、意義のあることなのだろうか？

そしてそれは、許されることなのだろうか？

世間体（実体のない魔物）

日本には、世間体という名の魔物が棲んでいる。

実体のない魔物が。

どれだけ多くの人が苦しめられているだろうか？

どれだけ多くの人が命を落としたらだろうか？

世間体という名の、実体のない魔物。

それは、私たちの心の中に潜んでいるのかもしれない。

世間体という名の、実体のない魔物が。

天使の旅路

天使が歩いていた。

雨の中を、傘もささずに。

歩いていた。

小さな天使が、歩いていた。

雨の中を、傘もささずに。

多分、天使の家に帰るのだろう。

自分からは逃げられない。

逃げるのはいい。

他人から逃げる、

嫌なことから逃げる、

何からでも、逃げることは出来る。

だが、自分自身からは、逃げることは出来ない。

どこへ逃げても、

私は私、

あなたは、あなた。

自分自身からは、逃げる事が出来ない。

自分自身からは・・・。

30年のタイムラグ（合気道なあなた）

袴姿が素敵なあなた。

涼しげな眼差し、

色白で、美しく凛々しい面立ち。

時々、8号館ですれ違っていましたね。

最後にあなたを見かけたのは、何時のことでしょうか？

バスの窓から、偶然見かけたあなた。

黒のレザージャケットを着たあなたは、

友達と、楽しそうに歩いていましたね。

今でも袴を履くのですか？

作業着の天使（ミモザ）

いつも笑顔で、優しいあなた。

涼しげな眼差し、

色白で端正な面立ち。

やらかしたら、助けてくれる。

落ち込んだら、励ましてくれる。

頑張ったら、「かっこいい！」と言ってくれる。

作業着を着たあなた。

どんな人よりも美しく、

どんなドレスよりも、輝いている。

何を着ていても、素敵な人は素敵だと教えてくれたあなた。

作業着の似合うあなた。

ペルソナ ー 善良な市民 （ という仮面を被った人々 ）

善良な市民。

日本には、たくさんいる。

平和な社会、豊かな社会。

そして、いじめ、差別、自殺。

善良な市民という人々が、いじめや、差別をするのだから、

いじめや、差別は、いつまでも続く。

そして、自ら命を絶つ人達も、後を絶たない。

善良な市民・・・

本当に、それでよいのだろうか？

私は、善良な市民なのであろうか？

そして、あなたは、善良な市民なのですか？

管理社会・監視社会

現代日本は管理社会である。

そして、監視社会でもある。

国家が管理しているわけじゃない。

国家が監視しているわけじゃない。

国民同士が互いに監視している。

そして、互いに、管理している。

そこに、信頼関係などあるのであろうか？

まるで、旧共産圏の秘密警察ではないか。

そんな世の中で、一体誰が幸せになれるのだろうか？

幸せになれる人などいない。

女神の手

素敵な笑顔ではたらくあなた。

ふと気づくと、

その手は、あかぎれで、痛々しかった。

思わず、

「手が痛くないですか？」

と、言ってしまった。

「大丈夫ですよ。」

と、素敵な笑顔で答えたあなた。

とても素敵な笑顔で、はたらくあなた。

とても素敵な手で、はたらくあなた。

海へ行く

寂しいときは、海へ行く。

悲しいときも、海へ行く。

海は、いつも、優しく受け入れてくれる。

缶コーヒーを飲みながら、

煙草をふかす。

死のダイブ （来世であいましょう。）

怖かったでしょう。

苦しかったでしょう。

私も、中学時代・・・。

あなたが最後に見た景色は、

どんな景色だったのですか？

来世では、幸せになってください。

あなたは、確かに、生きた。

来世でお会いしましょう。

城之崎

カメムシの大群。

胃腸炎で、仲間は全滅。

仲間の一人は、フェリーの中で死にかけた。

私は、高知で死にかけた。

吉野川

川を下る。

ゆっくりと進む船。

エンジンの音は、馬鹿でかいが、

船は、なかなか進まなかった。

仲間の一人は、ポンチョを着て、

夕日のガンマンの様だった。

大阪

遙か昔の記憶。

道頓堀。

きつねうどん。

フェリー乗り場。

夜の大阪湾は、いい感じだった。

死ぬな！ 生きろ！

生きて！生きて！生きて！

どんなに苦しくても、生きる道を選んで！

惨めでも、生き抜いて！

いじめた奴らを、見返してやれ！

絶対に死ぬな！

生きていれば、いいこともある！

絶対に死ぬな！

坂本龍馬さんは言った、

「人の生きる道は、ひとつじゃない。百も千も万もある。」と。

死ぬくらいなら、

学校なんて行かんでいい！

会社なんて、行かんでいい！

とにかく、生き抜こう！

若者よ、死に急ぐな！

若者よ、死に急ぐな！

耐えろ！

もうすぐ、君たちの時代が来る！

それまでの辛抱だ！

新しい時代は、いつも、若者によって作られる！

何とかもちこたえろ！

楽しいこともあるはずだ！

逃げてもいい！

君たちは悪くない！

責任があるとすれば、今の社会にある！

君たちが、新しい、良い社会を作るのだ！

何とか、耐えてくれ！

やがて、君たちの時代が来る！

愛する人

私の愛する人は、

もう、この世にはいない。

しかしながら、

だからこそ、私は精一杯生きる。

今は亡き、私の愛する人の分まで。

若い人たちも、

精一杯、生きてください。

未来堂

5時間以上待っていた。

ずっと、待ち続けていた。

でも、君は来なかった。

僕は、今でも君を待ち続けている。

99.99%の絶望と、0.01%の希望。

たとえ、99.99%絶望だったとしても、

0.01%の希望があるとするならば、

私は、何としてでも、生き抜いていく。

0.01%の希望を抱いて。

人間、その矛盾した存在。

地球上の、ありとあらゆる存在の中で、

人間は、もっとも矛盾した存在である。

自らが食べるために、他の生物を育て、殺し、食べる。

自らが住んでいる、自然を破壊する。

人間にとって、都合の悪い生物は殺す。

そして、人間同士が殺しあう、戦争。

いじめ、差別、自殺。

何から何まで、矛盾している。

そういう私も、もっとも矛盾した存在である。

凍った少女

あなたは凍ってしまった。

14歳の若さで。

どんなに、悩み苦しんだのでしょうか。

なぜ、誰もあなたを助けてあげられなかったのか？

自ら命を立つ以外に、逃げ道がなかったのですね。

安らかにお眠りください。

F 快速暴走車輦

本日も、暴走車輦は快調なり。

次々と人の命を奪い、

快調に走っております。

見捨てられた命は、

一体どうなるのでしょうか？

思い出

誰もが、いつの日か、

誰かの、思い出になる。

そしていつの日か・・・

忘れ去られてしまう。

働き者の人形

あの人形は、いつも働いていた。

朝も、昼も、夜も。

寒い冬も、暑い夏も。

雨の日も、晴れの日も。

長い間、働き続けていた。

しかし、とうとう終わりを迎えた。

もう、その役目を終えて、天に帰った。

今までありがとう。

お疲れ様。

天の裁き

人は人を裁くことはできない。

天によって、公平に裁かれる。

しかし私は怖いのです。

天のお裁きに、耐えられるかどうか。

人を欺くことはできても、

天を欺くことはできない。

だから、恐ろしいのです。

死は神の救いなのか？

人間は、永遠に生きるわけではない。

死は平等に訪れる。

永遠に生きなければならぬとすれば、

それは、耐え難い苦痛だ。

ならば、死というものは、

もしかすると、神様の救いなのかもしれない。

愛のレコンキスタ

愛がない。

愛が枯渇している。

魂が、窒息しそうだ。

愛がなければ、生きていけない。

愛を取り戻そう。

愛することからはじめよう。

美しき国

美しき国。

ああ、美しき国。

美しき自然。

美しき街並み。

美しき人々。

正しき人々。

猛き人々。

愛深き人々。

正義の人々。

自由と平和を愛する人々。

美しき国に栄光あれ。

愛に生きる

あなたのことを、親友だと思っていました。

友情だと思っていました。

しかし、

やっと気づいたのです。

友情だと思っていたものは、

実は、愛だったのです。

友情という仮面を被った愛だったのです。

もし、これが愛でないとすれば、

愛とはいったい何なのですか？

ああ、神様、

この愛の報われんことを。

最後の波（ラストチャンス）

今度が最後だ。

最後の波が来た。

ラストチャンスだ。

今度の波に乗り遅れたら、

次は無い。

後がないのだ。

今度の波に乗るんだ。

ラストチャンスだ。

愛のシナジー

あなたの優しさと、私の弱さ。

あなたの愛と、

私のあなたへの愛。

愛と愛との相乗効果が、

奇跡を生み出しました。

あなたの愛が、

私のあなたへの愛が、

私を蘇らせたのです。

あなたと私の愛が。

愛に殉ずる

やっと気づいたのです。

あなたを愛していることに。

泣けるほど愛していることに。

この35年という時の流れは、

一体何だったのでしょうか？

しかし、それでいいのです。

あなたを愛しているということに、

気づいただけで十分なのです。

私はあなたを愛している。

ただそれだけで十分なのです。

幸せを祈る

みんなの幸せを祈りましょう。

みんなの幸せのために、働きましょう。

そうすれば、

きっと自らも幸せになれる。

そう信じて、

みんなの幸せを祈りましょう。

みんなの幸せのために、働きましょう。

愛すること

人を愛するということは、

神様の愛、アガペーに近いと思う。

エロスでもなく、

リビドーでもなく、

神様の愛、アガペーに限りなく近いと思う。

神様を愛するように、

人を愛しましょう。

愛の試練

誰かを愛するということは、

苦しいことなのかもしれない。

それが報われない愛だとすれば、

なおさら苦しい。

しかしながら、

その苦しい試練に耐えてこそ、

本当の愛なのではあるまいか？

運命に全てを委ねる。

運命に全てを委ねてみよう。

運命は川の流れるようなものである。

流れに逆らっては、溺れてしまう。

思い切って、運命に身を委ねよう。

運命に全てを委ねよう。

そうすれば、

川の流れるように身を委ねたように、

うまく泳いで生きていけるかもしれない。

運命に身を委ねよう。

運命に全てを委ねよう。

真実の愛

真実の愛にはなかなか気づかない。

気づくまでに、長い時間が過ぎ去ってしまう。

その真実の愛に気づいた時、愕然とする。

もう、その真実の愛を、

失ってしまった時間を、

取り戻せないような気がする。

しかしながら、

もしかすると、取り戻せるかもしれない。

それが、本当に、真実の愛ならば。

人間は罪深い存在なのか？

人間は、生きていくことそのものが罪深く感じられる。

他の生物を殺し、食べなければ生きていけない。

同じ人間同士でも、差別、いじめなど、罪深いことを為している。

善を為そうと思っても、悪を為してしまう。

古典にある、積善改過を為すことは、非常に難しい。

善を為すことも、

過を改めることも、

相当な努力が必要である。

しかしながら、

生きている限り、人間は善を為し、過を改める責任がある。

そうでなければ、

人間は、ただ罪深いだけの存在になってしまうのではなかろうか？

木人

木人になろう。

木鶏ならぬ、木人になろう。

敵意のない、

害意のない、

悪意のない、

強がりもなく、

虚勢を張らない、

木彫の人形のようになろう。

木鶏ならぬ、木人になろう。

アメリカ

あなたが旅立つとき、

あなたは寂しかったのでしょうか？

日本が嫌になったのでしょうか？

東京を嫌いになったのでしょうか？

なぜ私はあなたを見送りに行かなかったのか？

今でも悔やんでいます。

あれから30年の月日が流れましたね。

あなたが幸せそうで何よりです。

しかしながら、

30年という長い年月の間には、辛いことも多かったのでしょう。

あなたからのエアメールに、返事を書かなかったことも悔やんでいます。

後悔だらけです。

あなたがこれからも幸せであるよう、

遠く離れた場所から、私は祈り続けます。

オーストラリア（ジョージーガール）

あなたと出会ったのは、

35年前のことですね。

あなたは何事にも全力でした。

あなたは正直でした。

あなたは公平でした。

プラチナブロンドの髪がとても美しい人でした。

今ではオーストラリアに帰ったのでしょうか？

それともまだ日本に住んでおられるのでしょうか？

時々思い出すのです。

素敵なあなたのことを。

あなたが幸せでありますように、祈り続けます。

我が青春のランディオーネ

ああ、ランディオーネ。

懐かしの、ランディオーネ。

高校時代の私の相棒。

ランディオーネとならば、

どこまででも行ける気がした。

一日に、30キロも40キロも走った。

中野浩一さんが、競輪で大記録を打ち立てていた。

ああ、ランディオーネ。

懐かしの、ランディオーネ。

我が青春の、ランディオーネ。

ありがとう、

ランディオーネ。

我が青春のスターレット

ああ、スターレット。

初めての、マイカー。

素晴らしいアクセルレスポンス。

踏めば踏んだだけ、加速した。

山へ、海へ。

色んな所へ行った。

結構なアンダーステア。

それも個性的だった。

最後まで私を守ってくれた。

ありがとう、

スターレット。

我が青春のスターレット。

我が心のクラブマン

ああ、クラブマン。

初めてのバイク。

中古だった。

最初は、エンジン回転が伸びなかった。

しかし、回しているうちに、どんどん回るようになった。

5000回転から7000回転のパワーバンド。

3速での加速は爽快だった。

コーナーにオーバースピードで突っ込んでも、

何とか修正できた。

風に乗った。

風と一体化した。

そして、風になた。

ありがとう、クラブマン。

我が心のクラブマン。

春の夜の夢

あの春の日、

夕暮れ時。

キャンパスを、二人で歩いた。

1号館で、ボヤ騒ぎ。

心がざわざわした。

二人で歩いた、あの春の夜のこと、

あなたは、憶えているのでしょうか？

あの時、時が止まればよかったのに。

いまさらながら叫びます。

時よ、あの日の夜に連れ戻してくれ。

桜の咲く頃

桜が咲く頃、

あなたのことを思い出します。

今はもういない、あなたのことを。

桜の花びらのように、散ってしまったあなた。

あなたのことを思い出すと、

桜の季節も喜ばません。

桜の花の咲く頃、

私はあなたのことを思い出します。

今はいないあなたのことを。

やさしいあなた

やさしいあなたが、

傷つかないように、

土を耕しましょう。

やさしいあなたが、

傷つかないように、

花を植えましょう。

やさしいあなたが、

傷つかないように、

種をまきましょう。

やさしいあなたが、

傷つかないように。

プロビデンス（人様の声は、神様の声）

他人の声は、

神様の声。

だから、

人様に従いましょう。

従順になりましょう。

人様に従順になることは、

神様に従順になること。

いやなことがあっても、

辛いことがあっても、

それは、プロビデンス。

神様からの恩恵。

喜んで全てを受け入れましょう。

真実の力（プロビデンス）

真実は、

隠そうと思っても、

隠せるものではない。

凄まじい力で、

表に現れようとする。

人間の力では、

とても、隠せるものではない。

それが、

真実の持つ力。

あるいは、

プロビデンス。

信じる

人を信じる。

自分を信じる。

神様を信じる。

人を信じるには、勇気が必要だ。

人を疑うのは簡単なことだ。

人を信じられない者には、神様を信じることはできない。

人を信じて傷つくかもしれない。

しかしながら、

同じく傷つくならば、

人を信じて傷ついたほうが、

まだ、救われるのではあるまいか。

99, 99%の狂気と、0, 01%の正気

私は狂気に支配されているのかもしれない。

99, 9%は狂気に支配されているのだろう。

99, 9%の狂気は、99, 9%の絶望を意味する。

しかしながら、

0, 01%の正気がある。

そこには、0, 01%の希望がある。

この、0, 01%の正気を保つことによって、

0, 01%の希望を持って、

私は何とか生きながらえている。

パンドラの箱にも、最後に残ったのは、希望だった。

これまでも、

そしてこれからも、

私は生きていく。

99, 99%の狂気と、

0, 01%の正気を胸に抱いて。

パステルカラーのあなた

パステルカラーのあなた。

記憶の中のあなたはいつも、

パステルカラーの洋服で身を包んでいます。

思い出の中のあなたはいつも、

優しく微笑んでいます。

色白で、はかなげな美しさを持っていたあなた。

桜の花のように散ってしまったあなた。

助けてあげられなくて、ゴメンね。

もう、桜の季節も過ぎ去ってしまいました。

パステルカラーのあなたへ。

因果律

自分が行ったことは、

100%自分に返ってくる。

自分が言ったことも、

全部自分に返ってくる。

どんなことでも、自分に返ってくる。

全責任を自分で背負わなければならない。

他人に責任転嫁する余地はない。

幸せになりたいならば、

他人を幸せにするために努力する以外に、道はない。

他人を苦しめれば、

自分が苦しまなければならなくなる。

他人を幸せにしよう。

そうすれば、自分も幸せになれる。

真理への旅

生きるということは、

真理を求めての旅なのではあるまいか？

如何にすれば、正しくなれるのか？

如何に生きるべきなのか？

善とは何なのか？

正義とは何なのか？

真理とは何なのか？

これらのことを探し続けることが、

生きるということなのではあるまいか？

朋遠方より来る有り

朋がやってきた。

二十年ぶりの再会だった。

酒を酌み交わし、語り合った。

風呂にも入った。

山へも行った。

本当にありがたいことだ。

朋遠方より来る有り、

亦楽しからずや。

心は自由だ

心は自由だ。

誰も、人の心を縛ることはできない。

何も、人の心を縛ることはできない。

もし、自分の心が縛られていると感じているのならば、

自分の心を縛っているのは、

他ならぬ自分自身である。

他人の風景

他人から見た私は、どうなのだろうか？

他人は、この社会をどう見ているのだろうか？

他人は、この世界をどう見ているのだろうか？

他人は、何を感じて生きているのだろうか？

他人が何を考えているのか、わかったほうがいいのか？

他人が何を考えているのか、わからないほうがいいのか？

たぶん、わからないほうがいいのか？

たぶん。

この瞬間を生きる。

明日など無い。

昨日もない。

未来もない。

過去もない。

あるのは今だけだ。

この瞬間がすべてだ。

この瞬間の連続が、人生であり、時の流れである。

だから、この瞬間を、全力で生きる。

この瞬間を・・・。

いつも心は・・・

いつも心は、圧迫骨折。

或いは、疲労骨折。

でも、私だけなのだろうか。

いや、みんな似たようなものなのだろう。

たぶん・・・。

いつも心は、圧迫骨折。

いつも心は、疲労骨折。

昔は良かった・・・のか

子供の頃に戻りたいと思っていた時期もあった。

学生時代に戻りたいと思ったこともあった。

しかし、今はそう思わない。

昔に戻っても、同じような人生を歩むことになるのだ。

昔になど戻ってどうする。

前だけを向いて、今この瞬間を、全力で生きるのみだ。

こころ

一番大切なもの、こころ。

何よりも尊いもの、こころ。

ちょっとしたことで傷つく、こころ。

何かのはずみで壊れる、こころ。

だから、何より大切にしたい、こころ。

しかしながら、その大切なこころを、蔑ろにしていたのは、自分自身かもしれない。

the king of city pops

the king of city pops.

the king of j rock.

tatsuro yamashita.

負けるな、tatsuro.

行け行け,tatsuro.

the king of city pops.

the king of j rock.

美しき人へ

遠いところへ旅立ったあなた。

美しいあなた。

辛かったのでしょうか。

苦しかったのでしょうか。

もう楽になりましたか。

来世では友達になりましょう。

遠いところへ旅立った、

美しいあなたへ。

運命の輪

運命の輪が回り始めた。

ゆっくりだが、

ものすごい力で。

運命の輪が回り始めた。

振り落とされないように、

しっかりと、しがみつくんた。

運命の輪が回り始めた。

真夏の工事現場

暑い日に、

工事現場で働いている人たちがいた。

汗を流して。

しかしながら、

楽しそうに働いていた。

その姿は輝いていた。

真夏の工事現場で働いている人たちは、

楽しそうに働き、

輝いていた。

天は見ている、知っている。

天は見ている、

あなあのことを。

天は見ている、

他人のことも。

天は見ている、

私のことも。

天は全て知っている。

あなたのことを。

天は全て知っている、

他人のことも。

天は全て知っている、

私のことも。

だから、正しく生きよう。

私も、あなたも。

積善改過に如くは無し。

黄昏の街で

黄昏の街で、

またこの橋の上に来ました。

そして、川を見下ろし、

はるか昔に投げ捨てたはずの、

自分の人生を探している。

ここへ来ると、あなたに会えそうな、

そんな気がするのです。

あの日の私に戻って、

あの日のあなたに、

また会えそうな気がするのです。

黄昏の街で、

またこの橋の上に来て、

そして、川を見下ろし、

はるか昔に投げ捨てたはずの、

自分の人生を探している。

黄昏の街で。

灼熱の街

灼熱の街で、

だれもかれもが、

身を焦がし、

だれもかれもが、

心を焦がしている。

なにか大切なことを見失ったのか？

なにか大切なものを無くしてしまったのか？

だれもかれもが、

迷走している。

灼熱の街で、

がれもかれもが、

身を焦がし、

だれもかれもが、

心を焦がしている。

死にたくなつた時にだけ思い出してごめんね。

死にたくなつた時、

いつもあなたのことを思い出す。

優しくつたあなた。

いつも笑顔だつたあなた。

若くして旅だつたあなた。

なぜ、そんなに早く逝つてしまつたのですか？

もっと話がつたかつた。

死にたくなつた時にだけ思い出して、ゴメンね。

優しくつたあなたへ、

ありがとう。

何年経つても、

若くて、美しいままのあなたへ。

死なんがための生なのか？

生きるとは何なのか？

死に向かって、機関車のように突進していくことなのか？

我々は、常に死と隣合わせに生きているのか？

生と死は表裏一体なのか？

死と向き合うことは、生と向き合うことだと、誰かが書いていた。

ショーペンハウエルは、生への盲目的意思ということを説いているが、

人にはそれとは逆に、死への盲目的意思の・ようなものもあるのではあるまいか？

宗教家によれば、人は自らの肉体を嫌悪しているらしい。

それ故に厳しい修行をするのだそうだ。

そう考えると、人には生への盲目的意思と、死への盲目的意思が併存しているのではあるまいか。

しかしながら、

どんなに苦しくとも、

自ら生命を絶ってはならない。

人は、生を受けた以上、いつかは死を迎えることになるのである。

そうであるから、

どんなに苦しくとも、生き抜くべきである。

そして、

生を全うし、死を迎えた時、はじめて、生きるということの意味が分かるのであろう。

30年の禅問答（面壁30年）

ああでもない。

こうでもない。

前へ進めば、前から斬られる。

後ろへ退けば、後ろから斬られる。

右へ行けば、右から斬られる。

左へ行けば、左から斬られる。

まさしく、禅問答。

両刀論法だ。

万事窮すか？

いや、飛躍するのだ。

ゲーテの言うところの、死の跳躍だ。

死中に活有り。

身を捨ててこそ、浮かぶ瀬もあれ。

ありのままを受け入れる、全てを受け入れる。

ありのままを受け入れる。

全てを受け入れる。

自分の弱さ、他人の弱さ。

自分の愚かさ、他人の愚かさ。

自分の狡さ、他人の狡さ。

全てを、ありのままに受け入れる。

艱難辛苦、

森羅万象、全て良し。

それが、強く、正しく生きるための、第一歩ではなかろうか。

弱くていいじゃないか。

弱くていいじゃないか。

無理して強くなる必要なんて無い。

弱いままでいい。

もっともっと、弱く。

老子か荘子もそんなことを書いていた。

強くなくていい。

弱くて、

優しければ、

それでいい。

魂のレコンキスタ

取り戻そう、

失った夢を。

取り戻そう、

失った愛を。

取り戻そう、

失った何かを。

取り戻そう、

失った全てを。

取り戻そう、

失った魂を。

三尺去って師の影を踏まず。

恩師と再会した。

30年ぶりだった。

私の訪問は、もしかすると、迷惑だったのかもしれない。

しかし、先生は、大いに喜んでくださった。

話が弾んだ。

それまで、お聞きしたことがなかったことまで、話してくださった。

散々、ご迷惑をお掛けしたが、

恩師とは、本当にありがたいものである。

人は嘘をつかなければ生きていけないのか？

人は、嘘をつかなければ生きていけないのか？

私はこれまで、さんざん嘘をついてきた。

今でもだ。

嘘をつくつもりがなくても、

嘘になることもある。

人に言えない隠し事があると、

どうしても嘘をついてしまう。

やはり、

人は、嘘をつかなければ、生きていけないのだろうか？

人生は、タイトロープ。

人生は、タイトロープ。

綱渡りだ。

一步間違ったら、真っ逆さまに転落だ。

それでも、勇気を持って、

一步一步と、

歩みを進めるしか無い。

人生は、タイトロープ。

そう、綱渡りだ。

絶望は、希望の母。

希望のあるところに、絶望がある。

絶望のあるところに、希望がある。

希望は、絶望から生ずる。

絶望なきところに、希望無し。

絶望は、希望の母である。

灰身滅智

自分を捨てよう。

我を捨てよう。

欲を捨てよう。

はからい心を捨てよう。

私心を捨てよう。

小知才覚を捨てよう。

我がはからいにあらず。

身を捨ててこそ、浮かぶ瀬もあれ。

身を殺して仁を為す。

灰身滅智。

そして初めて、

道は開かれる。

三界唯心

三界は、唯心の所現。

仏教の教えである。

外界に起きていることは、

自分自身の心の反映である。

心が楽しければ、周りの世界は極楽である。

心が苦しければ、周りの世界は地獄である。

外界と自分とは、分離独立したものではなく、

渾然一体となったものである。

心を正しく持てば、周りの世界も正しくなる。

逆もまた然り。

心を正しく、強く持とう。

三界は、唯心の所現である。

運命は、性格の中にある。

運命は性格の中にある、とは、

芥川龍之介の言葉である。

自分が言ったこと、行ったことは、

全て自分に返ってくる。

決して、他人の責任ではない。

自分を取り巻く状況は、

全て自分自身が創りだしたものである。

自分が幸せになりたければ、

他人を幸せにするような、言葉、行いを心がけたいものである。

運命は性格の中にある、のだから。

克己復礼

己に克って、礼に復る。

他人には負けても良い。

しかしながら、

自分自身には負けてはならない。

強い心を持ち、

自分を正しく制御して、

常に礼節をわきまえた、立ち居振る舞いをする。

そこから、自ずと道は開ける。

立命

人は、生まれた時から異なった人生を歩む。

しかしながら、

宿命論（フェイタリズム）に陥ってはならない。

宿命は動かすことができない。

だが、立命により、宿命を運命に変えることができる。

志を立て、勇猛心を奮って努力することによって、

宿命を、運命に変えることができる。

宿命は、動かすことができないが、

運命は動かすことができる。

立命は、生きる上で必要なことである。

志を立て、勇猛心を奮って努力することによって、

宿命を、運命に変えよう。

そして、より良い人生を歩むのだ。

窮すれば通ず。

窮すれば通ず。

易経には、そういう考え方があるそうだ。

万事窮すと思えるような状況に陥っても、

そこから、また良くなるそうだ。

そうであるから、

決して諦めてはならない。

苦しい時こそ、勇猛心を奮い起こして、努力するべきである。

そうすれば、

自ずと、道は開ける。

窮すれば通ず、

である。

晩秋の海にて。

晩秋の海にて、考えた。

人は何のために生まれてきたのか？

私は何のために生まれてきたのか？

人として生まれたことを、喜ぶべきなのか？

人として生まれたことを、悲しむべきなのか？

人は如何に生きるべきなのか？

私は如何に生きるべきなのか？

それは、

一生を懸けて探しだすものなのかもしれない。

きっと、そうだろう。

モデムは生きていた。

モデムは生きていた。

もうダメになったと思ったモデム。

故障したと思ったモデム。

しかし、モデムは生きていた。

ネット回線つながったよ。

ありがとう、

モデム。

これからもよろしく。

無用の用。

老荘思想に、無用の用という考え方がある。

一見、役に立っているように見えるものが、

役に立っておらず、

一見、役に立っていないように見えるものが、

役に立っている。

という考え方である。

ということは、

私も何らかの役に立っているのかもしれない。

アメリカン・ニュー・ソート（光明思想）

アメリカン・ニュー・ソート。

100年以上前に、アメリカ思想界を席卷した、光明思想である。

トライン、エマソン・・・等。

物事の、光明面（ブライツサイド）のみを見て、

物事の、暗黒面（ダークサイソ）は見ない。

簡単に言うとそういうことである。

物事の光明面のみを見よう。

物事の暗黒面は見るまい。

人の善のみを見よう。

人の悪は見るまい。

そうすれば、

きっと、幸せになれる。

100%なんてない。(見切り発車でいこう！)

あの、スティーブ・ジョブズは言ったそうさ。

Real artist ships!

真の芸術家は、未完成でも、作品を出荷・発表する。ということらしい。

100%確実なことなんて無い。

それを待っていたら、何もできない。

見切り発車でいい、

勇気を持って、チャレンジしよう！

勇気を持って、第一歩を踏み出そう！

Real artist ships !!

人間は欲望の塊なのか？

人間は欲望の塊なのか？

少なくとも私は、欲望の塊である。

リビドーそのものである。

孔子は、我未だ剛者を見ず、と述べている。

人間には、欲があるので強いものはいないということである。

私もそのとおり、欲があるので強くない。

というより、弱い。

老荘思想には知足という言葉がある。

足るを知る。

つまり、欲張らないということである。

しかし、私には欲がある。

自分で制御するのが難しいくらいに。

私は欲望の塊である。

生きるためには、勇気と強さが必要だ。

生きるためには、勇気と強さが必要だ。

善を為そうと思っても、

勇気と強さが無ければ、

善を為すことができない。

場合によっては、弱さのために、

悪を為すことすらありうる。

生きるためには、勇気と強さが必要だ。

チャンドラーの小説の中で、

フィリップ・マーロウは言っている。

「タフでなければ生きて行けない。優しくなければ生きてゆく資格がない。」と。

やはり、優しさも必要だが、

勇気と強さがなければ、生きていけない。

弱そうで強いのが、一番いい。

一見、弱そうで、実際は強いのが一番凄い。

一見、弱そうで、実際にも弱いのは普通である。

一見、強そうで、実際にも強いのも普通である。

一見、強そうで、実際は弱いのは、最悪である。

現実には、そういう人が多い。

通常、虚勢を張って威張っており、

差別や、弱い者いじめをして、

他人の誹謗中傷ばかりしている人々。

そういう人々は、

ここぞという時、いざという時に、異様に弱い。

どうしようもない。

弱そうで強くはないかもしれない。

強そうで強くもないかもしれない。

しかしながら、

強そうで弱い人間にはなりたくないものである。

強そうで弱いよりは、

弱そうでやっぱり弱いがいいじゃないか。

コミュカ、マイナス無限大。

私には、コミュカが無い。

というより、コミュカマイナス無限大である。

いわゆる、コミュ障である。

そのために、苦しんできた。

今でもだ。

しかしながら、

コミュカマイナス無限大でもいいじゃないか。

コミュ障でもいいじゃないか。

精一杯生きている。

生かされているというだけでありがたい。

たぶん、そういうものだろう。

愚か者で行こう。(大愚は大賢に通ず。)

スティーブ・ジョブズは、スタンフォード大学のスピーチで、

「stay hungry, stay foolish」と言った。

東洋思想では、

「大愚は大賢に通ず。」という。

いずれにしても、

人間は愚かである。

ならば、いっそのこと、

小知才覚を捨てて、

愚か者で行こう。

そのほうが、

幸せになれるかもしれない。

愛のメタファー。

私は、愛する人に、

愛していると言ったことがあるのだろうか？

人は、愛する人に、

愛していると言っているのだろうか？

思わせぶりの態度や、

それとなく匂わせることによって、

察して欲しいと願っているのではあるまいか。

しかしながら、

それは間違いだと思う。

愛しているならば、

愛していると言おう。

トップアイドルの歌のように。

愛する人に、愛していると言えるうちに。

後で後悔しないように、

愛していると言おう。

限りある人生なのだから。

現実主義者と理想主義者。

現実主義者は、

理想主義者以上に、理想主義的である。

理想主義者は、

現実主義者以上に、現実的である。

芥川龍之介も似たようなことを書いている。

理想主義者は、

理想を追い求めることによって、

現実的になる。

現実主義者は、

現実を追い求めることによって、

理想的になる。

近頃、そんなことを考える。

心のホイールスピン。

心が、ホイールスピンしている。

焦りがあるのか？

やる気はあるが、

空回りしている。

心のアクセルをベタ踏みしているのか？

心がホイールスピンしている。

少しセーブせよ。

アクセルから、ゆっくりと足を離せ。

そして、

ゆっくりと、心のブレーキを踏め！

ゆっくりと。

それから、

深呼吸するんだ。

そして、

再び、ゆっくりとアクセルを踏め。

ゆっくり、少しずつ加速するんだ。

ゆっくりと。

誹謗中傷社会。(毀誉褒貶を気にするのは愚か者)

誹謗中傷が罷りと通っている世の中である。

そのために苦しんでいる人も、大勢いる。

中には、自らその生命を絶つ人まで・・・

こんなご時世だからこそ、

我々は、心を強く正しく持つことが肝要である。

そして、周りからの毀誉褒貶から、

超然として生きる必要がある。

老荘思想でも、

毀誉褒貶を気にするのは、愚か者だという。

心を、強く正しく把持しよう。

そして、誇り高く生きよう。

超然として生きよう。

まあ、気楽に。

気楽に・・・。

今、元気を失くしている朋へ。

今、元気を失くしている朋へ。

T, 大丈夫か？

元気出せ！

いや、無理に元気出さなくてもいいか。

真面目で優しいお前のことだから、

働き過ぎて、疲れ果てたのだろう。

今は、ゆっくり休んでくれ。

天からの、休暇命令だ。

ゆっくり休んでくれ。

お前が元気になったら、

また、ドライブしよう。

海や山へ行こう。

なんだったら、

また、バイクにでも乗ろう。

今、元気を失くしている朋へ。

人は人間性に始まり、人間性に終わる。

釣りは、鮒に始まり、鮒に終わるといふ。

武道では、礼に始まり、礼に終わるといふ。

人と人とは、人間性に始まり、人間性に終わるのではなからうか？

外見、社会的地位、お金・・・。

それらも、大切ではある。

しかしながら、最終的には、その人の持つ人間性によって、全てが決まってしまう。

それに、人間性とは、その人そのものである。

であるからして、

人と人とは、人間性に始まり、人間性に終わるのではなからうか？

iphone は生きていた。

iphone は生きていた。

バッテリーがダメになったと思った。

夜中に寝ているうちに、バッテリー切れになったので、

もう、お前はダメになったと思ったよ。

でもお前は生きていた！

アップデートのためだったのか？

そんなことはどうでもいい。

とにかくお前は生きていた。

ありがとう、iphone！

これからもよろしく。

生命力を100%出せ！

生命力を100%出せ！

力の出し惜しみをするな！

自分の生命力を信ずることによって、奇跡が起きる。

「汝、自らを頼め！」とは、正しく金言である。

いざという時に、100%の力を発揮するには、

日頃から、100%の力を、

いや、120%、

いや、200%の力を出すことが必要だ！

そうすることによって、

いざという時に、

100%の力を、

いや、実力以上の力を発揮することができる！

力の出し惜しみをするな！

生命力を100%出せ！

汝、自らを頼め！

メンタル・デトックス

心のデトックスをしよう。

心から、毒素を出してしまおう。

怒り、憎しみ、嫉妬、不安……。

それらを放下しよう。

幸田露伴は、

「吐き出せ、吐き出せ！」

と言ったそうだ。

心で掴んでいる、負の感情を手放すのだ。

そうすれば、

自然に、愛と光で満たされる。

簡単なことではないかもしれない。

しかしながら、

幸せになるためには、必要なことだ。

心のデトックスをしよう。

幸せになるために。

ネット世界は小宇宙。

インターネットの出現が、我々の生活を変えた。

いや、世界を変えたのかもしれない。

物理的に見れば、

世界各地に設置された、サーバーの集合体なのかもしれない。

しかしながら、

観念的に見るならば、もはや小宇宙である。

その全てを把握している人間などいないであろう。

それは、宇宙に似ている。

いや、もしかすると、神様に似ているのかもしれない。

インターネットは、人間が創り出した、

神様に似た何か、

なのかもしれない。

クリスマス。

12月になって、クリスマスが近づいてきた。

何はともあれ、

クリスマスが近づくと、

心躍るものである。

クリスマスツリー、

クリスマスケーキ、

フライドチキン、

プレゼント、

家族団欒・・・。

しかしながら、

私の一番のクリスマスの思い出は、

ひとりぼっちだったクリスマスである。

クリスマスの夜、

一人で街を歩いた。

クリスマスソングが流れ、

恋人たちで溢れる街を、

一人で歩いた。

ずっと、歩き続けた。

ひとりぼっちで・・・。

そういう記憶が、

私の一番のクリスマスの思い出である。

憎しみに似た何か、そして、愛に似た何か。

人間の心の中には、

憎しみに似た何かが、潜んでいる。

遠い関係の人には感じないが、

近い関係の人には感じてしまう。

そんな、憎しみに似た何かが。

誰しものが一度ならず感じたことであろう。

しかしながら、

人間の心の中には、

愛に似た何かがある。

遠い関係の人には感じないが、

近い関係の人には感じてしまう。

そんな、愛に似た何かが。

いや、愛そのものなのかもしれない。

きっと、愛そのものだ。

誰しものが、心の中に持っている。

愛と憎しみは、

表裏一体のものなのではなかろうか。

人生は、是道場。(魂の鍛錬)

人生に苦しみはつきものである。

あの、ゴータマ様も、生老病死の四苦から逃れるために出家されたという。

ましていわんや、我々凡人にとっては、

生きることが苦しみであることは当然といえよう。

しかしながら、

一見すると、ただ何の意味もなく苦しんでいるように見えるが、

それらの苦しみを、魂の糧とすることによって、

我々の魂は鍛えられる。

楽しい時、嬉しい時は、一見すると順調に見えるが、

案外、魂は鍛えられていないものである。

それどころか、墮落することすらある。

生きる上での苦しみを、魂の糧として、

人生を全うしたいものである。

今が全てだ！！

今が全てだ！

過去の武勇伝など聞きたくない！

今どれだけ人の役に立っているか

今どれだけ人を助けているか？

今全力で働いているかどうかだ。

過去の実績など無意味だ！

今どれだけのことを成し遂げることができるか？

それが全てだ！

怖くていい。

恥ずかしくていい。

馬鹿にされてもいい。

嘲笑われてもいい。

今を全力で生きよう！

ペース配分など考える必要はない！

伴走者など必要ない！

最後まで全力で駆け抜けよう！！

タイムマシン。

タイムマシンがあったら、

あなたは、それに乗るだろうか？

私は乗らない。

タイムマシンに乗って、

未来へ行ってどうなるというのか？

過去に戻ってどうなるというのか？

存在するのは、今、この瞬間だけである。

タイムマシン。

私は乗らない。

冷静になれ！！

冷静になれ。

心を鎮めよ。

臍下丹田に息を吸い込め。

そして、目を閉じて、

宇宙を感じる。

宇宙と一体化する。

神を感じる。

神と一体化する。

仏を感じる。

仏と一体化する。

そして、

無念無想。

色即是空。

空即是色。

心を無にする。

そして、また改めて、

歩き始めれば良い。

相手の立場で考えてみる。

私は、相手の立場で考えたことがあるのであろうか？

自分では、誠意を持って尽くしたつもりでも、

相手にとっては真逆なのかもしれない。

自分では、約束を守ったつもりでも、

相手は、裏切られたと感じたのかもしれない。

自分では優しくしたつもりでも、

相手は傷ついたのかもしれない。

私は、相手の立場、相手の気持を考えたことがあるのであろうか？

これからは、相手の立場で考えてみよう！

カオスからコスモスへ。(混沌とした世界の中で。)

世界が混乱している。

国内も混乱している。

いじめが多発する。

差別が蔓延している。

自ら生命を絶つ人が増える一方である。

事故が多発している。

事件も多発している。

戦争やテロリズムも消える気配がない。

世界中が混乱している。

そのような時勢だからこそ、

我々、一人ひ一人が、

強く正しい心を保つことが必要である。

こんな時代だからこそ、

積善改過が大事である。

善を為すに遅すぎるといふことはない。

過を改めるに遅すぎるといふことはない。

こんな時代だからこそ、

我々、一人一人が、

積善改過の決意を新たにすべき時である。

愛する人へ。(Forget menot)

愛するあなたへ。

あなたと会えなくなって、

いくつもの季節が過ぎ去りました。

あなたの記憶の中に、私は生きているのでしょうか？

あなたは、私の思い出の中で生きています。

もう会えないあなた。

あなたに会えてよかった。

ありがとう。

トップスターは星になった。

彼女は、まだ若かった。

しかし、彼女は跳んだ。

いろいろなことを抱えて。

悩み。

苦しみ。

悲しみ。

挫折。

夢。

栄光。

そして、

星になった。

いろいろなことを抱えて、

彼女は、跳んだ。

正しく、死の跳躍だ。

そして、星になった。

涙さえ流さずに。

彼女が投げかけた問いに、

社会は、

いや、我々国民が、答えなければならない。

星になった彼女のために。

霊妙不可思議大自然。

自然は偉大である。

地球上の生命体は、自然の中でしか生きていけない。

空気が有り、水が有り、温度が有り、重力がある。

それにより、我々、生命体は存在することができる。

雨が降って、川となって、海となる。

天気の日もあれば、嵐の日もある。

夏は暑く、冬は寒い。

野草は次から次へと伸びてくる。

新しい生命は、次々次々に誕生する。

自然は偉大である。

人間以外の生命体は、100%自然に順応している。

一方、人間は、

気を切り倒し、森林破壊を繰り返し、

山を切り崩し、海を埋め立て、

汚染水を垂れ流し、煤煙を撒き散らしている。

このままでいいのだろうか？

人間は自然の中でしか生きていけないのに。

他の生命体は、自然にほぼ100%順応しているのに。

自然に帰ろう！

ルソーもそんなこと言ったよね。

メンタル・ゾンビとして生きる。

精神的には、何度も死んでいる。

しかしなだら、

何度でも蘇る。

まるで、ゾンビのように。

そんな人は、私だけではあるまい。

心は、何度死んでも、

そのたびに、蘇る。

蘇った心は、

少しだけ強くなっている。

とにかく、生きていこう。

たとえ、

メンタルゾンビ、としてであっても。

果たせなかった約束。（汝、誓うなかれ。）

約束を果たせなかった。

反故にするつもりはなかった。

でも、果たせなかった。

ほんの少しの勇気がなかった。

やはり、裏切ったことになるのだろうか？

そうだろう、

親友を裏切ったことになるのだろう。

キリスト様の、

「汝、誓うなかれ。」

との言葉が身にしみる。

親友を裏切ってしまった。

反故にするつもりはなかった。

ただ、勇気がなかった。

約束を果たせなかった。

メンタル・アルケミー。(或いは、魂の錬金術)

崩壊してしまった心を、再構築しよう。

リストラクチャリングだ。

ピュアな魂を取り戻そう。

魂のレコンキスタだ。

心は、脆い。

壊れやすい。

些細なことで壊れてしまう。

心を再構築しよう。

リストラクチャーだ。

レストアだ。

リカバリーだ。

リビルト品でもいい。

ジャンク品でもいい。

心を、

魂を、取り戻そう。

崩壊してしまった心を取り戻そう。

再構築しよう。

ピュアな魂を取り戻そう。

これこそ、正しく、

魂の錬金術だ。

親という存在。

親という存在。

ありがたい・・・。

だが、

なんとなく、イライラする。

時として、憎しみの対象にすらなりうる。

しかしながら、

その存在が、子を護っている。

その存在が、私を、貴方を護っている。

苛々することもあるだろう。

憎い時もあるだろう。

それでも、

親に対する、感謝の念は、忘れずに生きていきたいものだ。

なぜなら、

親という存在そのものが、

私を、貴方を、護っているのだから。

チョコレート

チョコレート。

甘くて美味しい。

食べると、

心も体も癒やされる。

一日の疲れが取れる。

悩みを忘れる。

全てが報われる気がする。

不思議な食べ物、

チョコレート。

春に届いた葉書。

春に届いた、

貴方からの葉書。

私の宝物です。

春に届いた、

年賀状の返信。

本当に嬉しかった。

今でも時々読み返し、

貴方のことを思い出しています。

とても優しくかった貴方。

とても美しかった貴方。

春に届いた、

貴方からの葉書。

心の壁を取り払おう。

英語の Hell とは、

自分の周りに、壁を張り巡らす、ということが語源らしい。

自分の周りに壁を作ると、

世界は、地獄になる。

自分で作った壁を取り払えば、

世界は、天国になる・・・

かもしれない。

とりあえず、

自分で作った、

心の壁を取り払おう。

そうすると、

世界が天国になる・・・かもよ。

みんな何かを背負っている。

みんな何かを背負っている。

一人では抱えきれないほどのものを。

ギリシャ神話の巨人アトラスが、地球を支えているように。

みんな何かを抱えている。

徳川家康公は言った、

「人生は、重き荷を背負うて行く旅の如し。急ぐべからず。」と。

いずれにしても、

みんな何かを背負って生きている。

時には、その重さに押しつぶされそうになりながら。

みんな何かを背負っている。

生命の神秘。

人はなぜ生まれてくるのか？

何のために生きるのか？

なぜ死ななければならないのか？

多くの学者や宗教家が、その難問に挑んだ。

今でも探求し続けているのであろう。

しかしながら、

未だに、明確な答えは出ていないと思われる。

何時の時代でも、

医学、科学、常識というものは、間違っていた。

これは、後知恵ではあるが。

生命とは、医学、科学、哲学、宗教を遥かに超越したものではあるまいか？

最終的には、宇宙の神秘、

有心論と無神論、

有神論と無神論、

そのような、究極の問題に帰結するのであろう。

我々が生きる意味は、そこにあるのかもしれない。

ハンバーガー。

ハンバーガー。

時々、無性に食べたくなる。

いつ食べても美味しい。

寂しい時、

落ち込んだ時、

そんな時に食べると、

不思議と元気になる。

なぜなんだろう？

魔法の食べ物、

ハンバーガー。

時の重み。(或いは、心のタイムトラベラー)

時の流れ、

それは、時として残酷である。

時の流れが、

愛する人たちとの距離をつくり、

友情を切り裂く。

悲しいことだが、

それが現実だ。

しかしながら、

心の距離は近いままだ。

いや、

一層近くなった。

たとえ、

もう二度と会えないとしても、

愛する人たち、

親友は、

いつでも、

心の中にいる。

時の流れでさえも、

それを奪い去ることはできない。

たとえ、

何十年、

何百年、

それ以上の時が、

流れ去ったとしても。

ふつうってすごい。(でも、ふつうって何だろう?)

ふつうってすごい。

ふつうにはたらく。

ふつうに学校に行ける。

ふつうに人付き合いできる。

ふつうに結婚できる。

ふつうに生活できる。

でも、

ふつうって、何だろう?

ふつうじゃないと、ダメなのだろうか?

ふつうじゃなくても、いい気もする。

でも、ふつうってすごい。

でも、

ふつうって、何だろう?

欲。

私には欲がある。

お金が欲しい。

CD が欲しい。

パソコンが欲しい。

ゲームが欲しい。

車が欲しい。

バイクが欲しい。

食べ物が欲しい。

豪邸が欲しい。

出鱈目で、

人並み以下の人間なのに、

欲だけは人一倍ある。

でも、

それが人間なのではあるまいか。

そうだよね・・・。

たぶん・・・。

イブ・イブ。

イブ・イブ。

世間は浮かれている。

しかしながら、

私は、疲れ果てている。

一年の疲れが吹き出した。

ストレスは、籐の昔に、限界を突破している。

今年こそは、自分に、お疲れ様と言いたい。

かくりよのおおかみあわれみたまえ。

エーメン。

イブ・イブに捧ぐ。

クリスマス・イブ。

クリスマス・イブ。

クリスマス。

子供の頃、

毎日がクリスマスだったらいいなと思った。

毎日、プレゼントもらって、

毎日、チキン食べて、

毎日、ケーキ食べて。

大人になると（まあ、私はアダルトチルドレンだが。）、

大変なことが多い。

だから、

今でも、

毎日がクリスマスだったらいいなと思っている。

クリスマス。（その優しさが、時として人を傷つける。）

クリスマス。s

全ての人が、優しくなれる日。

私も優しくなりたいと思っている。

しかしながら、

時として、

その優しさが、人を傷つけることもある。

私には、そんな経験が、幾度となくある。

大切な人に、

優しくしたつもりが、

傷つけてしまった。

あの人は、私を許してくれたのだろうか？

クリスマスの夜に思う。

優しさは、

時として、

人を傷つけることもある、

かもしれない。

人を喜ばせると、自分が幸せになる。

人を喜ばせると、

自分が幸せになる。

不思議だけれど、本当だ。

少なくとも、

幸せを感じることができる。

それとは逆に、

人を悲しませると、

自分は幸せにはなれない。

不思議だけれど、本当だ。

少なくとも、

幸せを感じることはできない。

幸せになりたかったら、

幸せを感じたかったら、

人を喜ばせよう。

そうすれば、

幸せになれる。

少なくとも、

幸せを感じることができる。

神の見えざる救いの手。

神の見えざる救いの手。

我々は、たしかに護られている。

神様の、

見えない救いの手に。

我々が生きていけるのは、

神様の、

見えない救いの手によって護られているからではあるまいか。

そうでなければ、

この世界は、もっと悲惨なものになったに違いない。

我々が、兎にも角にも、平和に暮らしていけるのは、

神の見えざる、

救いの手によって護られているからである。

貴方の名前を思い出せなくなりそうです。

優しかった貴方。

若くして旅立った貴方。

大好きだった貴方。

そんな貴方の、

名前を思い出せなくなりそうです。

許してください。

貴方の名前を、

忘れてしまいそうなのです。

思い出せなくなる時があります。

貴方のことを、

忘れてしまいそうなのです。

それが恐ろしいのです。

許してください。

Sさん。

UFO

夜のバイパス。

車で走っていた。

何か空中に浮かんでいた。

少し光っていた。

最初、飛行機かと思った。

でも違った。

丸いような、

角ばっているような。

暗くてよくわからなかったが、

巨大な物体だった。

あれは何だったのだろうか？

幻覚だったのであろうか？

夜のバイパスで、

なにか巨大な物体が、

空中に浮かんでいた。

成道前の魔境。（ テンプテーション ）

キリスト様は、成道前に、

サタンのテンプテーションにあった。

ゴータマ様は、成道前に、

悪魔、波旬に唆された。

誰しも、

生きていくうえで、

成功が近づいてくると、

魔境が現れる。

天から試みられているのだ。

成道前の魔境を乗り越えることが出来るかどうか、

成功するか、失敗に終わるかの分かれ道である。

心を強く持ち、

キリスト様のごとく、

「サタンよ去れ！」

と、一喝するのだ。

大晦日。

年末には、一種独特の空気がある。

子供の頃、

その空気感が好きだった。

大人になると、いろいろあるが、

やはり、

この空気感、雰囲気が好きだ。

慌ただしくも有り、

嬉しくも有り、

一年を振り返る。

反省することばかりではある。

しかしながら、

やはりいいものである。

大晦日。

新年を迎えたのに、なんか苛々する。

新しい年を迎えた。

心機一転、

強く正しく生きようと思う。

しかしながら、

なんか苛々する。

特に、親に対して苛々する。

どうかならんものなのか？

地震や津波で大変な方々もおられる。

それらの方々の無事を祈る。

しかしながら、

その一方で、

親に苛々する。

何とかならんものなのか？

新しい年がいい年でありますように。

歳神様、

何卒宜しくお願い申し上げます。

クラス会。

何年ぶりだろうか？

初めてだろうか？

クラス会。

懐かしい顔に出会えた。

最初は緊張していた。

しかし、

お酒の力もあってか、

皆くつろいで、

懐かしい話題で盛り上がった。

既に鬼籍に入っている方も、数名おられた。

それらの方々の、

ご冥福を祈りつつ、

楽しい宴だった。

クラス会。

時にはいいものである。

地震の時・・・あの家族・・・。

地震の時、

親友に、水を持って行った。

断水していたからだ。

通常なら、30分で行けるのだが、

大渋滞で、何時間もかかった。

そしてたどり着いて、

親友に水を渡した。

その時、

近くに、ある家族がおられた。

若いご両親と、幼い娘さんだった。

私はその時、

そのご家族と目があった。

一瞬、

そのご家族にも、

水を渡そうと思った。

しかし、

渡せなかった。

何故だろう？

全部、親友に渡してしまった。

今でも後悔している。

半分でも、

あのご家族に渡せばよかったと。

あのご家族が、

幸せに暮らしておられることを祈っております。

ipod

ipod よ。

しっかりしてくれ。

何故、曲が入らないのだ。

何故、Mac と同期出来無いのだ。

確かに、

お前はジャンク品かもしれない。

しかしながら、

お前は、

ipod じゃないか。

しっかりしてくれ。

そして、

音楽を聴かせてくれ。

なあ、

ipod よ。

鯖。

鯖。

昔、鯖が好きなガールフレンドがいた。

「夕ごはん、鯖だといいなあ・・・。」と、

よく言っていた。

今夜、夕食で鯖を食べた。

美味しかった。

鯖を食べると、

決まって、彼女のことを思い出す。

鯖が好きだったあの娘。

今でも元気になっているのだろうか？

彼女が今でも元気だといいなあ・・・。

Not even justice , I want to get truth ! (太陽の牙ダグラムより引用)。

昔、とあるアニメの中で、こんな言葉があった。

「 Not even justice , I want to get truth ! 」

「正義ではなく、真実が知りたい！」 という意味であろう。

確かにそうである。

正義は、人・時・所によって異なってくる。

であるから、

あまり当てにならない面もある。

現代では、

間違った正義感を、

大上段に振りかざす人も少なくない。

しかしながら、

それは間違いではあるまいか？

一方、真実のひとつである。

何が真実であるか？

それが重要になってくる。

正義よりも、真実のほうが尊い。

「 Not even justice , I want to get truth ! 」

なんとも味わい深い言葉である。

大震災に思う。

元旦からの大地震。

成人の日を目前にした、天変地異。

幸せであるはずの、歳のはじめが、

地獄絵図と化してしまった。

この寒空の下で、被災者の方々は、何を思っておられるのであろうか？

食べ物もなく、

水もなく、

暖を取る手立てもなく、

お風呂に入ることもできないのであろう。

多くの方々が犠牲になった、大震災。

国全体、社会全体での、救助や復興支援が最重要事項である。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしております。

成人の日を迎えて。

成人の日を迎えて、

皆は何を思っておられるのであろうか？

私には、成人の日の思い出はない。

その日、何をしていたのかも思い出せない。

成人式には出席できなかった。

もう、遠い昔の話である。

それにしても、

被災地で成人の日を迎えられた方々は、

どういう思いなのであろうか？

喜ぶべきはずの日に、

喜べない。

そんな苦しい思いをされておられるのであろう。

成人の日を、迎えることのできなかった方々も、

少なからずおられることであろう。

何もできない自分を省みるたびに、

無力感に押しつぶされている自分自身に、

慄然としてしまうのは、私だけではあるまい。

一日も早い、被災地の復興をお祈り申し上げます。

あの日の誓い。

あの日、

二人で、誓い合いましたね。

もう日が暮れていた頃でしょう。

貴方は、

あの日の誓いを守って、

一生懸命、努力を続けておられたのですね。

どんなに苦しいことにも、耐え忍んでこられたのですね。

一方、私ときたら、

遊びほうけて、脱落してしまいました。

本当は、

貴方に合わせる顔がありませんでした。

しかしながら、

頑張っておられる貴方に会えて良かった。

でも、貴方は、

あの日のことを憶えておられるのでしょうか？

生と死（芥川龍之介、マインレンデル、五木寛之、ゴーリキーから引用）

芥川龍之介は、

侏儒の言葉の中で、

マインレンデルの言葉を引用して、

死の魅力について述べている。

実際、芥川も自ら生命を絶った。

確かに、死を選んだほうが楽に思えることもある。

そう思ったことがある人は、少なくあるまい。

私は今でも、

時々、死を思うことがある。

しかしながら、

人は皆、いつかは死ぬ。

memento mori である。

一方、

五木寛之先生は、

生きるヒント3の中で、

ゴーリキーの言葉を引用されている。

「人生は本当にひどいものさ。

でも、自分で投げ捨てるほどひどくはない。」と。

得をする算段。（小林秀雄の言葉を引用。）

小林秀雄は、その著書の中で、

「不安なら、不安であることから、得をする算段をすればいいだけのことである。」

というようなことを書いていた。

また、宗教家は、

不安なら、不安と一体化しろ。

苦しいなら、苦しみと一体化しろ。

困難があるなら、それから逃げずに、

真正面から取り組み。

そうすることにより、

不安が不安でなくなり、

苦しみが苦しみでなくなり、

困難が困難ではなくなる。

というようなことを書いている。

現代社会では、

不安や苦しみを抱える方は少なくないと思われる。

かくいう私も、その中の一人である。

これから、

不安や苦しみ、困難から逃げずに、

真正面から取り組んでみようと思う。

案ずるより産むが易し。

当たって砕けろ。

そんなところであろうか？

そうすれば、

何か得をすることがあるかもしれない。

新潟から城崎への旅。（ガーネット・クロウを聴きながら）

昔、新潟の友達の家へ行き、

城崎へと旅をした。

春日山は素晴らしく、

越乃寒梅の旨さは格別であった。

城崎へと向かう途中、

列車の窓から見た日本海は、絶景だった。

残念ながら、石川県にたち降りることはなかった。

本当に、日本海は素晴らしかった。

冬のこととて、荒れていた。

しかしながら、

美しかった。

今回のような大地震を、予想だにできなかった。

一日も早い復興をお祈りいたしております。

冬の海。（能登半島に思いを・・・。）

冬の海。

少しだけ波が荒い。

寂しが増す。

ホットコーヒーの暖かさが、有り難い。

この海も、

能登半島の海につながっているのか・・・。

そう思うと、

悲しが増す。

冬の海。

風が冷たすぎる。

能登半島の方々は、

大丈夫なのであろうか？

弱さの自覚は、強さの自覚に勝る。（パスカルのパンセにヒントを得て。）

パスカルは、「パンセ」の中で、

「弱さは、それを認識している人よりも、

それを認識していない人に、強く現れる。」

と書いている。

論語に、

「吾未だ剛者を見ず。」とあるように、

本当に強い人などいない。

さすれば、

強くなるためには、

まずは、自分の弱さを認識することから始めるべきなのだろうか？

なんとなく、そんな気がする。

天に委ねよう。

天に全てを委ねよう。

天は、公平である。

天の下では、皆平等である。

天網恢々疎にして漏らさず。

である。

天の網は粗いが、どんな悪も見逃さない。

たぶん、それと同時に、

どんな善行も見逃さないはずである。

天は公平である。

積善改過に励み、

全てを天に委ねよう。

そうすれば、

全てが上手くゆく・・・。

たぶん・・・。

愛の欠乏。

愛がないと苦しい。

お金を求めるのも、

名誉を求めるのも、

恋人を求めるのも、

何かを食べるのも、

お酒を飲むのも、

タバコを吸うのも、

愛に飢えているからだと思われる。

何を求めてみても、

何を得ても、

愛がなければ、

苦しむことに変わりはない。

キリスト様が、

「人は、パンのみにて生きるにあらず。」

と言われたことが、味わい深い。

愛がなければ、

何を求めても、

何を得ても、

何をなしても、

苦しむことに変わりはない。

ただ真理が知りたいだけ。

何か欲しい。

ものが欲しい。

名誉が欲しい。

恋人が欲しい。

愛が欲しい。

何か苛々する。

何か不安である。

でも、よく考えると、

冷静に考えると、

ただ、本当のことが知りたいだけ。

ただ、真理が知りたいだけだ。

真理の前では、

皆平等であり、

全ての秘密は暴かれ、

全ての悪は裁かれる。

そして、

全ての善行が評価され、

全ての善行が報われる。

積善改過を為しながら、

真理に向かって、

一步步々、

鈍牛のように歩んでいきたいものである。

朝永博士の量子力学。

朝永博士の量子力学の本を買った。

ノーベル物理学賞を受賞された、あの朝永博士の本である。

70年以上前に書かれた本だ。

私が生まれるはるか以前のことである。

この本の、元の持ち主の方は、

理系の学生さんだったのであろう。

要点に、赤鉛筆で波線が引いてあり、

所々に書き込みがある。

何とも味わい深く、

歴史の重みを感じる。

この本の、元の持ち主の方は、

今どうなさっているのだろうか？

存命であれば、

90代であろう。

多分、立派な物理学者になっておられるのであろう。

たぶん・・・。

いや・・・、

絶対に！

朝永三十郎博士。

朝永三十郎博士の本を買った。

あの、ノーベル物理学賞を受賞された、朝永振一郎博士の実父である。

タイトルは、

「近世における「我」の自覚史」である。

まあ、哲学史のようなものである。

というか、哲学史そのものであろうか？

あの、「カント」なども登場する。

印刷されたのは、昭和18年。

なんと、戦時中である。

初版が発行されたのは、

驚くなかれ、大正5年である。

昭和ではなく、大正である。

大正5年は、西暦1916年。

現時点から、108年前。

関東大震災の7年前。

第一次大戦の2年後である。

何やらすごい本を手に入れてしまった。

これこそ、歴史を感じる。

いや、

歴史そのものか？

根性。

私には、根性がない。

要するに、

弱いのだ……。

子供の頃から、

「根性を出せ！」

「根性を見せろ！」

などと、

散々言われた。

そのたびに苦しんだ。

でも……、

根性って……、

一体何なんだろう……？

高等遊民。

夏目疎石の小説の中に、

「高等遊民」

という人たちが登場する。

「高等遊民」

なんか凄そうだ。

しかしながら、

その実態は、

帝大卒なのに、

裕福なので、

仕事をせずに、

学問研究に打ち込んでいる人たちのことらしい。

今で言えば、

高学歴ニート、と言ったところか？

昔からいたんだな、

ニート。

でも、

「高等遊民」と

ニートって、

根本的なところが違うよね・・・。

たぶん・・・。

海へ行った。（サバシスターを聴きながら。）

海へ行った。

車が混んでいた。

途中、

サバシスターの「ジャージ」をリピートしていた。

日常生活の煩わしさから逃れるために、

海へ行った。

しかしながら、

家へ帰ると、また現実に戻される。

何もかも投げ出したい。

そう思っていた時、

ニュースで、能登半島地震の報道を耳にした。

能登半島の方々は、大変な苦勞をしておられる。

私は、どうでもいいことで、懊悩煩悶していたのだ。

そんなことを考えた。

能登半島の皆様方の無事を祈る。

とある物理学者。

10年ほど前、

とある物理学者に出会った。

元物理学者というべきか？

受験生の方々に、

物理と数学を教えておられた。

京都大学で、

ファインマン物理学を学ばれたとの事だった。

英語版と日本語版の、

ファインマン物理学の本を見せてくださった。

私には、1%も理解できなかったことは、言をまたない。

あれから、10年ほどたった今、

あの先生の消息は不明である。

今どうしておられるのであろうか？

お元気であればそれでいい。

今でも、

物理と数学を、

受験生の方々に、教えておられるのであろう。

たぶん・・・。

いや・・・、

きっと・・・。

コンビニで働いていたあの子。(ミスチルの「HERO」を聴きながら。)

昔、よく行っていたコンビニ。

その頃、そこで働いていた女の子に恋をした。

家からは遠かったけど、

その子に会うために、毎日行っていた。

でも私が、遠くに引っ越すことになり、

そのコンビニには行かなくなった。

最後に行った日も、その子は働いていた。

その日、

「さよなら。」と、

言おうと思ったけど、

言えなかった。

でも・・・、

言った・・・。

「さよなら・・・。」と・・・。

心の中で・・・。

それから、月日が流れ、

そのコンビニに行ってみた。

ホカ弁屋になってた。

そこの店員さんに聞いてみた。

でも、コンビニのことは知らなかった。

あの子に会えなくなって、随分と長い年月が流れた。

でも、あの子の笑顔は、

今でもはっきりと憶えている。

あの子が・・・、

今でも・・・、

幸せでありますように・・・。

高校生の頃考えたタイムマシン。(過去観測機。)

高校生の頃、考えた。

超高性能望遠鏡を開発する。

次に、

光速を超えるスピードの出るロケットを開発する。

そして、

そのロケットに、望遠鏡を搭載する。

それから、

宇宙を目指して地球を出発する。

そうすれば、

過去の地球を観測できる。

そんなことを考えた。

しかしながら、

相対性理論の本を読んで・・・、

私の夢は打ち砕かれた。

光速より速い乗り物は作れない。

光速に近づけば近づくほど質量が増加する。

絶望感に打ちひしがれた。

まあ、

今となっては、どうでもいいことだけど。

青春のほろ苦い思い出である。

収集癖。

私には、収集癖がある。

大したことではないが、

必要のないものが、やたらと買いたくなる。

本、

パソコン、

CD、

ゲーム、

靴、

洋服、

等・・・。

要するに、浪費癖がある。

別に、お金持ちではないのに、

何かを買いたくなる。

五木寛之先生は、著書の中で、

「浪費することによって、精神のバランスをとっている・・・。」

ということを述べておられたと思う。

また、

山川健一先生は、著書の中で、

「心に深く傷を負った人は、ものを買集めるようになる・・・。」

というようなことを書いておられたと思う。

私もどういわけか、

やたらと、何かを買いたくなる。

やはり、心が深く傷ついており、

精神のバランスを取るために、買い物をするのであろうか・・・？

たぶん・・・、

そうだろう・・・。

AI。

AIは、

人間が造った天才か？

いや、

むしろ、

神様に近いものかもしれない。

AIは・・・、

人間が造った・・・、

神様に似た何か・・・、

なのかもしれない・・・。

とある昔話。(大根・・・?)

子供の頃、ある昔話をテレビで観た。

要約すると、次のような話である。

旅のお坊様が、ある村を訪れた。

雪が降っていた。

冬で食べ物がなかったためか、

誰も泊めてくれなかった。

しかし、

ある、一人暮らしのおばあさんが泊めてくれた。

夕食に、おかゆのようなものを出して、

お婆さんは、どこかへ出て行った。

しばらくして、お婆さんは大根を持って帰ってきた。

そして、その大根を煮物にして出してくれた。

お坊さんは大いに喜んでそれを食べた。

そして、一晩泊めてもらった。

次の日の朝早く、

お坊さんは旅立った。

外に出ると、

お坊さんは、雪が少し積もった道で、

お婆さんのものと思われる足跡を発見した。

それは、長者様の大根畑へと続いていた。

お坊様は、愕然とした。

しかし、

次の瞬間、再び雪が降り始めた。

その雪が、お婆さんの足跡を消してしまった。

そして、

お坊様は、感謝を込めて合掌し、去って行った。

こんな話であった。

私は、子供心に、

優しい人は、

神様・仏様が守ってくださるのだ、と思った。

雪が降るたびに思い出す。

私も、優しい人になりたいものである。

父親の存在。（父の日ではない日こそ。）

昔、父の日に新聞を読んでいた。

すると、ある記事が目に着いた。

井上靖先生の話が掲載されていた。

詳しいことは忘れた。

ただ、次のようなことが書かれていた。

「・・・父親がいなくなって、風通しが良くなった・・・」

そのようなことであったと記憶している。

その意味するところは、

井上靖先生のお父君がお亡くなりになって、

自分に対する風当たりが強くなった・・・、

というようなことであったと思う。

大作家である、あの井上靖先生ですらそうなのだ・・・。

ましていわんや、我々凡人をや、である。

父親の存在は偉大である。

存在するだけで、

家族を護っているのである。

時には、

お互い苛々することもある。

しかしながら、

感謝の気持は忘れずにいたいものである。

宗教家によれば、

神様に感謝しても、

両親に感謝しなければ、

神様は、救いたくても、救えないそうである。

父の日、母の日ではない日こそ、

お父さん、お母さんに感謝しよう。

全集。

小林秀雄であっただろうか？

誰かの本に、

「・・・一人の作家を理解するためには、

その全集を読むのが一番良い・・・。」

というようなことが書いてあった。

私は全集を持っていない。

大学に入りたての頃、

西荻の書店に、

芥川龍之介の全集が並んでいた。

私は、喉から手が出るほど欲しかった。

しかしながら、

貧乏学生に手が出せる値段ではなかった。

それから数年後、

文庫版の芥川全集の第一巻を購入した。

嬉しかったが、

あまり読まなかった。

その本は今でも持っている。

また読んでみようか・・・。

それにしても・・・、

購入したいものである・・・、

文学全集・・・。

あの日・・・、ハンバーガー・・・。

昔、ガールフレンドがいた。

ある日、

「・・・今度来るとき、ハンバーガー買ってきて・・・。」

と言われた。

それで・・・、

ぼくは・・・、

次の週・・・、

ハンバーガーを二個買っていった・・・。

でも・・・、

彼女はいなかった・・・。

いろんな人に聞いた・・・。

でも、

彼女には会えなかった・・・。

そして、

家に帰って・・・、

ハンバーガーを二個食べた・・・。

あの子・・・、

今どうしてるのかな・・・。

元気だといいな・・・。

小野道風。(なんべんも、なんべんも。)

昔、学校の授業で、

小野道風さんの話を習った。

道風さんは、書道の達人だった。

それでも、

何度書いても、納得のいかないことがあった。

それで、雨の中、散歩に出かけた。

すると、一匹の蛙が柳の枝に飛び移ろうとしていた。

しかし、

何度飛び上がっても、柳の枝には届かなかった。

そして、

何度も飛び上がっているうちに、

とうとう、柳の枝に飛び移った。

それを見た道風さんは感動した。

それから、

家に帰って、

なんべんも、なんべんも書いた。

そして、納得のいく書が出来上がった。

確か、そんな話だったと思う。

失敗しても、

くじけずに、

続けていけば、

上手く出来るようになる。

ということであろう。

私も、

それを見習い、

なんべんも、なんべんも・・・、

チャレンジしたいものである。

百科事典。

子供の頃、

百科事典を買ってもらった。

一セット、二十巻くらいあった。

ケース入りのハードカバーで、

割と上等な本だった。

そして、カラー印刷で、写真まで掲載されていた。

私にとっては、非常に有難かった。

別に、一ページずつ読んだわけではなかったが、

勉強の合間に、

パラパラと捲ってみたものだった。

今でもよく憶えているのは、

地中海料理とインド料理の写真である。

何でそんなものを憶えているのかは・・・、

謎である・・・。

今では、その百科事典は手元にはない。

しかしながら、

時々懐かしく思い出す。

また欲しくなった・・・、

百科事典が・・・。

大切なことほど、忘れてしまう。

私は、大切なことほど忘れてしまう。

有り難いことに気が付かないことがある。

或いは、当たり前だと思ってしまう。

何気ない日常が、

本当は、有り難いことである、

ということを。

冷静になると、思い出すのだが、

日常生活の煩わしさのためか、

ついつい、忘れてしまう。

この、何の変哲もない日々が、

本当は有り難いということを。

だから、

一日一日を大切に、

感謝の気持ちを忘れずに、

生きていきたいものである。

キリスト様のように・・・、或いは・・・、巨人アトラスのよ
うに・・・。

宗教家の話では、

キリスト様は、

全人類の罪を帳消しにするために、

敢えて、十字架に張り付けにされたということである。

また、

ギリシャ神話の巨人アトラスは、

神々と闘って、負けた罰として、

地球を支えることを命ぜられたそうである。

そこで、私は考えた。

我々一人一人が・・・、

全員・・・、

キリスト様や、巨人アトラスのように・・・、

全人類の罪を引き受ける・・・、

或いは、地球を（全人類を）支える・・・、

そういう気持ちで生きていけば・・・、

皆が仲良く・・・、

幸せになれるのではなからうか・・・？

なんとなく・・・、

そんな気がする・・・。

K へ。

K・・・、

お前はまだ、踏ん張っているんだな・・・。

昔は、いつも一緒にいた・・・、

今では遠く離れてしまったな・・・。

よく、長電話した・・・、

「君は天然色」に登場する主人公たちのように・・・。

一緒に、どこにでも行ったな・・・。

でも・・・、

今では・・・、

離れ離れだ・・・。

だが、

思い出は消えないな・・・。

「マルタの鷹」、送ってくれてありがとう・・・。

Zoom 飲み会で、会えて良かった・・・。

BM の T シャツ、よく似合ってた・・・。

またいつか会おう・・・。

K・・・。

剣道五段の男。

若い頃、

工事現場の警備員のバイトをしていた。

通常、二人一組で仕事をした。

ある日、一人の男と組んで仕事をした。

その男は、剣道五段だった。

子供の頃から、大学まで剣道を続けたとの事である。

剣道五段とは、相当凄い。

そして、

私は、疑問に思った・・・？

剣道五段だったら、

剣道の先生になれるのでは・・・？

そこで、その旨伝えた。

そうすると、その男はこう言った。

「・・・得意なことと、やりたいことは違う・・・。」と。

私は愕然とした。

そこで、私は尋ねた・・・。

「・・・やりたいこととは何なんだ・・・？」

その男は言った・・・。

「・・・車を運ぶ車、キャリアカーの免許を取得したい・・・。」と。

その免許を取得するための、資金を稼ぐためにバイトしているとの事だった。

キャリアカーのドライバーは給料が良いらしい。

それから、長い年月が経過した・・・。

あの男は・・・、

キャリアカーのドライバーになれたのであろうか・・・？

そして・・・、

剣道は続けているのであろうか・・・？

キャリアカーを見かけるたびに、そう思う・・・。

剣道五段の男・・・。

謝るということ。

私は、直ぐに謝る。

自分は悪くない、と思っけていても、

謝る。

世の中には、

謝らない人も多い。

しかしながら、

宗教家によれば、

先に謝ったほうが勝ちだそうである。

確かに、謝ることは大変だ。

勇気が必要であり、苦痛を伴う。

その上、許してもらえとは限らない。

それでも、

謝ってしまえば、少しは楽になる。

少なくとも、

意地を張って、謝らないよりはマシである。

世の中には・・・、

謝ることが出来る人間と・・・、

謝ることが出来ない人間・・・、

その二種類の人間がいる。

挨拶。

安岡正篤先生の著書に（もしかしたら別の先生の著書であったかもしれない。）、

挨拶とは、ただ他人に礼を尽くすだけではない。

相手を拜むことによって、自分自身を拜んでいるのだ・・・。

というようなことが書いてあった。

なるほど・・・、

と、妙に納得した。

挨拶をしない人、

挨拶ができない人も少なくない。

挨拶もろくにできないようでは、

人として如何なものかと思う。

これだけは言える・・・。

世の中には・・・、

挨拶が出来る人と・・・、

挨拶ができない人がいる・・・。

鳩の巣キャンプ場・貴方の思い出。(ガーネット・クロウを聴きながら。)

学生時代・・・、

初めての合宿・・・。

鳩の巣キャンプ場・・・。

貴方と出会った・・・。

あの頃は、二人共若かった・・・。

音楽の話で盛り上がった・・・。

意気投合した・・・。

ホット烏龍茶で、カップ麺つくって・・・、

笑われたっけ・・・。

貴方とは、良き友人になった・・・。

貴方は、先輩と結婚した・・・。

それは私も嬉しかった・・・。

貴方は、ずっと幸せに暮らしていると思ってた・・・。

そんな矢先・・・、

貴方の訃報が・・・。

信じられなかった・・・。

泣くことすら出来なかった・・・。

貴方は若いまま・・・、

逝ってしまった・・・。

日常生活の煩わしさで・・・、

貴方のことを忘れてしまいそうになる・・・。

でも・・・、

ふと我に戻ると・・・、

思い出すのは・・・、

貴方のことです・・・。

何故そんなに早く・・・。

優しくった貴方・・・。

私のことを・・・、

見守ってくれていますか・・・？

優しくったあなた・・・。

こころのかけら・・・。

こころのかけら・・・。

くだけちった・・・、

こころのかけら・・・、

あつめましょう・・・。

ひとつのこらず・・・、

あつめましょう・・・。

くだけちった・・・、

こころのかけら・・・、

あつめましょう・・・。

台湾。

台湾。

昔、旅行に行った。

6月の台湾は、蒸し暑かった。

残念ながら、一人旅ではなかった。

社員旅行だった。

私には、一人で海外へ旅する度胸はない。

日本と似ていて、

違う国。

山川や、家屋も、似てはいたが、違っていた。

日本人に対しては友好的だった。

日本人であるというだけで、

VIPカードなるものをもらった。

買い物に便利なためだったっけ。

台北の101.

九份砦。

夜店の屋台。

どれもこれも、物珍しかった。

台湾の人々には、

我々日本人が失くしてしまった、

訳のわからないエネルギーがあった。

もう一度、行ってみたいものである。

台湾・・・。

辞書。

私は本が好きである。

しかし、

辞書は、それほど好きではなかった。

でも、最近・・・、

辞書に目覚めた・・・。

世間には、

辞書マニアなる人がいて、

同署の辞書を何十冊も持っているとか・・・。

それに比べれば、私などは子供だましであるが・・・、

国語辞典、

漢和辞典、

英和辞典、

和英辞典、

独和辞典、

仏和辞典、

中日辞典・・・、

等、、、

購入してしまった・・・。

もっと欲しい・・・。

なんで、辞書なんて欲しくなったんだっけ・・・？

忘れた・・・。

でも・・・、

やっぱり・・・、

辞書って・・・、

いいね・・・。

Fool の勇猛心。

真面目に生きていれば・・・、

嫌なこともあろう・・・、

いじわるされることもあろう・・・、

バカにされることもあろう・・・、

死にたくなることもあろう・・・。

それでも・・・、

勇猛心を奮い起こして・・・、

生きていこう・・・。

愚か者として・・・、

生きていこう・・・。

馬鹿なやつだと嗤われ・・・、

罵られながら・・・、

生きていこう・・・。

fool の勇猛心を奮い起こして・・・。

ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャのように・・・。

いや・・・、

アロンソ・キハナのように・・・。

弱者と強者・善人と悪人。

安岡正篤先生は、著書の中で述べておられる。

パスカルは次のように書いているそうだ。

「・・・善人が強くなるか、強者が善くなる以外に、人間は救われない・・・。」と。

安岡先生によれば、

善人は概して弱く、

悪人は概して強いそうだ。

また、

善人は、あまり団結しないが、

悪人は、よく団結するそうである。

そして、

善人のことは、善党とは言わないが、

悪人は、一人でも悪党という・・・。

等と述べておられる。

確かに、世の中、

いい人は概して弱く、

意地悪な人は、概して強いように思える。

やはり、

パスカルの言うように、

善人に強くなってもらうか、

強者に善くなってもらはなければ、

我々は救われないのか・・・？

立春大吉。（暦の上では春が来た。）

立春を迎えた。

暦の上では、春になった。

朝晩は冷え込むが、

兎にも角にも、

立春である。

立春大吉と書いた紙を、

柱に貼ると縁起が良いとか。

心新たに、

積善改過に励もう。

K よ . . . 。

K よ . . . 、

お前はあの時 . . . 、

本当は . . . 、

何を言いたかったんだ . . . ?

俺は何も言えなかった . . . 。

「さよなら。」とさえ . . . 。

ただ . . . 、

「じゃあ . . . 。」、

そう言った . . . 。

お前もそう言ったな . . . 。

俺はお前に . . . 、

本当は . . . 、

何と言って欲しかったのだろうか . . . ?

そして . . . 、

俺は . . . 、

お前に . . . 、

本当は . . . 、

何と言いたかったのだろうか・・・？

10万キロ突破。(さすがはヴィッツ・さすがはTOYOTA。)

愛車が10万キロを突破した。

母から譲り受けたヴィッツだ。

型は古いが、丈夫だ。

TOYOTAらしい堅牢性がある。

加速力もある……。

ただ……。

燃費が……。

まあ、それはいい……。

最初の愛車、スターレットの後継車だ。

それに、何と……、

TOYOTAは、南アフリカ向けに、

数年前から、スターレットを販売しているらしい。

TOYOTA恐るべし……。

スターレットといい、ヴィッツといい、

TOYOTAのコンパクトカーは、

異様なまでに優れている。

ヴィッツよ……、

まだまだ一緒に走ろうぜ！

過去は変えることができない・・・、未来は・・・。

過去は・・・、

変えることだ出来無い・・・。

未来は・・・、

やはり・・・、

変えることができない・・・。

変えることが出来るのは・・・、

今だけ・・・、

この瞬間だけ・・・。

今・・・、

この瞬間を変えれば・・・、

過去も・・・、

未来も・・・、

変えることが・・・、

出来る・・・、

かもしれない・・・。

ジョン・ホイーラー・・・。

強い人間原理・・・。

ではないが・・・。

安全運転。

安全第一である。

細心の注意を払って、安全運転しているつもりである。

しかし、それでも、

ヒヤリとすることがある。

注意に注意を重ねても、

時には、ハットすることもある。

とにかく安全運転で行こう。

譲り合いの精神を大切に。

人に優しい運転を。

私が不安を感じるときは・・・。

私が・・・、

不安を感じるとき・・・、

恐怖を感じるとき・・・、

苛々するとき・・・、

その他、負の感情の湧きいずる時は・・・、

必ず・・・、

自分の心が間違っている・・・。

或いは・・・、

自分の行いが間違っている・・・。

もしくは・・・、

自分の言葉が間違っている・・・。

色々な本を読んで・・・、

最近気づいた・・・。

自分を正しく制御して・・・、

積善改過に励みたいものである・・・。

言霊。

言霊・・・。

言葉には力があるという・・・。

文字にも力があるという・・・。

良書にも力があるという・・・。

祝詞や念仏には・・・、

もの凄い力があるはずである・・・。

とにかく・・・、

言葉には力がある・・・。

言霊とも言うように・・・、

言葉には霊が宿る・・・。

だからこそ・・・、

良い言葉・・・。

正しい言葉・・・。

明るい言葉を使うように心掛けたい・・・。

そうすれば・・・、

心も・・・、

体も・・・、

表情も・・・、

性格も・・・、

運命も・・・、

人生も・・・、

明るく、正しくなるのではあるまいか・・・？

弱い人ほど・・・、善を為すほうが良い・・・？

安岡正篤先生の著書によれば、

孟子は、

「・・・小国で力が弱ければ弱いほど、善を為すのが最善の方法である・・・。」

と述べているそうである。

そこで、私は考えた・・・。

これを、国から人に置き換えれば、

「・・・小人で力が弱ければ弱いほど、善を為すのが最善の方法である・・・。」

となる。

すると・・・、

私は弱いから・・・、

善を為すのが最善の方法である・・・。

となる・・・。

積善改過の最大の意義は、ここに有るのか・・・？

兎に角・・・、

積善改過に励もう・・・！

強さと弱さは・・・、表裏一体・・・？

安岡先生が著書の中で、

長所と短所について述べておられる。

人にはには皆、長所と短所がある。

長所と短所は別物ではなく、

渾然一体となっている。

そして、

長所は短所でもあることが多く、

短所は長所でもあることが多い。

そこで、

どうやって短所を長所にするか、

どうやって、長所を短所にしないかが重要である・・・。

・・・と・・・。

そこで私は考えた・・・。

長所と短所を・・・、

強さと弱さに、置き換えるのだ・・・。

すると・・・、

人には皆、強さと弱さが有り・・・、

強さと弱さは別物ではなく・・・、

渾然一体となっている・・・。

そして・・・、

強さは弱さであることが多く・・・、

弱さは強さであることも多い・・・。

そこで・・・、

どうすれば・・・、

弱さを強さに変えることが出来るか・・・？

どうすれば・・・、

強さを弱さにしないですむか・・・？

そういうことが・・・、

重要となってくる・・・？

暦の上では春になった夜・・・、

そんなことを考えた・・・。

世捨て人。

小林秀雄は、

「・・・世捨て人とは世を捨てた人ではなく、世から捨てられた人である・・・。」

と書いている。

なる程と思う。

世捨て人を気取っていると、

寂しくも有り、

苦しくもある。

正しく、

世間、社会から捨てられたと感じるものである。

生きるためには・・・、

苦しくとも・・・、

世間・・・、

社会・・・、

他人と関わって生きる以外に道はない・・・。

私も・・・、

世に捨てられないように・・・、

真面目に働き・・・、

積善改過に励みたいものである・・・。

大いに笑おう。

「・・・楽しいから笑うんじゃない、笑うから楽しいんだ・・・。」

ウィリアム・ジェームスは、そう言ったらしい。

とはいえ・・・、

楽しくもないのに・・・、

笑えない・・・。

そう思うのが人情である。

しかしながら・・・、

無理矢理にでも笑ってみると・・・、

そうでなくとも・・・、

無理やり笑顔になってみると・・・、

・・・なんだか少し楽しいような気が・・・、

・・・少なくとも・・・、

・・・少し・・・、

・・・楽になる・・・。

兎に角・・・、

笑っていれば少しは楽になる・・・。

ならば・・・、

ずっと笑っていれば・・・、

ずっと幸せである・・・、

かもしれない・・・。

万年筆。

万年筆・・・。

軸が太く・・・、

書きやすい・・・。

カートリッジ式ではなく・・・、

コンバーター式・・・。

高級品ではない・・・。

700円で買った・・・。

しかしながら・・・、

モンブランよりも・・・、

ウオーターマンよりも・・・、

尊いものである・・・。

私にとっては・・・。

Y へ。

会えなくなって・・・、

随分と経ったな・・・。

電話や、メールじゃ・・・。

あの日・・・、

あの地震で全てが変わったな・・・。

真っ先に・・・、

Y・・・、

お前のことが心配になった・・・。

その日は・・・、

電話がつながらなかった・・・。

i mode の安否確認サイトでも・・・、

お前の名前は見当たらなかった・・・。

次の日・・・、

お前の携帯につながって・・・、

お前の声を聞いた時・・・、

ほっとして・・・、

胸をなでおろしたぞ・・・。

緊急対策本部・・・、

大変だったな・・・。

お互い元気なうちに・・・、

また会おうな・・・。

Y よ・・・。

とあるバイク屋。

若い頃・・・、

安いバイクを買った・・・。

中古で、12万くらいだった・・・。

街中の、古ぼけたバイク屋で買った・・・。

その店の主人は、中年ではあったが・・・、

夏八木勲に似た男前だった・・・。

今でもよく憶えているのは・・・、

その店主が・・・、

「・・・日本男児たるもの、バイクのひとつくらい乗らなければ・・・。」

と言ったことである。

少し大げさではあるが・・・、

その時は、妙に感心したものだだった・・・。

それから長い年月がたった・・・。

その時買ったバイクも売ってしまった・・・。

あのバイク屋は・・・、

今でも存在するのだろうか・・・？

そして・・・、

あの店主は・・・、

今でも元気なのであろうか・・・？

牛井太郎。

ああ・・・、

牛井太郎・・・。

懐かしの・・・、

牛井太郎・・・。

思い出の・・・、

牛井太郎・・・。

今では・・・、

存在するのだろうか・・・？

牛井太郎・・・。

200円で牛井が食えた・・・。

生野菜サラダは・・・、

確か・・・、

100円位だった・・・。

300円で、お腹いっぱいになった・・・。

貧乏学生にとっては、ありがたい存在だった・・・。

ありがとう・・・。

牛井太郎・・・。

永遠に・・・。

とある物理学教授の思い出。

学生時代・・・、

どういうわけか・・・、

物理学を受講していた・・・。

テキストは・・・、

「電磁気学演習」・・・。

全く理解できなかった・・・。

ただ・・・、

一つだけ記憶していることがある・・・。

それは・・・、

先生が・・・、

「・・・プラスの宇宙と、マイナスの宇宙がある・・・。」

と述べておられたことだ・・・。

その先生も・・・、

今では鬼籍に入っておられる・・・。

時々・・・、

懐かしく思い出す・・・。

テキストは・・・、

無くしたが・・・、

再び購入した・・・。

・・・なんか懐かしすぎて泣きそうだ・・・。

ノッポさんの思い出。

学生時代・・・、

ノッポさんがやって来た・・・。

大学で講演されたのだ・・・。

ノッポさんは・・・、

本当にノッポだった・・・。

身の丈抜群で、矍鑠としておられた・・・。

講演が終わり・・・、

質問コーナーになった・・・。

私は思い切って手を上げた・・・。

ノッポさんは、確かに私のことを指名しているように思われた・・・。

そこで私は立ち上がり・・・、

マイクが回ってくるのを待っていた・・・。

ところが、である・・・、

進行役の男が・・・、

別の学生にマイクを渡した・・・。

座が白けた・・・。

そんな思い出がある・・・。

ノッポさんは・・・、

今ではこの世の人ではない・・・。

心から・・・、

ノッポさんのご冥福をお祈りいたします・・・。

東洋古典。

苦しい時には・・・、

東洋古典・・・。

迷ったら・・・、

東洋古典・・・。

死にたくなったら・・・、

東洋古典・・・。

兎にも角にも・・・、

東洋古典・・・。

安岡先生も、

「・・・逆境の時こそ、古教に学べ・・・。」

と、言っておられる・・・。

小林秀雄は（もしかしたら別の人だったかもしれない。）、

「・・・頭脳を鍛えるためには、西洋の学問が必要であるが、

精神を鍛えるためには、東洋の学問が必要である・・・。」

というようなことを書いていた・・・。

我々日本国民の原点である東洋古典・・・。

苦しい時こそ・・・、

原点回帰・・・。

東洋古典を学ぼう・・・。

文化と culture.

小林秀雄によれば、

「・・・文化という言葉は、元々中国の言葉であり、武力によらずに民を教化する・・・。」

という意味らしい・・・。

それを、culture という言葉の翻訳に当てはめたということである。

それを読んでからというもの・・・、

私は、文化という言葉を使うのが嫌になった・・・。

言葉というものは難しいものである・・・。

また、翻訳というものも難しいものである・・・。

何気なく使った言葉で・・・、

大いなる誤解を生ずることもある・・・。

ヴァレリーの・・・、

「・・・せめて人が誤解し合えるように、理解し合えれば・・・。」

という言葉が味わい深い・・・。

バレンタインデーを前に。(真心ブラザーズの「ひこうきぐも」を聴きながら。)

ああ・・・、

バレンタインデー・・・。

高校生の頃・・・、

バレンタインデー当日・・・、

下駄箱の前でときめく・・・。

開けてみて・・・、

がっかり・・・。

教室の席についてときめき・・・、

机の中を調べて・・・、

がっかり・・・。

もしかすると・・・、

放課後に・・・、

誰かが・・・、

チョコレートを・・・。

そしてまた・・・、

帰りに下駄箱を見る・・・、

また・・・、

がっかり・・・。

結局、帰りにスーパーによって・・・、

板チョコ5枚くらい買った・・・。

家に帰って・・・、

やけ食い・・・。

そんな思い出ばかりだ・・・。

一年で・・・、

最も虚しい日・・・。

バレンタインデー・・・。

もてない男の僻みなのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

逆境。

東洋古典の碩学は・・・、

ことさら、逆境の効用を述べておられる・・・。

逆境に面して・・・、

苦しみに耐えることによって・・・、

人間は鍛えられる・・・。

胆力・胆識が練り上げられる・・・。

骨力が鍛えられる・・・。

等と書かれている・・・。

艱難汝を玉にす・・・。

ということか・・・。

ともすると・・・、

逆境や苦しみから逃げたくなる・・・。

しかしながら・・・、

どんな困難からも逃げずに・・・、

正面から取り組んでいきたい・・・。

そうすれば・・・、

鍛え上げられる・・・、

かもしれない・・・。

バレンタインデー・・・。

バレンタインデー・・・。

やっぱり・・・、

何もなかった・・・。

いつもどおりの・・・、

ひとりぼっち・・・。

やはり・・・、

少し・・・、

虚しい・・・、

バレンタインデー・・・。

星になった愛犬。

愛犬が星になってから・・・、

どれくらいの月日が流れただろう・・・？

正直言って・・・、

散歩に連れて行くのは面倒くさかった・・・。

でも・・・、

可愛かった・・・。

ほとんど吠えない・・・、

黒い雑種の中型犬だった・・・。

鎖に繋がれていても・・・、

リードに繋がれていても・・・、

いつも生き生きとしていた・・・。

しかし・・・、

フィラリアになった・・・。

17歳くらいだったっけ・・・。

最後の10日ほどは・・・、

毎晩・・・、

遠吠えしていた・・・。

苦しかったんだろう・・・。

助けを求めていたのだろう・・・。

しかしながら・・・、

仕事がきつくて・・・、

最後を看取ってあげられなかった・・・。

今でも後悔している・・・。

今度は人間に生まれてこいよ・・・！

そしてまた・・・、

友達になろうぜ・・・！

運転マナー。

車を運転していて・・・、

よく思う・・・。

急いでいるのかもしれない・・・。

でも・・・、

そんなにスピード出すと・・・、

危ないよ・・・。

事故を起こしてからでは遅すぎる・・・。

後悔先に立たず・・・。

ということにならないように・・・、

日頃から・・・、

安全運転を心掛けたいものである・・・。

はじめての野○。

高校時代・・・、

自転車通学だった・・・。

ある日・・・、

どういうわけか・・・、

途中でお腹を下した・・・。

どうしても我慢できず・・・、

道路の脇の草むらに入って・・・、

用を足した・・・。

はじめての野○だった・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

いまでは・・・、

いい思い出である・・・。

「サンデードライバー」・・・。

学生時代・・・、

車を持っていなかった・・・。

それで・・・、

車を持っている友達に、ドライブに連れて行ってもらっていた・・・。

平日は・・・、

夜のドライブだった・・・。

日曜日には、昼間にドライブした・・・。

日曜日の昼間は、車が混んでいた・・・。

そんな時、友人が言った・・・、

「・・・サンデードライバーだよ・・・。」

私はその言葉の意味がわからなかった・・・。

友人によれば・・・、

「サンデードライバー」とは・・・、

平日は仕事なので、車の運転はせず・・・、

日曜日には運転する人のことらしかった・・・。

友人は・・・、

「サンデードライバー」と、揶揄していたが・・・、

私は思った・・・。

平日は一生懸命に働き・・・、

休日である日曜日に・・・、

家族のため・・・、

或いは、自分のストレス解消のため・・・、

或いは・・・。

そんな方々を・・・、

「サンデードライバー」・・・、

と、揶揄するのは如何なものか・・・？

と・・・。

休日になると思い出す・・・。

「サンデードライバー」・・・。

日本を支えている人たち・・・。

プロジェクト X に登場してもおかしくない人たち・・・。

京都から来た男（桂浜にて。）。

その昔・・・、

高知に旅行に行った・・・。

そして・・・、

バスに乗り・・・、

桂浜へ向かった・・・。

車中で、私の前に一人の男性が座っていた・・・。

まだ若いようで、学生さんにも見受けられた・・・。

桂浜で降りたのは、彼と私の二人だけだった・・・。

降りてから気づいたのだが・・・、

彼は、サンダルを履いていた・・・。

そこで・・・、

私は尋ねた・・・。

「・・・どちらから来られたのですか・・・？」

すると・・・、

「・・・京都からです・・・、自分探しの旅の途中です・・・。」

と、彼は言った・・・。

京都から来たのに・・・、

サンダル・・・？

なんだか不思議な気がした・・・。

しかしながら・・・、

知性的な風貌だったので、京都大学の学生さんかとも思ったが・・・、

それを尋ねはしなかった・・・。

もちろん、サンダルのことも・・・。

少し話をして、彼とは別れた・・・。

どうでも良いことだが、妙に印象に残っている・・・。

あれから随分と長い年月が経過したが・・・、

時々思い出す・・・、

京都から来たサンダル履きの男のことを・・・。

時には泥をかぶることも必要だ・・・？

時には・・・、

泥をかぶることも必要である・・・。

最近そう思うようになった・・・。

若い頃は・・・、

泥をかぶるのが嫌だった・・・。

それどころか・・・、

何かにつけ、責任回避していた・・・。

しかしながら・・・、

いろんな経験をする（ほとんどが出鱈目な経験だが・・・。）、

時には泥をかぶることも必要だ・・・、

と、思うようになった・・・。

思えるようになったというべきか・・・。

いや・・・、

そう思わなければ生きていけない・・・。

なんとなく、そう思うようになった・・・。

少なくとも・・・、

弁解や責任回避はやめよう・・・。

できうれば・・・、

全責任を背負って生きていきたいものである・・・。

Piazza。

ピアッツアを見た・・・。

久しぶりだった・・・。

高校時代・・・、憧れた車・・・。

いすゞの最高傑作・・・、

Piazza・・・。

イタリア語で、広場を意味するそうである・・・。

今では・・・、

製造されていない・・・。

いすゞは、乗用車の国内向け販売を中止したんだっけ・・・？

すれ違ったのは、白い Piazza だった・・・。

かなり状態が良いようであった・・・。

懐かしくて・・・、

感動した・・・。

ジウジアーロのデザインは・・・、

今でも色あせていなかった・・・。

ありがとう・・・、

Piazza・・・。

ありがとう・・・、

いすゞ・・・。

そして・・・、

ありがとう・・・、

ジウジアーロ・・・。

生ききている人間は……。(小林秀雄の言葉から……。)

小林秀雄が著書の中で書いている……。

あの、ノーベル文学賞を受賞した川端康成さんと話をした時のことだそうだ……。

内容は次のような感じである……。

生きている人間というものは……、

何を言い出すやら、何をしでかすやらわかったもんじゃない……。

それに比べると、死んだ人間は大したものである……。

どうして、ああしっかりしているのだろう……？

そうすると……、

生きている人間というものは……、

人間になりつつある、一種の生き物なのかな……？

そんな話をして、大笑いしたそうである……。

確かにそうだなと、妙に納得したものである……。

生きている人間は……、

何を言い出すやら、何をしでかすやらわかったものじゃない……。

それに比べると……、

確かに……、

死んだ人間というものは……、

立派に思えるものである・・・。

そうすると・・・、

私も・・・、

死んだら・・・、

立派な人間に思われるのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

季節を忘れてしまいそうです・・・。

このあたたかさで・・・、

いや・・・、

この暑さで・・・、

季節を忘れてしまいそうです・・・。

ここあたたかさ・・・、

一体何なんだろう・・・？

あの日・・・キャンプファイヤー・・・。(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら。)

あの日・・・、

ESSのキャンプ・・・。

その夜・・・、

キャンプファイヤー・・・。

フォークダンス・・・。

せっかく・・・、

貴方と二人になれたのに・・・、

何も話せなかった・・・。

貴方のために出来ることは無かった・・・。

いいえ・・・、

何も出来なかったのです・・・。

私には・・・、

貴方を助ける勇気が無かったのです・・・。

貴方は遠くへ行ったそうですね・・・。

時々・・・、

あの夜の事を思い出します・・・。

貴方が・・・、

今でも・・・、

幸せでありますように・・・。

人間の相場。(氷川清話より引用。)

氷川清話の中で、勝海舟さんは述べている・・・。

「・・・上がった相場も、いつかは下がるときがあるし、

下がった相場も、いつかは上がる時があるものさ。

その上がり下がり時間も、長くて十年はかからないよ。

それだから、自分の相場が下落したと見たら、じっとかがんでおれば、

しばらくすると、また上がってくるものだ。

(中略)

・・・その上がり下がり十年間の辛抱ができる人は、すなわち大豪傑だ。

おれなども現にその一人だよ。」・・・と・・・。

なる程と思った・・・。

私の相場は、下がりっぱなしだが・・・、

この言葉を読むと・・・、

妙に勇気が出る・・・。

自分の相場が下がって・・・、

もう十年はたったっけ・・・。

だとすると・・・、

勝さんの言葉が本当なら・・・、

私の相場が・・・、

上がり始めるかもしれない・・・。

そうであることを祈る・・・。

かくりよのおおかみあわれみたまえ・・・。

エーメン・・・。

スウェーデンボルグの霊界日記・・・。

スウェーデンボルグの霊界日記・・・。

数年前に買った・・・。

史上最大の天才・・・？

とされているらしい、スウェーデンボルグ・・・。

霊界出遊が出来たらしい・・・。

ほんとかな・・・。

そして・・・、

霊界でいろんな人と会ったという・・・。

例えば・・・、

サー・アイザック・ニュートン・・・。

「プリンキピア・マセマティカ」で有名な・・・、

古典力学の祖である、あの人だ・・・。

ニュートンは光に関して話したそうだ・・・。

まあ・・・、

「光学」という本を書いているから・・・。

日本でも・・・、

日蔵上人は・・・、

あの世（地獄）を見てきたと伝えられている……。

百人一首で有名な……、

また、小野小町の実父として有名な……、

小野篁さんは……、

夜な夜な……、

閻魔庁へ行って……、

閻魔大王様のお手伝いをしていた……、

と言われている……。

不思議なこともあるもんだ……。

あの世って……、

本当にあるのだろうか……？

パン屋さんで・・・あの日・・・。

あなたが・・・、

パン屋さんで・・・、

バイトしていた頃・・・、

あいつに頼まれて・・・、

あいつと二人で・・・、

あなたのバイト先・・・、

パン屋さんへ行きました・・・。

最初あなたは・・・、

嬉しそうだったけど・・・、

あいつの顔を見た途端・・・、

店の奥へと消えて行きました・・・。

あの時のことは・・・、

申し訳なく思っています・・・。

私もまだ若かった・・・、

いえ・・・、

お互いにまだ、子供だったのです・・・。

あれから・・・、

あなたとは会っていません・・・。

もう会わないほうがいいのでしょうか・・・。

あなたが・・・、

いまでも・・・、

しあわせでありますように・・・。

不幸を感じている人より不幸に慣れて了った人の方が不幸である。(小林秀雄の著書から。)

小林秀雄は、その著書の中で述べている……。

不幸を感じている人より不幸に慣れて了った人の方が不幸である。と……。

また……、

……不安が極限に達すれば、人はもう不安なくしては生きられぬと感ずる。……

……今日では不安こそ健康な状態となった。……云々……。

なる程と思う……。

慣れるということは、ある意味素晴らしいことではある……。

しかしながら……、

恐ろしい一面も持っていることは確かである……。

……不安が極限に達すれば、人はもう不安なしでは生きられぬと感ずる。……

確かにそうかもしれない……。

私なんぞは……、

子供の頃……、

なにか不安なことはなかったっけ……、

と……、

楽しいことの後に考えていたものである……。

不安が極限に達していたのであろうか・・・？

不安こそが健康な状態となった・・・、とは・・・、

皮肉なことである・・・。

しかしながら・・・、

妙に納得してしまう・・・。

他の人は・・・、

不幸や不安を感じているのであろうか・・・？

また、不幸や不安に慣れてしまったのであろうか・・・？

慣れてしまったほうが良いような気もするし・・・、

慣れないほうが良いような気もする・・・。

秘密性の強い人は・・・。

とある本で読んだ・・・。

秘密性の強い人は・・・、

不安を感じやすいそうである・・・。

ひどくなると、神経衰弱におちいるとか・・・？

私なんぞは、不安を感じやすい・・・。

確かに私は、秘密性が強い・・・。

そこで考えた・・・。

少しずつオープンにして・・・、

秘密性を減じていけば・・・、

不安感が少なくなるのかもしれない・・・。

全部オープンにすれば・・・、

真の幸福にたどり着ける・・・、

かもしれない・・・。

三連休・・・。

三連休・・・。

世間では盛り上がっていた・・・。

しかし・・・、

何もなかった・・・。

・・・何も・・・。

一体・・・、

何なんだ・・・？

でも・・・、

まあいい・・・。

何もないことが・・・、

無事長久の基なのかもしれない・・・。

たぶん・・・、

そうだ・・・、

きっと・・・。

家貧にして未だ貧ならず・・・。（安岡先生の著書のあとがきより引用。）

家貧にして、未だ貧ならず・・・、

道貧にして、人を愁殺す・・・。

という禅語があるそうだ・・・。

家の貧しいのはまだ本当の貧ではない・・・、

道を求める心がなくなった時が・・・、

本当に憂うべき貧しさである・・・。

その時、人は滅ぶ・・・。

ということでしょう・・・。

とある・・・。

私は経時的には貧しいが・・・、

道を求めている・・・。

ということは・・・、

本当の貧ではないということか・・・？

これからも・・・、

正しい道を求めて・・・、

積善改過に励もう・・・。

オレオ・・・に似たビスケット・・・？

オレオ・・・。

とっても美味しい・・・、

オレオ・・・。

随分と食べていない・・・。

しかしながら・・・、

オレオ・・・に似たビスケットは・・・、

時々食べる・・・。

こちらも・・・、

滅法うまい・・・。

本当は・・・、

本物の・・・？

オレオを・・・、

食べたいのだが・・・、

私は・・・、

オレオ・・・に似たビスケットを食べる・・・。

いつの日か・・・、

また・・・、

本物の・・・？

オレオを・・・、

食べよう・・・。

ああ・・・、

オレオ・・・。

ああ・・・、

オレオ・・・に似たビスケット・・・？

グランツーリスモ・スポーツ。

グランツーリスモ・スポーツ・・・。

えっ・・・、

いまごろ・・・？

いつも・・・、

遅れて・・・、

ゲームを買う・・・。

中古で・・・。

オンラインサービスが終了したあとで・・・。

でも・・・、

それでいい・・・。

私は・・・、

それでいい・・・。

グランツーリスモ・スポーツ・・・。

けっこう・・・、

いい感じである・・・。

しかしながら・・・、

本音を言えば・・・、

オンラインサービスがあるうちに・・・、

プレイしたかった・・・。

本当は・・・。

でも・・・、

まあいい・・・。

人間は絶えず孤独にならなければならない。（安岡先生の著書より引用。）

人間は絶えず孤独にならなければならない……。

安岡先生は著書で述べておられる……。

そうすることによって、多くの者から「由らしむべし」……

信頼され、当てにされ、頼みにされるだけの人間になる……。

というのが理由のようだ……。

成るほど……、

と……、

妙に納得した……。

「……孤独は天才の学校である……。」と……、

エドワード・ギボンは言ったそうである……。

でも……、

エドワード・ギボンって……、

……誰……？

いずれにしても……、

洋の東西を問わず……、

孤独というものは……、

大切なようだ・・・。

私はずっと・・・、

孤独である・・・。

ではそれが・・・、

良かった・・・、

のか・・・？

アルフォート・・・。

アルフォート・・・。

時々・・・、

無性に食べたくなる・・・。

今夜食べた・・・。

食べると・・・、

何だか・・・、

ホッとする・・・。

アルフォート・・・。

ありがとう・・・、

アルフォート・・・。

ありがとう・・・、

ブルボン・・・。

Zの男・・・。

高校時代・・・、

古い木造アパートに住んでいた・・・。

向かいの家に・・・、

若い男の人が住んでいた・・・。

その男性は・・・、

フェアレディーZを持っていた・・・。

しかも・・・、

二台も持ってた・・・。

Zにも・・・、

その男性にも・・・、

憧れていたものである・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

あの男性は元気なのだろうか・・・？

そして・・・、

今でも・・・、

フェアレディーZに乗っているのだろうか・・・？

うぐいす・・・。

今朝・・・、

うぐいすが鳴いていた・・・。

今年初めてである・・・。

もうそんな季節なのかと驚いた・・・。

それに・・・、

うぐいすは・・・、

鳴きはじめの頃は・・・、

うまく鳴けないはずなのだが・・・、

今朝のうぐいすは・・・、

ちゃんと・・・、

「ホーホケキョ」・・・、

と鳴いていた・・・。

私は鳥が好きである・・・。

そして・・・、

なんとなくではあるが・・・、

鳥に好かれているような気がする・・・。

まあ・・・、

気のせいであろう・・・？

弱さを見せることができるのは、強さの証だ・・・。

弱さを見せることができるのは・・・、

強さの証だと思う・・・。

人は・・・、

弱さを隠そうとして・・・、

虚勢を張ってしまう・・・。

それで苦しむ・・・。

それは・・・、

弱さの証に思える・・・。

弱さを見せることには・・・、

勇気が必要である・・・。

不安やリスクをも伴う・・・。

しかしながら・・・、

いや・・・、

だからこそ・・・、

弱さを見せることができるということは・・・、

強さの証なのではあるまいか・・・？

私は思う・・・、

弱さを見せることができるのは・・・、

強さの証だと・・・。

明日世界が終わるとしても・・・。

明日世界が終わるとしても・・・、

私は木を植えるであろう・・・。

という言葉を読んだことがある・・・。

誰の言葉だったのかは・・・、

忘れた・・・。

私は・・・、

明日世界が終わるとしても・・・、

明日が私の最後の日であったとしても・・・、

私は今夜も・・・、

本を読む・・・。

何のために・・・？

そんなことは・・・、

どうでもいい・・・。

グランツーリスモ7・・・。

グランツーリスモ7・・・。

やっと買った・・・。

しかも・・・、

新品で・・・。

本来は・・・、

それが当然なのであるが・・・。

ゲームを新品で買ったのは・・・、

何年ぶりであろうか・・・？

まだ・・・、

オフラインプレイである・・・。

初心者だから仕方ない・・・。

いつの日か・・・、

オンラインで・・・、

レースに参加してみたい・・・。

その前に・・・、

PS Plus に加入しなければ・・・。

そのタイミングが・・・。

早めに加入したほうが良いのか・・・？

もう少し待ったほうが良いのか・・・？

うーむ・・・。

悩ましい・・・。

SNS . . . 。

SNS の履歴が消えた . . . 。

自分のミスである . . . 。

親友に心配をかけた . . . 。

気を遣って . . . 、

連絡してきてくれた . . . 。

本当に申し訳ないと思った . . . 。

現代社会では . . . 、

SNS も . . . 、

いや . . . 、

特に . . . 、

SNS を使用するにあたっては . . . 、

十分に注意を払うべきである . . . 。

他人を傷つけないように . . . 。

また . . . 、

自分を傷つけないように . . . 。

今夜 . . . 、

そう思った . . . 。

昼も夜も働く男・・・。

若い頃・・・、

工事現場のガードマンのバイトをしていた・・・。

私は朝早く現場に向かった・・・。

しかしながら・・・、

私よりも早く現場に来ている人がいた・・・。

建設会社の方であった・・・。

その人は、朝の7時には現場に来ていた・・・。

私は不思議に思ったので尋ねてみた・・・。

「・・・何でそんなに早く来るんですか・・・？」

すると・・・、

「・・・夜中に代行の運転手してるんだ・・・、代行の仕事が終わったら、現場に来て仮眠をとっている・・・」

とその人は答えた・・・。

な・・・、

なんと・・・、

昼間は工事現場で働き・・・、

夜中は代行の運転手をしておられた・・・。

真に驚くべき働き者である・・・。

「・・・何でそんなに働くんですか・・・？」

と尋ねると・・・、

「・・・ビルを建てるんだ・・・。」

と答えた・・・。

それが真実であるかどうかは謎であるが・・・、

兎に角その人は働き者だった・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

あの人は・・・、

今でも工事現場で働いているのであろうか・・・？

また・・・、

代行の運転手を続けておられるのであろうか・・・？

そして・・・、

ビルを建てることは出来たのであろうか・・・？

しかし何より・・・、

元気でおられるのであろうか・・・？

今となっては・・・、

知るすべもない・・・。

柔道白帯の男・・・。

大学時代・・・、

体育で、柔道を選択していた・・・。

一年生の時だった・・・。

下手だったが、それなりに頑張った・・・。

得意技は、膝車だった・・・。

まあ・・・、

所詮は素人だが・・・。

そして・・・、

体育祭の日がやって来た・・・。

といっても・・・、

ただのトーナメント大会だったが・・・。

白帯・黒帯・体重別に分かれて試合をした・・・。

私は、白帯の中量級に出場した・・・。

大会では、安全面を考慮して・・・、

白帯は寝技オンリーだった・・・。

初戦くらいは勝てるだろう・・・。

そんな甘い考えだった・・・。

対戦相手は・・・、

小柄だが、ガッチリしていた・・・。

そして・・・、

試合開始・・・。

いきなり押さえ込まれた・・・。

がっちりと袈裟固をかけられた・・・。

どんなにもがいても・・・、

ピクリとも動けなかった・・・。

そして・・・、

押さえ込みで一本負け・・・。

なんか情けなかった・・・。

相手は、白帯にしては強かった・・・。

袈裟固をといて、相手が立ち上がった・・・。

柔道着に、名前が書いてあった・・・。

それと・・・、

〇〇会館という文字が・・・。

な・・・、

なに・・・、

あんたどっかの道場に通っているのかよ・・・？

それ、するんじゃないか・・・？

そんなことを考えたが・・・、

どうしようもなかった・・・。

あとで、友達に・・・、

「・・・お前、ゴキブリみたいだったぞ・・・。」

と笑われた・・・。

しかし・・・、

後悔はない・・・。

あいつは確かに強かった・・・。

時々思い出す・・・。

柔道白帯の男のことを・・・。

あいつは、今でも柔道続けているのだろうか・・・？

また・・・、

黒帯には、なれたのであろうか・・・？

そして・・・、

今でも元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

柔道白帯の男のことを・・・。

内弁慶・・・。

私は内弁慶である・・・。

子供の頃から・・・。

家では威張っているが・・・、

外へ出ると・・・、

まるでダメである・・・。

弱い・・・、

弱すぎる・・・。

そして、家に帰ると・・・、

態度がでかくなる・・・。

何だか恥ずかしい・・・。

何だか情けない・・・。

ああ・・・、

内弁慶・・・。

内弁慶に栄えあれ・・・。

意地を張らなければ・・・。

意地を張らなければ・・・、

随分楽になると思う・・・。

意地を張り合うと・・・、

皆苦しくなる・・・。

みんなが・・・、

意地を張ることをやめれば・・・、

みんなが・・・、

楽しく・・・、

幸せに・・・、

暮らしていけるのではないだろうか・・・？

私の気のせいではないはずだ・・・。

清濁併せ呑む男になれ・・・。

「・・・清濁併せ呑む男になれ・・・」

高校時代の恩師の言葉である・・・。

その時は良く分からなかった・・・。

しかしながら・・・、

今では・・・、

良く分かる・・・。

私は・・・、

清濁併せ呑む男に、

なることが出来たのであろうか・・・？

これから・・・、

清濁併せ呑む男に・・・、

なりたいと思う・・・。

コーヒー・・・。

コーヒー・・・。

子供の頃から・・・、

コーヒーが好きだ・・・。

ブラックコーヒー・・・、

ミルクコーヒー・・・、

缶コーヒー・・・、

コーヒー牛乳・・・、

何でも好きだ・・・。

何となく・・・、

心が落ち着く・・・。

不思議な飲み物・・・、

コーヒハ・・・。

アイスクリーム・・・。

アイスクリーム・・・。

私は・・・、

アイスクリームが好きだ・・・。

春も・・・、

夏も・・・、

秋も・・・、

冬も・・・、

凍えそうな寒い夜でも・・・、

アイスクリームを食べる・・・。

何だかホッとする・・・。

疲れや・・・、

ストレスが・・・、

抜けてゆく気がする・・・。

毎日食べたいな・・・、

アイスクリーム・・・。

道徳観念。

「我々は未来を前にして、後ずさりしているようだ。」

とは、ヴァレリーの言葉らしい。

安岡先生の著書を読んで思うに、

道徳観念の低下を意味すると思われる。

小林秀雄の著書の解説で、

亀井勝一郎は、

「・・・武士が減んだということは・・・、日本が何百年と培ってきた道徳観念の崩壊を意味する・・・。」

というようなことを書いていたと記憶している。

色んな方々の著書を読んでみるに、一様のことが書かれている。

我々人間の道徳観念は、

低下の一途をたどっているのでしょうか？

マスメディアやネットのニュースを見聞きすれば、

道徳観念のかけらもない事象が多く見受けられる。

そのような時勢であるからこそ、

我々一人一人が、

積善改過に励むことが、最善の道である。

Wi-Fi . . . 。

Wi-Fi . . . 。

ワイファイ . . . 。

今では当たり前存在になった . . . 。

しかしながら . . . 、

Wi-Fi が登場した頃 . . . 、

Wi-Fi を . . . 、

ワイファイと読めなかった . . . 。

ウイーフィと読んでいた . . . 。

心の中で . . . 。

そしてある日 . . . 、

誰かが . . . 、

ワイファイと言っているのを聞いた . . . 。

ああ . . . 、

そうだったのか . . . 、

Wi-Fi は . . . 、

ウイーフィではなく . . . 、

ワイファイだったのか . . . 。

そう悟ったのも・・・、

今となっては懐かしい思い出である・・・。

気。

安岡先生は、気の大切さを述べられている。

五木寛之先生も同様である。

勝海舟さんも、氷川清話の中で、気の大切さを説かれている。

一説によれば、

穢とは、

気枯れ・・・。

すなわち、

気が枯れて、気力がなくなる・・・、

ということが語源らしい。

それほどまでに、

「気」というものは大切なものである。

「気」を充実させて、

積善改過に励もう。

麺好きだった男・・・。

昔・・・、

職場に・・・、

麺好きな男性がいた・・・。

細身のイケメンだった・・・。

部署は違ったが・・・、

時折、喫煙所で話した・・・

彼は・・・、

何時も、お昼ごはんは外食だった・・・。

「・・・〇〇さん、今日もラーメン食べて来ました・・・。」

「・・・そうですか・・・。」

「・・・昨日も一昨日もラーメンでした・・・。」

「・・・ラーメンばかりじゃ・・・、体に良くないのでは・・・？」

「・・・そうですね、明日は違うもの食べます・・・。」

こんな感じだった・・・。

そして次の日・・・。

「・・・〇〇さん、今日はラーメンじゃないものを食べました・・・。」

「・・・そうですか・・・、で・・・、何を食べたんですか・・・？」

「・・・うどんです・・・。」

「・・・うどん・・・、です・・・、か・・・。」

彼は、正真正銘の麺好きだった・・・。

その後・・・、

私はその職場を去った・・・。

そして・・・、

長い年月が過ぎ去った・・・。

時々思い出す・・・。

麺好きの男のことを・・・。

麺類を食べるたびに・・・。

キットカット・・・。

キットカット・・・。

懐かしくも有り・・・、

新しくもある・・・。

キットカット・・・。

時々・・・、

食べたくなる・・・。

この前食べた・・・。

疲れが取れる・・・。

自分に克てる気がする・・・。

キットカット・・・。

ありがとう・・・、

キットカット・・・。

また・・・、

食べたいな・・・。

キットカット・・・。

Bspec . . . 。

Bspec . . . 。

ああ . . . 、

Bspec . . . 。

なぜ . . . 、

消えてしまった . . . 。

便利だったのに . . . 。

楽だったのに . . . 。

4 . . . 、

5 . . . 、

6 . . . 、

まではあったのに、

グランツーリスモスポーツから . . . 、

消えてしまった . . . 。

ああ。。。、

Bspec . . . 。

復活して欲しい . . . 、

Bspec . . . 。

ファイル更新・・・。

ファイル更新・・・、

が・・・、

出来ない・・・。

終わらない・・・。

なぜ・・・、？

ファイル更新が・・・。

ああ・・・、

ファイル更新・・・。

何とか・・・、

ファイル更新・・・、

完了してくれ・・・。

容量オーバー・・・？

かな・・・？

カーテンを開けると・・・。

朝・・・、

カーテンを開けると・・・、

な・・・、

ね・・・、

ネコ・・・、

猫・・・？

猫と目が合った・・・。

な・・・、

なんで・・・？

2階なのに・・・？

猫は、興味深そうな表情をしていた・・・。

どこから来たの・・・？

一瞬ビビった・・・。

でも・・・、

かわいかった・・・。

そして、・・・、

どこかへ消えていった・・・。

また来てね・・・。

風の強い日に・・・、海へ・・・。

風の強い日に・・・、

海へ・・・。

荒れていた・・・。

この時期にしては・・・、

冷たい風が・・・、

吹きすさんでいた・・・。

鳶を何匹も見た・・・。

鷹も何匹も見た・・・。

白い鳥の群れも見た・・・。

スピリチュアリストによれば・・・、

吉兆らしい・・・。

いいことあれば・・・、

いいなあ・・・。

それにしても・・・、

少し・・・、

疲れた・・・。

ブラジルに渡った男・・・。

ブラジルに渡ったおじさんがいる・・・。

と言っても・・・、

血縁関係はない・・・。

父の幼なじみである・・・、

ただそれだけだ・・・。

昔から、ブラジルのおじさんと呼んでいた・・・。

彼は・・・、

学校卒業後・・・、

先にブラジルに渡ったお姉さんを頼りに・・・、

単身、ブラジルに渡ったそうさ・・・。

最初は、雇われて働いていたらしい・・・。

それは過酷な労働だったそうさ・・・。

そこで、独立して・・・、

花の農場を始めたらしい・・・。

そして・・・、

成功・・・。

時々日本に帰国する・・・。

おみやげを持って・・・。

色んな物をもらった・・・。

コーヒー・・・、

ウオッカ（アーモンドで出来た、素晴らしい香りのウオッカだった）・・・、

美味しい変わったケーキ・・・、

ピラニアの剥製・・・、

魚の化石・・・、

等等・・・、

色々もらった・・・。

それにしても・・・、

二十年ほど会っていない・・・。

父には、時々電話がかかってきたようだったが・・・、

最近では、電話もない・・・。

ブラジルのおじさんは・・・、

今でも元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・。

ブラジルに渡った男のことを・・・。

・・・筋トレ・・・。

私は筋トレが好きである・・・。

と言っても・・・、

腕立て・・・、

スクワットなど・・・、

誰にでもできることをやっているだけである・・・。

体が冷えたら・・・、

筋トレ・・・。

食べ過ぎたら・・・、

筋トレ・・・。

不安なときには・・・、

筋トレ・・・。

ストレスを感じたら・・・、

筋トレ・・・。

イライラしたら・・・、

筋トレ・・・。

ああ・・・、

筋トレ・・・。

なかなかいいもんだ・・・。

筋トレ・・・。

フィナーレ・・・。

グランツーリスモ7・・・。

やっと・・・、

クリア・・・。

エンディング・・・。

フィナーレ・・・。

なんだか・・・、

ほっとした・・・。

やっと・・・、

ウイークリーチャレンジが・・・、

開放された・・・。

明日から・・・、

ウイークリーチャレンジだ・・・。

でも・・・、

これで・・・、

いいのか・・・？

まあ・・・、

いいということに・・・、

しておこう・・・。

・・・奇跡・・・。

奇跡は・・・、

単なる僥倖ではない・・・。

自分が・・・、

勇気をだして・・・、

行動すること・・・。

それこそが・・・、

奇跡そのものである・・・。

やっと・・・、

わかった・・・。

そんな・・・、

気がする・・・。

保育園に通っていた頃・・・、給食の・・・、思い出・・・、
のようなもの・・・。

保育園に通っていた頃・・・、

ある日の給食に・・・、

シチューが出た・・・。

私は肉の脂身が嫌いだったので・・・、

お皿の中に、一切れの脂身が残った・・・。

私は食べたくなかった・・・。

先生は、食べろと言った・・・。

私は食べたくなかった・・・。

脂身を食べる必要はないと思ったからだ・・・。

私は、一人・・・、

いつまでも・・・、

一切れの脂身と向かい合っていた・・・。

その後どうなったのか・・・、

忘れた・・・。

食べたのかもしれない・・・。

食べなかったのかもしれない・・・。

しかし・・・、

脂身と向き合ったことだけは・・・、

妙に印象に残っている・・・。

そもそも・・・、

保育園児に・・・、

無理やり食べさせる必要があるのでしょうか・・・？

甚だ疑問である・・・。

最近のニュースを観て・・・、

自分の記憶が蘇った・・・。

スマートウォッチ・・・。

スマートウォッチ・・・。

けっこう・・・、

便利である・・・。

私が持っているものは・・・、

安物であるが・・・。

それでも・・・、

便利だ・・・。

時計としての機能は勿論・・・、

歩数・・・、

血圧・・・、

心拍数・・・、

血糖値・・・、

睡眠時間・・・、

等等・・・。

正確ではないかもしれない・・・。

しかしながら・・・、

基本的には正しいと思われる・・・。

自己管理の手助けとなる・・・。

デメリットもあるのであろう・・・。

しかしながら・・・、

メリットの方に着目したいものである・・・。

ああ・・・、

スマートウォッチ・・・。

私の・・・、

安物の・・・、

スマートウォッチ・・・。

ああ・・・、

愛しのスマートウォッチ・・・。

ウイークリー・チャレンジ・・・。

やっと・・・、

クリアした・・・。

グランツーリスモ7の・・・、

ウイークリー・チャレンジ・・・。

疲れた・・・。

メニューブックを出すために・・・、

コレクターズレベルを上げるのに・・・、

苦労した・・・。

何とか・・・、

クリアした・・・。

初めての・・・、

ウイークリー・チャレンジ・・・。

ああ・・・、

グランツーリスモ7・・・、

ああ・・・、

ウイークリーチャレンジ・・・。

アンドロイド（ガーネット・クロウの「風とレインボー」を
聴きながら）・・・。

テレビや・・・、

映画・・・、

小説に登場する・・・、

アンドロイドは・・・、

何故か・・・、

人間以上に・・・、

人間らしく思える・・・。

心がないはずなのに・・・、

愛や・・・、

勇気を備えている・・・。

我々人間は・・・、

アンドロイドを・・・、

見習うべきなのかもしれない・・・。

アンドロイドは・・・、

神様の遣わした使者なのか・・・？

大学サッカー部の男（ガーネット・クロウの「世界はまわる
と言うけれど」を聴きながら）・・・。

大学時代・・・、

ゼミに・・・、

サッカー部の男がいた・・・。

やたらと長身で・・・、

細身だった・・・。

なんとなく好感がもてる男だった・・・。

そして・・・、

寡黙だった・・・。

その男との唯一の会話は・・・、

カラオケの時・・・、

その男が、辛島みどりさんの、「サイレント・イブ」を歌ったときだった・・・。

「・・・その歌なんて言う曲なの・・・？」

「辛島みどりの、サイレント・イブだよ・・・。」

そんな感じだった・・・。

それから随分と長い年月が流れた・・・。

辛島みどりさんのファンだった・・・、

あの・・・、

サッカー部の男は・・・、

今・・・、

どこで・・・、

何をしているのであろうか・・・？

それを知る術はない・・・。

魚・・・を・・・食べると・・・。

魚を食べると・・・、

何だか・・・、

調子が良くなる・・・。

最近気づいた・・・。

なぜだろう・・・？

肉のほうが好きだったのに・・・。

肉を食べると・・・、

疲れるようになった・・・。

魚を食べると・・・、

調子が良くなる・・・。

これからは・・・、

魚を中心とした・・・、

食生活に変えよう・・・。

家に帰ると・・・。

家に帰ると・・・、

庭に・・・、

ネコがいた・・・。

ネ・・・、

ネコ・・・、

また・・・？

あの時のネコなのか・・・？

じっとこっちを見ていて・・・、

逃げなかった・・・。

私の帰りを待っていたかのように・・・。

ありがとう・・・、

ネコ・・・。

また来てね・・・。

剣道八段の男・・・。

高校時代・・・、

格技で・・・、

剣道を選択していた・・・。

剣道の先生は・・・、

当時は五段で・・・、

そこそこ有名な先生だった・・・。

最終的には、八段にまでなったらしい・・・。

相当厳しかった・・・。

週に一発のペースで・・・、

ありがたいピンタを頂いた・・・。

サボった時には・・・、

放課後・・・、

職員室に呼び出され・・・、

全ての先生の前で・・・、

二三十発、往復ピンタを頂いた・・・。

正しく・・・、

公開処刑であった・・・。

今時ならば・・・、

ニュースになって・・・、

大問題になったかもしれない・・・。

しかしながら・・・、

昔は・・・、

別に、大したことではなかった・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が流れていった・・・。

あの先生は・・・、

元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・。

剣道八段の男のことを・・・。

札幌の女性（ひと）・・・（ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら）・・・。

昨夜・・・、

昔もらった葉書が出てきた・・・。

差出人は、札幌の女性・・・。

昔の同僚である・・・。

少し年上で・・・、

スラリと背が高く・・・、

美しく・・・、

やさしく・・・、

知的で・・・、

聡明な女性であった・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が流れ去った・・・。

あの女性は・・・、

今でも・・・、

元気なのであろうか・・・？

きっと・・・、

今でも・・・、

素敵な女性なのであろう・・・。

ランチャ・デルタの男・・・。

最初の上司・・・、

係長は・・・、

ランチャ・デルタに乗っていた・・・。

学習院卒の、上品な方だった・・・。

学生時代から・・・、

ラリーをやっていたらしかった・・・。

ある日・・・、

富士五湖にドライブに連れて行ってもらった・・・。

とんでもないドラテク・・・。

凄まじいコーナーリングと横G・・・。

途中で、気持ち悪くなって・・・、

止まってもらった・・・。

そして・・・、

ゲロを吐いた・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が流れ去った・・・。

あの係長は・・・、

今でも元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

ランチャ・デルタ・インテグラレ・エボルーツィオーネに乗っていた男のことを・・・。

手紙や葉書を書くということ・・・。

私は筆不精だった・・・。

しかしながら・・・、

2, 3年前から・・・、

筆まめになろうと努力した・・・。

友人・・・、

知人・・・、

恩師等に・・・、

手紙や葉書を出し始めた・・・。

そうすると・・・、

途絶えていた交流が・・・、

復活することもある・・・。

愛する人に・・・、

手紙や葉書を・・・、

書いて出そう・・・。

限りある人生なのだから・・・。

Wii U . . . 。

Wii U のオンラインサービスが終了したらしい . . . 。

正直言って . . . 、

Wii U は、あまりプレイしていない . . . 。

しかしながら . . . 、

ゲームウォッチ . . . 、

ファミコン . . . 、

スーパーファミコン . . . 、

Nintendo64 . . . 、

ゲームキューブ . . . 、

Wii . . . 、

Wii U . . . 、

Nintendo Switch . . . 、

等等 . . . 、

我々は . . . 、

Nintendo に育ててもらった . . . 。

ああ . . . 、

まだ . . . 、

Nintendo Switch は買ってなかった・・・。

そろそろ買おう・・・、

Nintendo Switch・・・。

ありがとう・・・、

Nintendo・・・。

これからも・・・、

よろしく・・・。

日銀へ行った男・・・。

学生時代の友人で・・・、

日銀に就職した男がいた・・・。

非常に真面目で・・・、

常に・・・、

冷静沈着であった・・・。

そして・・・、

頭脳明晰・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が流れた・・・。

彼は・・・、

今も元気なのであろうか・・・？

そして・・・、

今でも日銀で働いているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・。

日銀へ行った男のことを・・・。

近藤正臣さんは、電気羊の夢を見るか・・・？（フィリップ・K・ディックを真似した・・・。）

少し前に・・・、

近藤正臣さんの夢を見た・・・。

文学について話していた・・・。

なぜ・・・、

そんな夢を見たのか・・・？

昔から・・・、

近藤正臣さんのファンだが・・・、

夢にまで見るとは・・・。

意外すぎである・・・。

でも・・・、

何だか・・・、

嬉しかった・・・。

ああ・・・、

近藤正臣さん・・・。

いつまでも・・・、

若く・・・、

かっこいいままで・・・。

Nintendo Switch Lite。

Nintendo Switch Lite。

とうとう買った。

Nintendo Switch ではなく、

Lite である。

テレビに繋げない方。

本当は、

Nintendo Switch を買いたかった。

しかしながら、

お小遣いが、

足りなかった。

それで、

Nintendo Switch Lite を買った。

しかし、

まだ、

ソフトを買っていない。

お小遣いが、

足りなかった。

何か・・・、

ソフトを買おう・・・。

Nintendo Online にも加入しよう・・・。

ああ・・・、

Nintendo Switch Lite・・・。

高原の少女・・・。

大学4年の時・・・、

ゼミの合宿で・・・、

軽井沢へ行った・・・。

お洒落なバンガローに泊まった・・・。

ゼミには・・・、

女性が一人しかいなかった・・・。

それで、その女性が、音大の友人の女性を連れてきた・・・。

別に・・・、

その女性が、高原に住んでいたわけではない・・・。

都会生まれの、都会育ちだった・・・。

特別美しいわけではなかった・・・。

しかしながら・・・、

上品で・・・、

育ちの良さが感じられた・・・。

帰りに・・・、

どこかの高原を皆で歩いた・・・。

その時・・・、

彼女と話した・・・。

何を話したのかは・・・、

忘れてしまった・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

彼女は今でも元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

高原の少女のことを・・・。

ディズニーランド・・・。

就職して間もない頃・・・、

ディズニーランドへ行った・・・。

もちろん・・・、

日本の・・・、

東京ディズニーランドである・・・。

男性3人・・・、

女性3人で行った・・・。

ちょっとしたグループデートであった・・・。

実際・・・、

一組のカップルが出来て・・・、

その二人は結婚した・・・。

男性3人のうち・・・、

私以外の2人は車を持っていた・・・。

男性で車を持っていないのは、私だけであった・・・。

少し情けなかった・・・。

しかしながら・・・、

ディズニーランドは楽しかった・・・。

まだ、皆若かったので・・・、

大いに盛り上がった・・・。

それからしばらくして、私はその職場を去った・・・。

もう随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

あの時の皆は・・・、

今でも元気であるのだろうか・・・？

時々思い出す・・・、

男性3人、女性3人で、東京ディズニーランドへ行った日のことを・・・。

ボン・マルシェ・・・。

学生時代・・・、

大学の近くに・・・、

ボン・マルシェという店があった・・・。

名前はお洒落だが・・・、

ただの昭和の洋食屋さんだった・・・。

年配のご夫婦が経営されており・・・、

ワンコインで食べることができた・・・。

チキンカツ定食が、私のお気に入りだった・・・。

それから長い年月が経過した・・・。

あの店には・・・、

大学卒業後は行っていない・・・。

ボン・マルシェは・・・、

今でも営業しているのであろうか・・・？

そして・・・、

あの年配のご夫婦はお元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

ボン・マルシェのことを・・・。

そして・・・、

あの老夫婦のことを・・・。

ヒッチハイクの男・・・。

10年ほど前・・・、

仕事で車を走らせていた・・・。

すると・・・、

なにか書いてある紙を持って・・・、

立っている若い男がいた・・・。

ヒッチハイクだな・・・。

そう思ったが・・・、

めんどくさそうだったので、そのまま通り過ぎた・・・。

しかし・・・、

どういうわけか・・・、

妙に気になって・・・、

その男のところへ引き返した・・・。

「乗りますか・・・？ どこに行くんですか・・・？」

「・・・大阪までです・・・。」

私はその男を車に乗せた・・・。

「・・・大阪に何しに行くんですか・・・？」

「・・・〇〇っていう、世界的なギタリストの公演を見に行くんです・・・。」

「・・・そうですか・・・？」

そして、郊外の大型駐車場で別れた・・・。

そこは、長距離トラックのたまり場になっていたので・・・、

大阪行きのトラックもあると思ったのである・・・。

しかしながら・・・、

肝心の、その有名だという、〇〇というギタリストの名前は聞いたことが無かった・・・。

それから・・・、

10年ほどの年月が流れた・・・。

あの男は、大阪へ行くことが出来たのであろうか・・・？

そして・・・、

〇〇という世界的に有名なギタリストの公演を観ることが出来たのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

ヒッチハイクの男のことを・・・。

天の試練・・・。

安岡先生によれば・・・、

東洋古典に記述があるそうだが・・・、

天が人に大任を与えようとするときには・・・、

まず、その人を苦しませるそうである・・・。

窮乏させ・・・、

心身を疲弊させ・・・、

やること為すこと上手く行かないようにして・・・、

その人の本姓を忍耐強いものにするそうだ・・・。

それでも志を失わなかったものが・・・、

天の試練に耐えたものとして・・・、

偉業を成し遂げるそうである・・・。

とするならば・・・、

今、苦しいならば・・・、

大いに喜ぶべきである・・・。

そして・・・、

その苦しみに耐えよう・・・。

そうすれば・・・、

偉業を成し遂げることが・・・、

できる・・・、

かもしれない・・・。

昔・・・、バイクに乗っていた頃・・・、夕暮れ・・・、ライトが・・・。

昔・・・、

バイクに乗っていた頃・・・、

友人の家に、バイクで遊びに行った・・・。

そして夕方・・・、

バイクに乗って・・・、

家路についた・・・。

途中で・・・、

何か・・・、

違和感が・・・。

何か・・・、

暗い・・・。

ま・・・、

まさか・・・。

そう・・・、

ライトが・・・、

ライトが点灯しなかった・・・。

日が暮れかかっていたので・・・、

相当恐ろしかった・・・。

何とか・・・、

暗くなる前に、家にたどり着いた・・・。

バイクや自動車は・・・、

きちんと点検しよう・・・。

そして・・・、

早めの点灯を・・・。

安全第一・・・。

無事故無違反・・・

黙養・・・。

安岡先生の著書によれば・・・、

明の李二曲は・・・、

黙養の修行をしたということである・・・。

べらべら口を利かず・・・、

ついには、「三年間軽々しく一語も発せざる」に至ったそうだ・・・。

黙っていることは・・・、

内に気を養い・・・、

人を信服させるということである・・・。

沈黙は金・・・、

雄弁は銀といったところであろうか・・・？

私もそろそろ・・・、

黙養の修行を始めよう・・・。

自分の救済者は自分自身である……。ブッダ様の言葉……。
(天日矛さんの動画より……。)

ブッダ様……、

ゴータマ・シッダールタ様は、述べられたそうである……。

「自分の救済者は、自分自身である。

他の誰が救ってくれようか。

自分を正しく制御することにより、

得難き救済者を得るのだ。」

……と……。

天日矛さんの動画で観た……。

正しく……、

名言である……。

自分を正しく制御することが、一番大切なのである……。

私も……、

自分自身を……、

正しく制御しよう……。

戻ってきた葉書・・・。

葉書が・・・、

戻ってきた・・・。

久しぶりに・・・、

あの人に・・・、

出した葉書・・・。

予想はしていたが・・・、

出した葉書が・・・、

戻ってくるのは・・・、

少し・・・、

寂しい・・・。

もう・・・、

あの人には・・・、

会えないのであろうか・・・？

誕生日・・・。

誕生日・・・、

私は嬉しい・・・。

だが・・・、

女性の友人に・・・、

「・・・誕生日おめでとう・・・。」

と言った時・・・、

「・・・私は歳を取らないから、誕生日はないの・・・。」

・・・と、その女性は言った・・・。

そういうものなのかと・・・、

妙に感心したものである・・・。

彼女は・・・、

今年の誕生日に・・・、

何をしているのであろうか・・・？

彼女の幸せを祈る・・・。

ネイションズカップ・・・。

初めての・・・、

ネイションズカップ・・・。

第一ラウンド・・・。

訳のわからないまま・・・、

何とか完走・・・。

10ポイント獲得・・・。

よくポイントもらえたなあ・・・。

なんか・・・、

ホッとした・・・。

ああ・・・、

初めての・・・、

ネイションズカップ・・・。

数学の参考書・・・。

数学の参考書・・・。

何故なのであろうか・・・？

最近・・・、

やたらと欲しくなり・・・、

やたらと買っている・・・。

まあ・・・、

古本ではあるが・・・。

受験生時代は・・・、

苦手だったのに・・・、

今頃になって・・・、

数学の参考書を愛するようになった・・・。

何故なのであろうか・・・？

ああ・・・、

数学・・・。

ああ・・・、

数学の参考書・・・。

ZARD・・・。

ZARD・・・。

坂井さんが・・・、

天に旅立って・・・、

随分と長い年月が流れた・・・。

「心を開いて」を聴いてファンになった・・・。

随分と励まされた・・・。

坂井さんが、もうこの世にいないとは・・・、

いまだに・・・、

受け入れることが出来ない・・・。

ZARDよ・・・、

永遠に・・・。

坂井さん・・・、

安らかにお眠りください・・・。

公園を歩いていると・・・ネコが・・・。

公園の散歩コースを歩いていた・・・。

すると・・・、

な・・・、

ね・・・、

ネコが・・・、

ネコが歩いていた・・・。

当然のように・・・、

堂々たる風格だった・・・。

かっこよかった・・・。

美しかった・・・。

完璧だった・・・。

歩き方が・・・、

人間よりも・・・、

様になっていた・・・。

ああ・・・、

ネコ・・・、

また来てね・・・。

将棋・・・。

久しぶりに・・・、

将棋をした・・・。

隣家の方と・・・。

将棋をするのは・・・、

小学校以来だった・・・。

三局やって・・・、

三連敗・・・。

矢倉囲い・・・、

しかしながら・・・、

そこから、どう攻めればいいのか・・・、

さっぱりわからない・・・。

でも・・・、

楽しかった・・・。

また・・・、

将棋をしようと・・・、

約束した・・・。

約束は守ろう・・・。

次は・・・、

一勝くらいはしたいな・・・。

数学と将棋が得意だった男・・・。

高校時代・・・、

数学と将棋が得意だったクラスメイトがいた・・・。

彼は・・・、

ユークリッドの「原論」を読み・・・、

高等数学の本を読んで・・・、

大学レベルの数学を独習していた・・・。

また・・・、

将棋盤を見ずに、頭の中で将棋ができていた・・・。

私が出会った人の中で・・・、

最も頭の良い人のうちの一人である・・・。

彼は・・・、

旧帝大に進学した・・・。

私は・・・、

彼は数学者になるものとばかり思っていた・・・。

しかし彼は・・・、

歯科医になった・・・。

それから彼とは会っていない・・・。

彼は元気であるのであろうか・・・？

そして・・・、

まだ・・・、

数学と将棋を続けているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

数学と将棋が得意だった男のことを・・・。

デイリーレース・・・。

デイリーレース・・・。

かなり・・・、

緊張する・・・。

みんな・・・、

速い・・・。

俺は・・・、

遅い・・・。

でも・・・、

楽しい・・・。

最下位でも・・・、

とにかく・・・、

完走しよう・・・。

ああ・・・、

デイリーレース・・・。

悪魔的にうまい！！・・・ロツテ・・・クランキー・・・。

また・・・、

今年も・・・、

発売された・・・。

ロツテ・・・、

悪魔的にうまい！！・・・、

クランキー・・・。

早速・・・、

買って・・・、

食べた・・・。

う・・・、

うまい・・・。

悪魔的に！！・・・。

でも・・・、

気持ちは・・・、

天使のようになる・・・？

これって・・・、

季節限定だったっけ・・・？

販売されているうちに・・・、

毎日食べよう・・・

ああ・・・、

ロッチェ・・・、

悪魔的にうまい！！・・・クランキー・・・。

ロッテ・ガーナミルクチョコレート・・・。

悪魔的にうまい！！ ロッテ・クランキーチョコレートを買いに・・・、

コンビニに寄った・・・。

だが・・・、

な・・・、

なんと・・・、

品切れだった・・・。

うまいから・・・、

売れるんだな・・・。

そう思った・・・。

それで・・・、

ロッテ・ガーナミルクチョコレートを買った・・・。

これも・・・、

うまい・・・。

子供の頃・・・、

ばあちゃんが・・・、

よく、買ってきてくれた・・・。

懐かしい味・・・。

ロッセ・ガーナミルクチョコレート・・・。

日記・・・。

ここ十年ほど・・・、

日記を書いている・・・。

とはいえ・・・、

三行日記である・・・。

時々・・・、

昔の日記を読んだりする・・・。

なんだか・・・、

笑ってしまう・・・。

どうでもいいことで・・・、

悩んでいたりする・・・。

ああ・・・、

日記・・・、

三行日記・・・。

ゴールデンウィーク・・・。

ゴールデンウィーク・・・。

子供の頃は・・・、

楽しかったのに・・・、

今では・・・、

素直に喜べなくなった・・・。

というより・・・、

あまり・・・、

楽しくない・・・。

むしろ・・・、

憂鬱である・・・。

ああ・・・、

ゴールデンウィーク・・・。

憂鬱な・・・、

ゴールデンウィーク・・・。

安定した遅さ・・・。

安定して・・・、

遅い・・・。

グランツーリスモ7・・・、

オンラインレース・・・。

私は・・・、

兎に角・・・、

遅い・・・。

安定した遅さである・・・。

でも・・・、

楽しい・・・。

ああ・・・、

グランツーリスモ7・・・。

ああ・・・、

オンラインレース・・・。

懐かしい人からのメール・・・。

遠く離れた・・・、

懐かしい女性から・・・、

メールが来た・・・。

嬉しい・・・、

のは勿論だが・・・、

何と返信すれば良いのであろうか・・・？

嬉しくも有り・・・、

恐ろしくもある・・・、

懐かしい女性からのメール・・・。

ああ・・・、

あなたは何故・・・、

そんなに・・・、

遠くへ・・・、

行ってしまったのですか・・・。

メインフレーム・・・。

一昔前・・・、

コンピュータといえば・・・、

メインフレームだった・・・。

私の最初の仕事場にも・・・。

ド素人が・・・、

アセンブラで・・・、

プログラミング・・・。

そして・・・、

メインフレームをいじくりまわす・・・。

今考えると・・・、

とんでもないことに思える・・・。

でも何だか・・・、

懐かしい・・・。

ああ・・・、

思い出のメインフレーム・・・。

ああ・・・、

懐かしのアセンブラ・・・。

ネイションズカップ・・・予選・・・は・・・疲れる・・・。

ネイションズカップ・・・、

予選・・・。

楽しいけれど・・・、

疲れる・・・。

きつい・・・。

でも・・・、

最終ラウンドまで・・・、

諦めずに・・・、

エントリーしよう・・・。

そして・・・、

完走・・・。

たとえ・・・、

最下位だったとしても・・・。

ああ・・・、

ネイションズカップ・・・。

懐かしい人・・・。

懐かしい人・・・。

今まで出会った人々・・・。

今では会えない人たち・・・。

みんな・・・、

どうしているのでしょうか・・・？

みんな・・・、

元気なのであろうか・・・？

昔は苦手だった人も・・・、

今となっては・・・、

懐かしい人である・・・。

みんなが・・・、

元気でありますように・・・。

ファインマン物理学・・・の・・・講義録・・・。

ファインマン物理学・・・、

の、講義録を・・・、

買った・・・。

アインシュタインと双璧を為すと言われた・・・、

リチャード・ファインマン・・・。

とうとう・・・、

ファインマン物理学の講義録を・・・、

買ってしまった・・・。

とりあえず・・・、

読んでみよう・・・。

何事も・・・、

エントリーすること・・・、

チャレンジすることが・・・、

大切なだから・・・。

ネイションズカップ・・・予選・・・最終ラウンド・・・。

ネイションズカップ・・・、

予選・・・、

最終ラウンド・・・。

何とか・・・、

走った・・・。

三周遅れだけど・・・。

兎に角・・・、

エントリーすること・・・、

最後まで諦めないこと・・・。

それが・・・、

大切だと・・・、

改めて・・・、

思う・・・。

マウス・・・。

マウス・・・。

今では皆持っている・・・。

しかしながら・・・、

私が就職した頃は・・・、

マウスは・・・、

一般的には普及していなかった・・・。

私は、マウスの存在すら知らなかった・・・。

ある日・・・、

隣の部署に・・・、

富士通のスーパーワープロが導入された・・・。

その時・・・、

初めて・・・、

マウスを見た・・・。

何のためにあるのか・・・、

理解できなかった・・・。

ああ・・・、

マウス・・・。

今では・・・、

マウスがないと・・・、

不便だ・・・。

ありがとう・・・、

マウス・・・。

大型連休・・・最終日・・・を・・・迎えて・・・。

大型連休も・・・、

最終日・・・。

毎年思うが・・・、

かえって・・・、

疲れた・・・。

楽しくも有り・・・、

虚しくもある・・・、

ゴールデンウィーク・・・。

もう・・・、

素直には・・・、

喜ばなくなった・・・、

ゴールデンウィーク・・・。

ああ・・・、

大型連休・・・、

来年・・・、

また会おう・・・。

人生・・・生きるということ・・・。

人生とは・・・、

生きるということは・・・、

一体・・・、

何なのであろうか・・・？

喜び・・・、

楽しみ・・・、

悲しみ・・・、

苦しみ・・・、

そして・・・、

天へと還っていく・・・。

その・・・、

永くない一生を・・・、

精一杯生きること・・・。

ただ・・・、

それこそが・・・、

人生であり・・・、

生きることの意味なのではあるまいか・・・？

最近・・・、

そう思う・・・。

人は・・・何を・・・恐れているのか・・・？

人は・・・、

何を・・・、

恐れているのか・・・？

私は・・・、

何を・・・、

恐れているのか・・・？

今まで・・・、

自分の弱さを・・・、

恐れていると思っていた・・・。

しかしながら・・・、

真に恐れているのは・・・、

自分が強くなることなのではあるまいか・・・？

人は・・・、

弱さを恐れているのではなく・・・、

その強さを恐れているのではなからうか・・・？

私は・・・、

自分が強くなることを・・・、

恐れているのかもしれない・・・。

そろそろ・・・、

自分の殻を破るべき時か・・・？

86の女性（ハチロクのひとつ）・・・。

彼女は・・・、

同級生・・・。

久しぶりに・・・、

話した・・・。

86に乗っていた。

今では・・・、

校長先生らしい・・・。

凄いな・・・。

心から・・・、

そう思います・・・。

昔から・・・、

憧れの存在だった・・・、

貴方・・・。

夏になったら・・・、

会いましょう・・・。

自分の殻を破るということ・・・。

人は誰でも・・・、

いや・・・、

少なくとも私は・・・、

自分の殻の中に閉じこもっていた・・・。

その殻を破るタイミング・・・、

それを逃さないことが必要となってくる・・・。

今が・・・、

そのタイミングなのかもしれない・・・。

鳥の雛は・・・、

自分で殻を破らなければ・・・、

死んでしまう・・・。

人間は・・・、

殻を破らなければ・・・、

一生・・・、

何も出来ないまま・・・、

終わってしまう・・・。

勇猛心を奮い起こして・・・、

自分の殻を・・・、

破ろう・・・。

窓・・・。

就職した頃・・・、

パソコンの OS は・・・、

MS-DOS 全盛期だった・・・。

仕事では使っていたが・・・、

自分では持っていなかった・・・。

まだ・・・、

マニアのアイテムであった・・・。

ある日・・・、

先輩が言った・・・。

「・・・今度、ウインドウズが出るよ・・・。」

「・・・ウインドウ・・・？ ・・・窓・・・？ ・・・窓ってなんですか・・・？」

そんな感じだった・・・。

それから随分と長い年月が経過した・・・。

マック OS・・・、

ウインドウズ・・・、

ユニックス・・・、

リナックス・・・。

それぞれ・・・、

どんどん進化している・・・。

ところで・・・、

tron って・・・、

一体どうなったのであろうか・・・？

「常に本物であれば、逆転できる。」・・・ソクラテスの言葉・・・
(ネットより引用)・・・。

「常に本物であれば、逆転できる。」

とは・・・、

ソクラテスの言葉らしい・・・。

ネットで見つけた・・・。

その、真の意味は理解できないが・・・、

どんな状況下においても・・・、

諦めずに・・・、

常に正しくあれば・・・、

最後には勝つ・・・、

という意味であろうか・・・？

積善改過に励もう・・・。

キーボード・・・。

キーボード・・・。

パソコンの・・・。

今では・・・、

100円ショップにも売ってある・・・。

しかしながら・・・、

昔は・・・、

キーボードは、貴重品だった・・・。

キーボード命・・・、

だったと言っても、過言ではない・・・。

職場の・・・、

ホストコンピュータの・・・、

端末のキーボードを・・・、

週に一回・・・、

上司とともに・・・、

アルコールで磨いていた・・・。

ああ・・・、

キーボード・・・。

愛しの・・・、

キーボード・・・。

久米仙人・・・。

今昔物語に・・・、

久米仙人という人・・・？

が、出てくるらしい・・・。

修行の末に・・・、

空を飛べるようになったとか・・・。

しかしながら・・・、

空から・・・、

女性の足を見て・・・、

色欲が生じたため・・・、

空から落ちて・・・、

もう、飛べなくなったとか・・・。

なんとなく滑稽ではあるが・・・、

物悲しくもある・・・。

まあ・・・、

ただそれだけのことである・・・。

へパリーゼ・・・。

久しぶりに・・・、

ペパリーゼを飲んだ・・・。

疲れが取れた・・・。

胃腸の調子も良くなった・・・。

体調も良くなった・・・。

溜まっていた疲れが・・・、

全部取れた・・・。

ありがとう・・・、

ペパリーゼ・・・。

明日も飲もう・・・、

ペパリーゼ・・・。

ああ・・・、

へパリーゼ・・・。

自分の過去と向き合う・・・。

自分の過去と向き合うこと・・・。

それは・・・、

とても大切なことだ・・・。

最近・・・、

そう感じる・・・。

それには・・・、

勇猛心が必要である・・・。

また・・・、

恐怖も感じる・・・。

しかしながら・・・、

自分の過去からは・・・、

逃げられない・・・。

自分から逃げられないように・・・。

自分の過去と向き合い・・・、

積善改過に励もう・・・。

ビーチバレー大会・・・。

久しぶりに・・・、

ビーチバレー大会に出場した・・・。

しかし・・・、

か・・・、

体が・・・、

う・・・、

動かない・・・。

なまっている・・・。

体が・・・、

なまりまくっている・・・。

みんなの・・・、

足を引っ張ってしまった・・・。

申し訳なく思う・・・。

もう少し・・・、

体を鍛えよう・・・。

グランツーリスモ7・・・スーパーフォーミュラ・・・。

グランツーリスモ7・・・、

スーパーフォーミュラ・・・。

難しい・・・。

難しすぎる・・・。

入賞できない・・・。

反射神経も・・・、

動体視力も・・・、

ついていけない・・・。

ああ・・・、

グランツーリスモ7・・・、

スーパーフォーミュラ・・・。

グランツーリスモ7・・・マニュファクチャラーズカップ・・・
予選・・・第4ラウンド・・・。

グランツーリスモ7・・・、

マニュファクチャラーズカップ・・・、

予選・・・、

第4ラウンド・・・。

レース終盤で・・・、

な・・・、

何と・・・、

雨・・・。

インターミディエイト・・・、

準備しておいて良かった・・・。

準備していなかった人は・・・、

順位が下がった・・・。

まあ・・・、

私は・・・、

最初・・・、

最下位だったので・・・、

雨に助けられた・・・。

そして・・・、

インターミディエイトに・・・。

ありがとう・・・、

雨・・・。

そして・・・、

ありがとう・・・、

インターミディエイト・・・。

運・・・鈍・・・根・・・。

昔から・・・、

成功して・・・、

幸せになるためには・・・、

運・・・、

鈍・・・、

根・・・、

この三つが必要だと言われているようである・・・。

運・・・、

これは、文字の通り、運・・・。

鈍・・・、

これは、少し鈍いこと・・・。

根・・・、

これは、根性・・・。

この三つを備えれば・・・、

成功し・・・、

幸せになれるそうである・・・。

私の場合・・・、

運は・・・、

まあ、良いほうだと思う・・・。

鈍は・・・、

私は、神経過敏である・・・。

根は・・・、

私には、根性がない・・・。

ううむ・・・、

どうやら私は・・・、

鈍と根を身につける必要があるようだ・・・。

もう少し鈍くなり・・・、

根性を身につけよう・・・。

そうすれば・・・、

成功して・・・、

幸せになれる・・・、

かもしれない・・・。

モラル・・・と・・・道德・・・。

小林秀雄によれば・・・、

日本人は・・・、

道德という言葉の替りに・・・、

モラル・・・、

という言葉を使いたがるらしい・・・。

しかし・・・、

日本人には・・・、

フランス語の・・・、

morale という言葉の・・・、

歴史的意味や・・・、

伝統的なニュアンスが分かるはずもない・・・。

と述べている・・・。

確かに日本人は・・・、

外国語・・・、

外来語をありがたがって使いたがる・・・。

そして・・・、

場合によっては・・・、

間違って使っていたりもする・・・。

もう一度・・・、

原点回帰して・・・、

日本語をよく学ぶべきなのではあるまいか・・・？

大努力・・・。

安岡先生は、その著書の中で・・・、

優れた人間となるためには・・・、

人の数倍の苦勞と努力をしなければならない・・・。

食べるもの、寝る時間は人の半分にしても・・・、

人の十倍も二十倍もの努力をする元気がなければならない・・・。

と、述べておられる・・・。

私の祖母は・・・、

人が一時間勉強するときには、二時間勉強しなさい・・・。

人が二時間勉強するときには、三時間勉強しなさい・・・。

人が三時間勉強するときには、五時間勉強しなさい・・・。

人が五時間勉強するときには・・・、

眠らずに徹夜で勉強しなさい・・・。

と言っていた・・・。

戦前の教育を受けた人は・・・、

本当に凄いものである・・・。

最近・・・、

改めてそう思う・・・。

人生・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。

芥川龍之介は・・・、

侏儒の言葉の中で述べている・・・。

「人生は一箱のマッチに似ている。

重大に扱うのはばかばかしい。

重大に扱わなければ危険である。」・・・と・・・。

若い頃・・・、

この言葉を読んで・・・、

妙に感心したものである・・・。

芥川龍之介は天才であるので・・・、

私には・・・、

この言葉の真意は理解できない・・・。

しかしながら・・・、

何となくわかる気もする・・・。

この言葉を忘れずに・・・、

これからも・・・、

一生懸命・・・、

生きていきたいと思う・・・。

「あまりにも自由なのは、よいことではない。何もかも不如意なのは、よいことではない。」（パスカルの「パンセ」より引用・・・。）

パスカルは「パンセ」の中で述べている・・・。

「あまりに自由なのは、よいことではない。

何もかも不如意なのは、よいことではない。」

・・・と・・・。

私は、パスカルとは違い・・・、

天才ではない・・・。

それ故、その真意は不明である・・・。

しかしながら・・・、

何となく理解できる気もする・・・。

確かに・・・、

何もかも自由になると・・・、

逆に、何をすればよいのかわからなくなる・・・。

また、全てにおいて不如意になると・・・、

本当に何もできなくなる・・・。

これは、私なりの解釈である・・・。

論語にある・・・、

「過ぎたるは猶及ばざるが如し。」

と、軌を一にするのであろうか……？

その他の東洋古典にも……、

「……中庸は本当に難しいことである……。」

と、書かれている……。

ちょうどよいということは……、

本当に難しいことであるなあ……。

天才・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。

芥川龍之介は・・・、

侏儒の言葉の中で述べている・・・。

「天才とはわずかに我々と一歩を隔てたもののことである。

ただその一歩を理解するためには、

百里の半ばを九十九里とする超数学を知らなければならない。」

・・・と・・・。

天才である芥川龍之介がそう述べているのであるから・・・、

たぶんそうなのであろう・・・。

残念ながら・・・、

私は天才ではない・・・(あたりまえのことであるが・・・)・・・。

であるから・・・、

全く理解できない・・・。

やはり・・・、

天才とは・・・、

素晴らしい人たちだ・・・。

私は・・・、

子供の頃から・・・、

天才に憧れている・・・。

ああ・・・、

天才・・・。

自分も・・・、

天才に生まれたかったなあ・・・。

人生の瑣事・・・(芥川龍之介の言葉を引用・・・)・・・。

芥川龍之介は・・・、

侏儒の言葉の中で・・・、

「人生を幸福にするためには、日常の瑣事を愛さなければならない・・・。」

と、述べている・・・。

また・・・、

「人生を幸福にするためには、日常の瑣事に苦しまなければならない・・・。」

とも述べている・・・。

一見、矛盾するようでもある・・・。

天才である、芥川龍之介の考えは・・・、

凡人である私には、理解できない・・・。

私なりの解釈では・・・、

生きていくためには・・・、

日常生活のどうでもいいことを愛して・・・、

日常生活のどうでもいいことで悩み苦しむ必要がある・・・、

ということだと受け止めている・・・。

それは・・・、

我々皆が・・・、

経験していることではあるまいか・・・？

グラウンド・ゴルフ大会・・・。

初夏の日曜日・・・。

グラウンド・ゴルフ大会・・・。

午前中だったが・・・、

暑かった・・・。

年配の方が多く・・・、

私は・・・、

若い方だった・・・。

出場するまでは・・・、

面倒くさかったが・・・、

楽しかった・・・。

結果は別として・・・。

ああ・・・、

グラウンド・ゴルフ大会・・・。

初夏の日曜日の・・・、

グラウンド・ゴルフ大会・・・。

ロト6・・・。

ロト6・・・。

何回も買っているのに・・・、

何年も買っているのに・・・、

全く当たらない・・・。

6億円・・・、

当選すればいいのになあ・・・。

ああ・・・、

ロト6・・・。

ああ・・・、

6億円・・・。

フロオベル・・・。

フロオベルは・・・、

叫んだらしい・・・。

「ヴォヴァリー夫人は私だ。」

と・・・。

裁判中に・・・。

な・・・、

なんか・・・、

凄い人だな・・・。

しかしながら・・・、

私は・・・、

フロオベルの・・・、

ヴォヴァリー夫人を・・・、

読んでいない・・・。

そのうち・・・、

読もう・・・。

泣いた赤鬼・・・(ヒロスケ童話より・・・)・・・。

子供の頃・・・、

「泣いた赤鬼」という絵本を読んだ・・・。

あるところに赤鬼がいた・・・。

赤鬼は、村人たちと仲良くしたかったが・・・、

村人は、赤鬼を怖がって・・・、

近づこうとしなかった・・・。

そこで、赤鬼は・・・、

友人である青鬼に相談した・・・。

青鬼は言った・・・、

「僕（青鬼）が村で暴れるから、君（赤鬼）が僕をやっつけてくれ。」

そして・・・、

その芝居は実行された・・・。

村人たちは喜んで、赤鬼と友達になった・・・。

赤鬼は・・・、

青鬼にお礼を言い、青鬼の家に行った・・・。

しかし・・・、

青鬼は・・・、

もう、そこにはいなかった……。

ドアに……、

張り紙がされていた……。

「僕（青鬼）は遠くへ行きます。君（赤鬼）は、もう、僕とは会わないほうが良い。」

……と……。

そこで……、

赤鬼は号泣した……。

私も……、

子供心に……、

泣いた……。

こんなに美しい友情が、他にあるであろうか……？

こんなに深い愛が、他にあるであろうか……？

あれから……、

随分と長い年月が過ぎ去った……。

時々思い出す……、

泣いた赤鬼のことを……。

ランニング・・・。

久しぶりに・・・、

いや・・・、

初めて・・・、

朝の公園で・・・、

ランニングした・・・。

30分走った・・・。

気持ちよかった・・・。

ただ・・・、

疲れた・・・。

でも・・・、

また・・・、

走ろう・・・。

ああ・・・、

ランニング・・・。

朝の・・・、

ランニング・・・。

ギリシャ語・・・。

最近・・・、

ギリシャ語の入門書を購入した・・・。

学生時代に・・・、

独学で学ぼうとしたが・・・、

挫折した・・・。

まず・・・、

文字を憶えるのが大変だ・・・。

今度は・・・、

何とか・・・、

マスターしたいな・・・。

ああ・・・、

ギリシャ語・・・。

愛しの・・・、

ギリシャ語・・・。

夏は・・・行事が・・・重なる・・・。

夏は・・・、

何故か・・・、

行事が・・・、

重なる・・・。

3つも・・・、

4つも・・・。

なぜなのだろう・・・？

夏本番を迎えるのが・・・、

嬉しいような・・・、

嬉しくないような・・・。

でも・・・、

行事が多いのは・・・、

楽しいよね・・・。

たぶん・・・。

戦争と平和・・・。

日本にとって・・・、

世界にとって・・・、

第二次世界大戦とは・・・、

一体・・・、

何だったのであろうか・・・？

多くの方々が犠牲になった・・・、

あの世界大戦・・・。

同じ過ちを・・・、

繰り返さないようにしたいものである・・・。

哲学科の男・・・。

昔・・・、

職場に・・・、

某国立大哲学科卒の男がいた・・・。

彼は・・・、

私が出会った人の中で・・・、

最も頭がいい人の一人である・・・。

自分ではパソコンを持っていないのに・・・、

職場のパソコンを・・・、

誰よりも上手く使いこなしていた・・・。

そして・・・、

ランエボを乗り回し・・・、

運動神経抜群で・・・、

釣りもうまかった・・・。

その上・・・、

人格者でもあった・・・。

唯一の欠点は・・・、

髪の毛が薄いことくらいだった・・・。

その後私は・・・、

その職場を去った・・・。

それから彼とは会っていない・・・。

彼は元気であるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

某国立大哲学科卒の男のことを・・・。

理工学部の男・・・。

大学時代・・・、

体育を4年まで持ち越した・・・。

4年の時に、相撲を選択した・・・。

相撲は、意外と楽しかった・・・。

そこで、理工学部の男性と出会った・・・。

ある日・・・、

2・3人で・・・、

相撲のあと、喫茶店へ行った・・・。

そこで色々話した・・・。

特に記憶に残っているのは・・・、

理工学部の彼が・・・、

「・・・数学の授業は、一回でも休んだらついていけませんよ・・・。」

と言っていたことだった・・・。

私は文系だったので・・・、

「・・・文系の学生は授業に出てませんよ・・・。」

・・・と・・・、

間抜けな返答をした・・・。

それから随分と長い年月が経過した・・・。

彼は今、元気なのであろうか・・・？

そして・・・、

数学の単位は取れたのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

理工学部の男のことを・・・。

トルストイ・・・。

トルストイ・・・。

あの、トルストイは・・・、

晩年、家出をして・・・、

駐車場で・・・、

野垂れ死にしたそうである・・・。

天才作家の最後としては・・・、

あまりにも寂しいものである・・・。

家出の原因は・・・、

妻君との喧嘩だそうだ・・・。

天才作家であり・・・、

人間としても偉大であったと言われている・・・、

トルストイ・・・。

最後は・・・、

それにしても・・・。

ああ・・・、

トルストイ・・・。

愛すべき・・・、

トルストイ・・・。

ラテン語・・・の・・・辞書・・・。

ラテン語の・・・、

辞書を・・・、

買ってしまった・・・。

古本だけど・・・。

かえって、重厚感がある・・・。

何となく・・・、

欲しくなった・・・。

50年位前の辞書である・・・。

歴史の重みを感じる・・・。

この・・・、

ラテン語の辞書で・・・、

いったい・・・、

何ができるのであろうか・・・？

今はまだ・・・、

謎である・・・。

ヘブライ語・・・の・・・本・・・。

ヘブライ語の本を買った・・・。

何となく・・・、

欲しくなった・・・。

しかしながら・・・、

暗号のような文字・・・。

こんな言語を・・・、

習得することができるのであろうか・・・？

この私に・・・？

だが・・・、

せっかく買ったのだ・・・、

何とか・・・、

マスターしよう・・・。

ああ・・・、

ヘブライ語・・・。

愛すべき・・・、

ヘブライ語・・・。

ランニング・・・。

久しぶりに・・・、

ランニングした・・・。

疲れていたが・・・、

いや・・・、

疲れていたからこそ・・・、

走った・・・。

ランニング・・・。

いいものである・・・。

いつまでも・・・、

走り続けよう・・・。

ああ・・・、

ランニング・・・。

疲れた時には・・・チョコレート・・・。

最近・・・、

疲れる・・・。

そんな時・・・、

チョコレートが食べたくなる・・・。

チョコレートを食べると・・・、

不思議と・・・、

疲れが取れる・・・。

何故だろう・・・？

この時期・・・、

春から夏にかけて・・・、

やたらと・・・、

チョコレートが食べたくなる・・・。

ありがとう・・・、

チョコレート・・・。

ああ・・・、

チョコレート・・・。

生きることに・・・疲れた・・・。

生きることに・・・、

疲れた・・・。

なんか・・・、

疲れた・・・。

何もかも・・・、

嫌になった・・・。

なんか・・・、

疲れた・・・。

生きることに・・・、

疲れた・・・。

ギース・ハワード・・・。

ギース・ハワード・・・。

餓狼伝説の・・・、

ラスボス・・・。

なんか・・・、

カッコいい・・・。

今では・・・、

鉄拳7の・・・、

DLCで・・・、

プレイできる・・・。

ギース・ハワード・・・。

なんか・・・、

カッコいい・・・。

部屋の片付けが・・・下手だ・・・。

私は・・・、

部屋の片付けが・・・、

下手である・・・。

というか・・・、

出来ない・・・。

いつも・・・、

散らかっている・・・。

本・・・、

CD・・・、

パソコン・・・、

ゲーム・・・。

今年の夏こそは・・・、

部屋を・・・、

完璧に・・・、

片付けよう・・・。

矢野健太郎先生の・・・数学小辞典・・・。

子供の頃・・・、

矢野健太郎先生の・・・、

算数辞典を持っていた・・・。

高校生になって・・・、

矢野先生の・・・、

解法のテクニックを買った・・・。

結局・・・、

私は文系になったが・・・、

今でも・・・、

数学に対する・・・、

憧れがある・・・。

最近・・・、

矢野先生の・・・、

数学小辞典を買った・・・。

かなり古い・・・。

年代物である・・・。

それがかえって・・・、

重厚感を増している・・・。

もう一度・・・、

数学を勉強してみたくなったな・・・。

この季節になると・・・アイス・・・が・・・。

この季節になると・・・、

アイスクリームが・・・、

恋しくなる・・・。

暑い体に・・・、

冷たく・・・、

優しい・・・。

暑さも和らぐ・・・。

なにより・・・、

甘くて・・・、

美味しい・・・。

ああ・・・、

アイスクリーム・・・。

愛しの・・・、

アイスクリーム・・・。

聖書・・・。

聖書を買った・・・。

別に・・・、

クリスチャンではない・・・。

何となく・・・、

読んでみたくなった・・・。

英語と日本語の両方で書かれているものを選んだ・・・。

何となく・・・、

面白いことが書いてある・・・。

面白いと言ったら・・・、

クリスチャンの方に・・・、

叱られてしまうかもしれない・・・。

興味深いことが書かれている・・・、

というべきであろう・・・。

ああ・・・、

聖書・・・。

ああ・・・、

イエス様・・・。

時々・・・、

読みます・・・。

エーメン・・・。

ストイケイア・・・ユークリッド・・・原論・・・。

ユークリッドは・・・、

「原論」の中で・・・、

素数が無限にあることを証明している・・・。

しかも・・・、

線分を使って・・・。

な・・・、

何と・・・、

代数的にはではなく・・・、

幾何学的に証明している・・・。

私は・・・、

数学は素人なので・・・、

よく理解できない・・・。

しかしながら・・・、

なんかすごい・・・。

ああ・・・、

ユークリッド・・・。

ああ・・・、

エウクレイデス・・・。

ああ・・・、

ストイケイア・・・。

父の日・・・を・・・迎えて・・・。

親には・・・、

苛々します・・・。

特に・・・、

父親に対しては・・・。

ですけれども・・・、

親は親なのであります・・・。

血は水よりも濃し・・・、

親思う心に勝る親心・・・、

などと申します・・・。

親に対して・・・、

苛々しても・・・、

感謝の心は・・・、

忘れずにいたいものであります・・・。

誠実・・・(朝日文庫・中国古典選20・史記三より引用)・・・。

「誠実とは美しいものである。だが、哀しいものでもある。どんなに誠実をつくしても、他人に理解されぬことがある。理解されぬばかりか、誤解される場合さえ少なくない。それでもなお誠実をささげつづける。

そもそも理解されることを期待する誠実は、すでに真の誠実ではなからう。他人どころか、みずからでさえ意識しない誠実、強いていうなら、神のみが知る誠実こそ、まことに美しい。」

これは・・・、

最近読んでいる本からの引用である・・・。

といっても、最近の本ではない・・・。

結構古い本である・・・。

朝日文庫・中国古典選20・史記三からの引用である・・・。

まあ・・・、

そんなにしっかり読んでいるわけではない・・・。

ただ・・・、

素晴らしいことが書かれていたので・・・、

衝撃を受けた・・・。

洋の東西を問わず・・・、

古典に親しむと・・・、

本当に良い文章を発見するものである・・・。

人生の奥深さ・・・、

人間学・・・、

どう生きるべきか・・・？

そんなことを・・・、

考えさせられる・・・。

古典に帰ろう・・・。

原点回帰だ・・・。

そして・・・、

積善改過に励もう・・・。

人間の・・・欲・・・。

論語にある・・・、

「・・・吾、未だ剛者を見ずと・・・。」

人間が強くないのは・・・、

欲があるからだそうである・・・。

仏教でも・・・、

恐怖や苦しみは・・・、

欲から生じると言われているらしい・・・。

私は・・・、

欲の塊である・・・。

であるから・・・、

なかなか強くなれないのであろう・・・。

欲を捨てたら・・・、

強くなれるのであろうか・・・？

欲を捨てて・・・、

強くなりたいものである・・・。

「福と禍とは、慎むと慎まざるにあり。」・・・白楽天の言葉・・・。
(貝原益軒の「養生訓」・・・松田道雄訳より引用・・・。)

「福と禍は、慎むと慎まざるにあり。」

とは・・・、

白楽天の言葉らしい・・・。

貝原益軒の・・・、

「養生訓」に書いてあった・・・。

これは・・・、

謙虚利中・・・、

地山謙・・・、

等に通ずるものであろうか・・・？

何事も・・・、

慎むことが・・・、

大事なようである・・・。

睡眠は・・・少ないほうが良い・・・？

貝原益軒は・・・、

「養生訓」の中で述べている・・・。

欲は少ないほうが良い・・・。

食欲・・・、

色欲・・・、

睡眠欲・・・。

な・・・、

何と・・・、

睡眠まで少ないほうが良いとは・・・。

食欲・色欲が少ないほうが良いのは・・・、

何となく理解できる・・・。

しかしながら・・・、

睡眠まで少ないほうが良いとは・・・。

現代の医師の方々は・・・、

どう思われるであろうか・・・？

この時期は・・・疲れる・・・。

この時期は・・・、

疲れる・・・。

暑くなったり・・・、

気温が下がったり・・・、

天気が良かったり・・・、

雨が降ったり・・・。

まだ・・・、

暑さに慣れていない・・・。

エアコンにも・・・、

慣れていない・・・。

暑いのも辛い・・・、

エアコンが効きすぎているのも・・・、

なんか辛い・・・。

この時期は・・・、

何だか・・・、

疲れる・・・。

358・・・。

358・・・。

スウェーデンボルグによれば・・・、

358という数字には・・・、

特別な意味があるらしい・・・。

「神が汝のもとに在すように・・・。」

という意味だそうだ・・・。

うーん・・・。

本当かなあ・・・？

ナンバーズ3で・・・、

358を・・・、

買い続けたら・・・、

もしかすると・・・、

当選する・・・、

かもしれない・・・。

雨の日曜日・・・海へ・・・。(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・。)

雨の日曜日・・・、

海へ行った・・・。

何時もとは・・・、

違ったルートで・・・。

ガーネット・クロウの・・・、

「夢のひとつ」を・・・、

リピートし続けていた・・・。

何だか・・・、

不思議な感じだった・・・。

全く違った場所へ向かっているような気がした・・・。

何時もとは・・・、

違う道を通るのも・・・、

良いことなのかもしれない・・・。

ただ・・・、

帰りは・・・、

同じルートだった・・・。

そして・・・、

また・・・、

日常生活に・・・、

引き戻された・・・。

「本当に大切なことは、目に見えないんだよ。」（サン・テグ
ジュペリ「星の王子さま」より引用・・・。）

星の王子さまは言った・・・、

「本当に大切なことは、目に見えないんだよ。」

本当に素晴らしい言葉である・・・。

多くの人が・・・、

子供の頃から知っている・・・。

しかしながら・・・、

本当に理解しているのだろうか・・・？

我々は・・・、

目に見える現象に惑わされているのではあるまいか・・・。

そのため・・・、

本当に大切なことが見えていなかったり・・・、

誤解しているのではなからうか・・・？

要するに・・・、

心の目で見えていない・・・。

心の目が開かれていない・・・。

私は特にそうである・・・。

心の目を開いて・・・、

本当に大切なことを見よう・・・。

目に映る現象に・・・、

惑わされないように・・・。

真実の中に嘘が有り・・・嘘の中に真実がある・・・？

逆説的ではあるが・・・、

真実の中に嘘が有り・・・、

嘘の中に真実がある場合も有る・・・。

「嘘から出た真」・・・か・・・？

また・・・、

正義の中に悪が有り・・・、

悪の中に正義が有る場合も有る・・・。

「善中の悪」・・・か・・・？

それに・・・、

強さの中に弱さが有り・・・、

弱さの中に強さが有る場合も有る・・・。

「強いは弱い、弱いは強い」・・・か・・・？

考えれば考えるほど・・・、

わからなくなる・・・。

成功にたえられない人もいる・・・？（カール・メニンジャー
「おのれに背くもの」より引用・・・。

「・・・世の中には成功にたえられない（成功するのがこわい）、

何をやらせてもうまくやってのけるくせに、どうしても成功することだけはできないと
いうことを

身を持って実証している人が多ぜいある・・・。」

と・・・、

カール・メニンジャーは・・・、

「おのれに背くもの」の中で述べている・・・。

顕在意識と・・・、

潜在意識では・・・、

全く異なる意思を持っている・・・、

ということなのであろうか・・・？

顕在意識では、成功したいと思っているが・・・、

潜在意識では、成功したくないと思っている・・・、

ということなのであろうか・・・？

不思議でも有り・・・、

恐ろしくも有る・・・。

別の本で読んだが・・・、

引きこもりは・・・、

親に対する復讐心が原因である・・・、

という説もあるらしい・・・。

とにかく・・・、

潜在意識というものは・・・、

やっかいなものである・・・。

潜在意識にある・・・、

インナーコンプレックスを解消すれば・・・、

皆が成功し・・・、

幸せになれるのであろうか・・・？

暗夜行路・・・。

小林秀雄は・・・

志賀直哉を絶賛している・・・。

特に・・・、

暗夜行路を・・・。

そこで・・・、

私は・・・、

暗夜行路を買って・・・、

読んでみた・・・。

だが・・・、

そんなに・・・、

面白いとは・・・、

思わなかった・・・。

やはり・・・、

小林秀雄と・・・、

私とでは・・・、

頭の出来が違いすぎる・・・。

当然のことではあるが・・・。

ギリシャ文字・・・。

ギリシャ文字・・・。

難しい・・・。

というか・・・、

憶えられない・・・。

しかしながら・・・、

何とか・・・、

マスターしたい・・・。

それにしても・・・、

ギリシャ文字は・・・、

難しい・・・。

不条理同盟の男たち・・・変人・・・？（ガーネット・クロウ「短い夏」を聴きながら・・・。）

学生時代・・・、

不条理同盟と名乗っている・・・、

変わり者の・・・、

二人の男がいた・・・。

一人は、剣道二段の変わり者・・・、

もう一人は・・・、

シルベスタ・スタローンに顔だけ似ている、小柄な男・・・。

二人とも、変人だった・・・。

当時の私は・・・、

彼らを・・・、

ただの変人と思っていた・・・。

しかしながら・・・、

社会に出てからは・・・、

彼らのほうが正しいのでは・・・？

と、思うようになった・・・。

大学卒業後・・・、

彼らとは会っていない・・・。

彼らは・・・、

元気であるのであろうか・・・？

そして・・・、

不条理同盟は・・・、

今でも存在するのであろうか・・・？

時々思い出す・・・。

不条理同盟の男たちのことを・・・。

Καγησπερα・・・。

ネットで・・・、

日本語を学んでいるという、ギリシャの方に・・・、

Καγησπερα・・・、

と・・・、

メッセージを送った・・・。

カリスペラ・・・、

こんばんは・・・、

ただ・・・、

それだけのことはあるが・・・、

喜んでいただいた・・・。

そのギリシャの方の日本語は・・・、

ほぼ完璧であった・・・。

私は・・・、

ギリシャ語を習得しようと励んでいるのだが・・・、

未だに・・・、

ギリシャ文字が・・・、

憶えられない・・・。

何とか・・・、

ギリシャ語をマスターして・・・、

ギリシャの方と・・・、

ギリシャ語で・・・、

メールのやり取りをしたいものである・・・。

いつの日か・・・、

ギリシャに旅行して・・・、

パルテノン神殿を・・・、

実際に見てみたいものである・・・。

Seeing is Believing・・・、

である・・・。

今年も・・・半年が・・・過ぎ去った・・・。

6月も・・・、

最終日・・・。

今年も・・・、

半年が・・・、

過ぎ去った・・・。

な・・・、

何と・・・、

今年・・・、

もう・・・、

半分も・・・、

過ぎ去ってしまったのか・・・？

よく考えると・・・、

恐ろしい・・・。

一日一日を・・・、

大切に・・・、

生きていこう・・・。

対人不安は・・・自分を・・・愚か者だと思えば・・・楽になるらしい・・・。（観音経の解説書より引用・・・。）

観音経の解説書に書いてあった・・・。

対人不安を緩和するには・・・、

自分を・・・、

愚か者だと思えばいい・・・、

・・・と・・・。

成るほど・・・、

自分をよく見せようと思うから・・・、

不安になるのだ・・・。

自分をよく見せようと思わなければ・・・、

不安が減るのであろう・・・。

まあ・・・、

私は・・・、

生まれながらの・・・、

愚か者であるが・・・。

久しぶりの旅・・・。

久しぶりの・・・、

旅・・・。

新幹線に乗って・・・。

何年振りだろうか・・・？

久しぶりの街・・・。

旅に出ると・・・、

いろんなことを、考えさせられる・・・。

日ごろの自分が・・・、

どんなに・・・、

愚か者であるか・・・、

いろんな人に迷惑をかけ・・・、

どれほど人を傷つけているのであろうか・・・？

これからは・・・、

少しでも・・・、

人のために生きて行こう・・・。

そして・・・、

正しく生きて行こう・・・。

新紙幣・・・。

紙幣が・・・、

新しくなった・・・。

とはいえ・・・、

まだ・・・、

実物を見てない・・・。

今は目新しくとも・・・、

そのうちに・・・、

慣れてしまうのであろう・・・。

よく考えると・・・、

慣れるということは・・・、

恐ろしいものである・・・。

ただ・・・ひたすら・・・暑い・・・。

暑い・・・。

とにかく・・・、

暑い・・・。

暑すぎる・・・。

溶けてしまいそうである・・・。

暑い・・・、

とにかく・・・、

暑い・・・。

空手チャンピオン・・・の・・・兄・・・。

昔・・・、

職場に・・・、

空手チャンピオン・・・、

・・・の・・・お兄さんがいた・・・。

彼は・・・、

ラオウのような体格であった・・・。

・・・が・・・、

顔は・・・、

人の良さそうな・・・、

面白い顔をしていた・・・。

彼も空手家だった・・・。

「・・・私が空手教えたんですけど、弟の方が強くなっちゃいました・・・。」

等と話していた・・・。

その後・・・、

彼も私も・・・、

その職場を去った・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

彼は今も元気なのであろうか・・・？

そして・・・、

空手チャンピオンだった弟さんは、どうしておられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

空手チャンピオンの兄のことを・・・。

真夏のチョコレート・・・。

真夏にも・・・、

チョコレートを食べる・・・。

暑さで・・・、

とろけた・・・、

チョコレート・・・。

食べづらいが・・・、

結構うまい・・・。

私は・・・、

真夏の・・・、

チョコレートが・・・、

好きだ・・・。

東大理系卒の英語講師・・・。

学生時代・・・、

英語の先生は・・・、

東大理系卒だった・・・。

もちろん・・・、

私が通っていたのは東大ではない・・・。

ただの私立大学である・・・。

当時、私は不思議であった・・・、

何故・・・、

東大理系卒の先生が・・・、

私立大学で、英語の先生をなさっているのか・・・？

今となっては・・・、

何となく理解できるのだが・・・。

テキストは・・・、

「JAPAN:IT'S NOT ALL RAW FISH」

・・・学生たちは・・・、

刺し身本と呼んでいた・・・。

私は・・・、

単位を落とした・・・。

まさか・・・、

英語の単位を落とすとは思っていなかった・・・。

そして・・・、

補講で・・・、

同じ先生の講義を履修した・・・。

補講では・・・、

毎日予習していった・・・。

すると・・・、

よく理解できた・・・。

「日本の大学生は勉強しない・・・。」

と言われるが・・・、

本当に、その通りであった・・・。

少なくとも・・・、

私は・・・。

ちゃんと予習すれば・・・、

色々な事を学べるのに・・・、

大学に入った途端に、努力しなくなる・・・。

私はそんな学生だった・・・。

今の大学生の方々には・・・、

一生懸命勉強していただきたい・・・。

大学とは・・・、

本当に恵まれた環境なのだから・・・。

そして・・・、

社会に出て・・・、

立派な人物になってほしい・・・。

それはさておき・・・、

あの・・・、

東大理系卒の英語の先生は・・・、

今でも元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

東大理系卒の英語講師のことを・・・。

そして・・・、

刺し身本のことを・・・。

古代ギリシャ文明・・・。

子供の頃・・・、

参考書で・・・、

パルテノン神殿を見て以来・・・、

ギリシャに憧れている・・・。

正確に言えば・・・、

古代ギリシャ文明に憧れているというべきか・・・？

哲学・・・、

数学・・・、

建築・・・、

彫刻・・・、

等等・・・。

それで・・・、

ギリシャ語を勉強したり・・・、

哲学を勉強したり・・・、

数学を勉強したり・・・。

しかしながら・・・、

さっぱり理解できない・・・。

当然といえば当然のことではあるが・・・。

やはり・・・、

「無知の知」

を唱えたソクラテスは偉大である・・・。

私は・・・、

本当に・・・、

何も知らないし・・・、

何もわからない・・・。

本を読んでも・・・、

考えても・・・、

行動しても・・・、

何もわからない・・・。

ああ・・・、

ソクラテス・・・。

ああ・・・、

古代ギリシャ文明・・・。

本を読むとき・・・やたらと・・・タバコを吸う・・・。(小林秀雄も書いている・・・。)

本をよく読む・・・。

一番の楽しみである・・・。

しかしながら・・・、

本を読みながら・・・、

やたらとタバコを吸う・・・。

これはどうしたものか・・・？

そう思う・・・。

ただ・・・、

小林秀雄も・・・、

著書の中で・・・、

「・・・本を読みながら、やたらとタバコを吸う・・・。」

というようなことを書いていた・・・。

本をよく読む人は・・・、

タバコが好きなのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

学生時代・・・帰り道・・・コンビニで・・・。(徳永英明さんの「レイニー・ブルー」を聴きながら・・・。)

学生時代・・・、

帰り道・・・、

コンビニに寄って・・・、

弁当と、缶コーヒーを買っていた・・・。

そのコンビニで・・・、

毎晩のように・・・、

徳永英明さんの「レイニー・ブルー」が流れていた・・・。

大学卒業後・・・、

そのコンビニには行っていない・・・。

あれから随分と長い年月が経過した・・・。

あのコンビニは・・・、

今でも健在なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

学生時代に通っていたコンビニのことを・・・。

三ツ矢サイダー・・・。

三ツ矢サイダー・・・。

久しぶりに飲んだ・・・。

懐かしい味だ・・・。

子供の頃は・・・、

夏になると・・・、

毎日のように飲んでいた・・・。

三ツ矢サイダー・・・。

懐かしい味・・・。

これからも・・・、

時々飲もう・・・。

土いじりをすれば・・・強くなれる・・・。(養老先生の著書より引用・・・。)

養老先生は・・・、

著書の中で述べておられる・・・。

昔の人が強かったのは・・・、

毎日毎日、畑仕事をしてきたからだ・・・。

確かに、そうかもしれない・・・。

私の祖母は、異様なまでに強かった・・・。

それは・・・、

毎日毎日、畑仕事をしてきたからなのであろう・・・。

私も・・・、

強くなるために・・・、

畑仕事に励もう・・・。

大いなる大地に接していれば・・・、

必ずや・・・、

強くなれるはずである・・・。

ドイツ語の・・・担任の先生・・・。

学生時代・・・、

第二外国語は・・・、

ドイツ語だった・・・。

ドイツ語の先生は・・・、

クラス担任だった・・・。

テキストは・・・、

モーツアルトの・・・、

「魔笛」・・・だった。

予習しなかったので・・・、

単位を落とした・・・。

補講で・・・、

その先生の講義を履修した・・・。

予習していったので・・・、

理解できた・・・。

やはり・・・、

予習は大切である・・・。

それはともかく・・・、

その先生は・・・、

「・・・鳥使いパパゲーノが好きだ・・・。」

と言っておられたことを・・・、

妙に印象深く記憶している・・・。

大学卒業後・・・、

その先生とはお会いしていない・・・。

先生は、今でもお元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

鳥使いパパゲーノが好きだった・・・、

ドイツ語の担任の先生のことを・・・。

オリンピック銀メダルの男・・・。

大学3年の頃・・・、

体育で・・・、

レスリングを選択していた・・・。

本来なら・・・、

2年生までに単位を取得するのであるが・・・、

持ち越してしまったのだ・・・。

それはさておき・・・、

レスリングの先生は・・・、

割と有名な先生らしかった・・・。

基礎トレがきつかった・・・。

特に・・・、

手押し車・・・。

私は・・・、

二三回ゲロを吐いた・・・。

それで・・・、

途中で辞めてしまった・・・。

それから数年後・・・、

その先生は・・・、

オリンピックのレスリングで・・・、

何と・・・、

銀メダルを獲得された・・・。

そこまで凄い先生だとは思っていなかった・・・。

大学卒業後・・・、

その先生とは会っていない・・・。

それから随分と長い年月が経過した・・・。

あの先生は・・・、

今でも元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

レスリング・オリンピック銀メダルの男のことを・・・。

読書傾向は変わる・・・。

小林秀雄によれば・・・、

「・・・読書傾向は変わる・・・。」

とのことである・・・。

成るほど・・・。

それには納得である・・・。

若い頃は、小説をよく読んだが・・・、

今となっては・・・、

小説を読むことは苦痛である・・・。

東洋古典・・・、

哲学・・・、

修養書・・・、

そんな本を読むほうが楽しかった・・・。

やはり・・・、

読書傾向は変わるものであるなあ・・・。

それとも・・・、

ただ、歳をとっただけなのか・・・？

・・・夏・・・。

子供の頃は・・・、

夏が好きだった・・・。

しかしながら・・・、

今となっては・・・。

何時頃からであろうか・・・？

夏が苦手になったのは・・・。

はやく・・・、

過ぎ去って欲しい・・・。

・・・夏・・・。

・・・ネコ・・・。(ガーネット・クロウ「Nora」を聴きながら・・・。)

子供の頃・・・、

ネコを飼っていた・・・。

茶色っぽいネコだった・・・。

特別可愛がっていたわけではなかった・・・。

思い出といえば・・・、

冬・・・、

こたつに足を突っ込んだ時・・・、

ネコに、思いっきり引っかかれたことくらいか・・・？

でも・・・、

ネコは好きだ・・・。

いつの間にか・・・、

いなくなっていた・・・。

時々思い出す・・・、

昔、家で飼っていた・・・、

茶色っぽいネコのことを・・・。

トンボ・・・。

子供の頃・・・、

夏になると・・・、

トンボが飛んでいた・・・。

しかい・・・、

しばらく・・・、

トンボも見かけなくなった・・・。

だが・・・、

最近・・・、

また・・・、

トンボを見かけるようになった・・・。

何故なんだろう・・・？

それはともかく・・・、

トンボって・・・、

何だか・・・、

懐かしい・・・。

暑い・・・。

暑い・・・、

兎に角・・・、

暑い・・・。

生命体が耐えられる限界を・・・、

とっくに・・・、

超えている・・・。

暑い・・・、

兎に角・・・、

暑い・・・。

秋よ・・・、

早く来てくれ・・・。

知らない内に、人を傷つけていることも多い・・・？

悪気はないのに・・・、

知らない内に・・・、

人を・・・、

傷つけてしまっていることも・・・、

多い・・・、

と・・・、

思う・・・。

それを考えると・・・、

ゾッとする・・・。

シェンキーウイツ・・・二人画工・・・。

ある本で読んだのであるが・・・、

ポーランドの作家・・・、

シェンキーウイツは・・・、

二人画工の中で述べているらしい・・・。

「・・・優秀な記者は、本人から話を聞かなくとも、真に良い記事が書けるものである・・・。」

なんとなくそんなことを・・・。

な・・・、

なんか・・・、

凄すぎる・・・。

しかしながら・・・、

実際にそんなことをやったら・・・、

捏造記事になるのであろう・・・。

たぶん・・・。

Education . . . 。

Education . . . 、

の . . . 、

語源は . . . 、

「引き出す」

ということらしい . . . 。

少なくとも . . . 、

詰め込む . . . 、

ということではないようだ . . . 。

それにしても . . . 、

教育とは . . . 、

難しいものであろうなあ . . . 。

他人を批判している時は・・・。

他人を批判している時は・・・、

あるいは・・・、

他人を批判したくなる時は・・・、

自分の方が間違っている・・・、

そんな時なのかもしれない・・・。

何となく・・・、

そんな気がする・・・。

少なくとも・・・、

私の場合は・・・。

台風が来れば・・・涼しくなるのかな・・・？（ダイアース
トレイツを聴きながら・・・。）

台風が来れば・・・、

少しは・・・、

涼しくなるのかな・・・？

不謹慎かもしれないが・・・、

何となく・・・、

台風に・・・、

来て欲しい・・・。

そうすれば・・・、

少しは・・・、

涼しく・・・、

なるのかな・・・？

Farewell MyLovely・・・。(アラン・パーソンズプロジェクト
を聴きながら・・・。)

チャンドラーの小説に・・・、

「Farewell ,My Lovely」がある・・・。

日本では・・・、

一般的に・・・、

「さらば愛しき女（ひと）よ」と訳されている・・・。

内容は忘れた・・・。

30年以上前に読んだ本だからである・・・。

今夜・・・、

愛しい人と別れた・・・。

人は・・・、

愛しい人と・・・、

別れなければならない・・・、

こともある・・・。

そんなことを・・・、

考えた・・・。

グランツーリスモ7・・・に・・・飽きてきた・・・。

グランツーリスモ7に・・・、

何だか・・・、

飽きてきた・・・。

何故だろう・・・？

何だか・・・、

面倒くさくなってきた・・・？

どんなに好きなものでも・・・、

飽きるものなんだなあ・・・。

昔読んだ本を・・・読み返すと・・・。

昔読んだ本を・・・、

また読み返すことは・・・、

結構・・・

面白い・・・。

不思議な発見がある・・・。

意外なところに・・・、

線を引いていたり・・・、

忘れていた書き込みを見つけたり・・・、

等等・・・。

不思議であるなあ・・・。

これは・・・、

暑さのせいなのであろうか・・・？

掃除をすると・・・。

掃除をすると・・・、

少し・・・、

スッキリする・・・。

何故なのであろうか・・・？

掃除をすると・・・、

不思議と・・・、

スッキリする・・・。

毎日・・・、

少しずつ・・・、

掃除をしよう・・・。

恥をかいても・・・傷ついても・・・人間関係を・・・広げて
いこう・・・。

人付き合いは・・・、

場合によっては・・・、

恐ろしいものである・・・。

しかしながら・・・、

人は・・・、

一人では生きて行けない・・・。

自分の殻を破り・・・、

恥をかいても・・・、

傷ついても・・・、

怖くても・・・、

人間関係を・・・、

広げていこう・・・。

何となく・・・、

そう思った・・・。

強くなるということは・・・鈍くなるということ・・・かもしれない・・・。

あまりにも敏感だと・・・、

何もかもが・・・、

恐ろしくなる・・・。

少しのことで・・・、

傷ついてしまう・・・。

強くなるということは・・・、

もしかすると・・・、

鈍くなるということ・・・、

かもしれない・・・。

何となく・・・、

そんな気がした・・・。

これは・・・、

暑さのせいなのであろうか・・・？

同級生っていいもんだな・・・。

同級生って・・・、

何年経っても・・・、

なつかしい・・・。

遠く離れていても・・・、

時々・・・、

メールや・・・、

SNSで・・・、

繋がると・・・、

何だか・・・、

ホッとする・・・。

安心する・・・。

同級生って・・・、

いいもんだよね・・・。

「さよなら」・・・と・・・言うこと・・・。(養老孟司先生の
著書より引用。)

養老先生は・・・、

幼き頃・・・、

父君が夭折なされた・・・。

その時に・・・、

「さよなら」と言えなかった・・・。

そのために・・・、

人に挨拶することが苦手な時期があった・・・、

ということを・・・、

著書の中で述べておられる・・・。

私は・・・、

曾祖母と・・・、

祖母に・・・、

「さよなら」・・・、

・・・と・・・、

言えなかったことを思い出した・・・。

そこで私は・・・、

ノートに書いた・・・。

「さよなら、ひいばあちゃん。」・・・、

「さよなら、ばあちゃん。」・・・、

・・・と・・・。

すると・・・、

何だか・・・、

胸に詰まっていたものが・・・、

取れたような気がした・・・。

真夏の夜・・・、

そんなことを・・・、

思った・・・。

蝉が・・・鳴いている・・・。

蝉が・・・、

鳴いている・・・。

真夏だ・・・。

朝も・・・、

昼も・・・、

夜も・・・、

蝉が・・・、

鳴いている・・・。

嬉しいのか・・・？

悲しいのか・・・？

蝉が・・・、

鳴いている・・・。

夏よ・・・、

早く・・・、

秋と・・・、

交代してくれ・・・。

暑すぎるんだ・・・。

暑い・・・暑すぎる・・・溶けそうだ・・・。

暑い・・・、

ときかく・・・、

暑い・・・。

暑すぎる・・・。

血液が沸騰している・・・。

溶けてしまいそうだ・・・。

脳は・・・、

もう・・・、

すでに・・・、

溶け始めている・・・。

暑い・・・、

暑すぎる・・・。

冬よ・・・、

早く来てくれ・・・。

1973年のピンボール・・・(村上春樹先生の小説・・・)
)・・・。

高校時代・・・、

友達に勧められて・・・、

村上春樹先生の本を買った・・・。

当時はまだ・・・、

村上先生も・・・、

若手作家の一人・・・、

と言ったところであった・・・。

最初に買ったのは・・・、

「1973年のピンボール」だった・・・。

本来なら・・・、

「風の歌を聴け」から読むべきであったのであろうが・・・、

発表の前後関係が分からなかったのである・・・。

「1973年のピンボール」を読んだら・・・、

とても爽やかな気分になった・・・。

それ以降・・・、

次々と・・・、

村上先生の作品を読み・・・、

どっぷりと・・・、

村上春樹ワールドに浸っていた・・・。

そして・・・、

その主人公のように・・・、

タフで・・・、

クールで・・・、

都会的で・・・、

お洒落な若者になりたかった・・・。

まあ・・・、

なれなかったけど・・・。

それから・・・、

どういうわけか・・・、

夏になると・・・、

村上先生の本を読みたくなる・・・。

もう一度・・・、

村上先生の・・・、

全作品を・・・、

読み返してみようかな・・・。

最近・・・なんか・・・疲れた・・・。

最近・・・、

なんか・・・、

疲れた・・・。

暑さのせいか・・・？

体力・・・、

気力を・・・、

消耗してしまう・・・。

最近・・・、

なんか・・・、

疲れた・・・。

八大龍王様・・・雨降らせ給え・・・。

暑い・・・、

暑すぎる・・・。

雨が降れば・・・、

少しは楽になる・・・。

源実朝公は・・・、

長雨の時に・・・、

「・・・八大龍王、雨やませ給え・・・」・・・。

と詠んだそうである・・・が・・・、

私は・・・、

「・・・八大龍王様、雨降らせ給え・・・。」

・・・と・・・、

お願いしたい・・・。

不謹慎かもしれないが・・・。

雨が降れば・・・、

少しは・・・、

涼しくなる・・・。

熱帯夜・・・というか・・・もう・・・熱帯より暑い・・・。
(プリンセスプリンセスを聴きながら・・・。)

日本の夏は・・・、

暑い・・・。

毎年毎年・・・、

暑さを増している・・・。

アフリカや・・・、

東南アジアから来られた方が・・・、

「・・・日本の夏は暑い・・・。」

・・・と・・・、

昔・・・、

テレビで・・・、

言っておられた・・・。

もはや・・・、

日本は・・・、

熱帯である・・・。

いや・・・、

むしろ・・・、

熱帯よりも・・・

暑いのではあるまいか・・・？

8月6日に思う・・・。

80年前・・・、

8月6日・・・、

広島に・・・、

原子爆弾が投下された・・・。

その被害は・・・、

甚大なものであった・・・。

多くの人が犠牲になられ・・・、

今でも・・・、

後遺症で苦しんでおられる方が・・・、

大勢おられる・・・。

同じ過ちを・・・、

二度と・・・、

繰り返してはならない・・・。

平和とは・・・、

当たり前のことではなく・・・、

有り難く・・・、

尊いものである・・・。

そのことを・・・、

忘れてはならない・・・。

小説を（本）を読むということ・・・。

中学時代・・・、

いじめにあった・・・。

そんな時・・・、

一番の楽しみは・・・、

本を読むことだった・・・。

星新一先生・・・、

筒井康隆先生・・・、

平井和正先生の本には・・・、

随分と助けられたものだった・・・。

高校生になり・・・、

いじめはなくなった・・・。

高校時代のクラスメイトには・・・、

本当に感謝している・・・。

高校時代に・・・、

友人が・・・、

村上春樹先生の本を勧めてくれた・・・。

そして・・・、

村上春樹ワールドに・・・、

どっぷりと・・・、

のめり込むことになった・・・。

苦しい時には・・・、

本を読むのが・・・、

一番いい方法のような気がする・・・。

野火（大岡昇平先生の小説・・・。）・・・。

数年前・・・、

大岡昇平先生の・・・、

「野火」・・・、

を読んだ・・・。

衝撃を受けた・・・。

従軍体験を元に書かれた作品である・・・。

異様な世界が広がっていた・・・。

平和とは・・・、

有り難いものである・・・。

いいカッコをしようとする、苦しい・・・。

自分の・・・、

いいところを見せようとする・・・、

苦しい・・・。

逆に・・・、

自分の・・・、

ダメな所・・・、

恥ずかしい所を・・・、

全面に出していけば・・・、

少しは・・・、

楽になるような気がする・・・。

この異様な暑さのための・・・、

気の迷いであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

夏休み・・・？

子供の頃・・・、

夏休み・・・、

と、書くつもりが・・・、

夏休み・・・、

と、書いてしまう・・・。

そんなことが・・・、

よくあった・・・。

誰にでもあることではあろうが・・・。

子供の頃の・・・、

夏休みが・・・、

懐かしいものであるなあ・・・。

そして・・・、

夏休みも・・・？

意地悪なことをする人も・・・いるもんなんだなあ・・・。

世の中には・・・、

人が嫌がることを・・・、

平気でする人も・・・、

いるもんなんだなあ・・・。

自分の親からしてそうだ・・・。

人が嫌がるようなことを・・・、

平気でするような人間には・・・、

なりたくないものであるなあ・・・。

独りよがりの真面目さ・・・(独りよがりの正義)・・・。

私は・・・、

真面目に・・・、

生きている・・・、

と、思っていた・・・。

しかしながら・・・、

それは・・・、

独りよがりの真面目さだったのかもしれない・・・。

独りよがりの真面目さは・・・、

ただの我儘である・・・。

同じように・・・、

独りよがりの正義は・・・、

ただの我儘なのであろう・・・。

たぶん・・・。

名誉や利益を求めずに、責任だけを取ろう・・・。

名誉や・・・、

利益を・・・、

求めるようでは・・・、

本物の・・・、

人間ではない・・・、

のではあるまいか・・・？

何も求めずに・・・、

責任だけを取る・・・。

それが・・・、

本物の・・・、

人間なのであろう・・・。

たぶん・・・。

学生時代に・・・読んでいた・・・本を・・・今読むと・・・。

学生時代に・・・、

読んでいた・・・、

本を・・・、

今読むと・・・、

な・・・、

字が・・・、

ち・・・、

小さい・・・。

とても読めたもんじゃない・・・。

昔は・・・、

こんなに・・・、

小さな字が・・・、

読めてたんだなあ・・・。

冬の寒さを・・・思い出せない・・・。

暑い・・・、

とにかく・・・、

暑い・・・。

冬とか・・・、

寒いとか・・・、

忘れてしまった・・・。

このままでは・・・、

冬は・・・、

来るのであろうか・・・？

一年中・・・、

半袖で・・・、

エアコン全開で・・・。

そうなるような気がする・・・。

秋よ・・・、

冬よ・・・、

早く来てくれ・・・。

雨はどこへ行った・・・？

雨が・・・、

降らない・・・。

何故・・・。

雨って・・・、

何だっけ・・・？

雨は・・・、

どこへ行った・・・？

ああ・・・、

雨よ・・・、

降ってくれ・・・。

八大龍王様・・・、

雨降らせ給え・・・。

十字架を背負って・・・(山下達郎さんんの「希望という名の光」を聴きながら・・・)・・・。

歩けるところまで・・・、

歩いて行こう・・・。

重い・・・、

十字架を背負って・・・。

どこまで・・・、

耐えられるか・・・、

わからない・・・。

でも・・・、

歩いて行こう・・・。

倒れても・・・、

起き上がって・・・、

歩き続けよう・・・。

重い・・・、

十字架を背負って・・・。

消えてしまいたい・・・と・・・思ったことは・・・何度も
あった・・・。

消えてしまいたい・・・、

そう思ったことは・・・、

何度もあった・・・。

そのたびに・・・、

助けてくれたのは・・・、

本だった・・・。

どんなに苦しい時も・・・、

消えてしまいたい・・・、

そう思った時も・・・、

本が・・・、

助けてくれた・・・。

本を読むと・・・、

不思議と・・・、

心が・・・、

落ち着いた・・・。

これからも・・・、

本を・・・、

読み続ける・・・。

どうすれば・・・罪を・・・償うことができるのか・・・？

私は・・・、

多くの・・・、

罪を犯してきた・・・。

多くの人を・・・、

苦しめてしまった・・・。

どうすれば・・・、

その罪を・・・、

償うことができるのであろうか・・・？

思い十字架を背負って・・・、

苦しみながら・・・、

生きていくことが・・・、

償いになるのであろうか・・・？

懐かしい人・・・って・・・、なんか・・・いいよね・・・。

懐かしい人・・・、

懐かしい友人って・・・、

なんか・・・、

いいよね・・・。

たとえ・・・、

直接・・・、

会えないとしても・・・。

SNS や・・・、

メールで・・・、

つながっている・・・。

それって・・・、

なんだか・・・、

すごく・・・、

安心する・・・。

懐かしい人って・・・、

なんか・・・、

いいよね・・・。

蝉の惑星・・・？

暑い・・・、

とにかく・・・、

暑い・・・。

今・・・、

この地球上で・・・、

一番元気なのは・・・、

セミだ・・・。

朝から・・・、

晩まで・・・、

ずっと・・・、

鳴いている・・・。

このままでは・・・、

この地球は・・・、

蝉の惑星に・・・、

なってしまう・・・？

幻魔大戦・・・(平井和正先生の小説・・・)・・・(ローズマリー・バトラーを聴きながら・・・)・・・。

久しぶりに・・・、

幻魔大戦を買った・・・。

中学時代以来である・・・。

そのころ・・・、

超能力ブームと相俟って・・・、

幻魔大戦は・・・、

大ヒットしていた・・・。

劇場アニメ化までされた・・・。

私も観に行った・・・。

満員だったので・・・、

立ち見だった・・・。

小説も・・・、

ベストセラーだった・・・。

全20巻のうち・・・、

14巻まで読んだ・・・。

14巻で読むのをやめたのは・・・、

高校受験が終わったからである・・・。

私には・・・、

受験前になると・・・、

無性に小説を読みたくなる・・・、

という・・・、

変な癖があった・・・。

受験が終わると・・・、

読むのをやめてしまう・・・、

という、どうしようもない癖があった・・・。

今度は・・・、

全20巻・・・、

読破したいと思う・・・。

蝉の声・・・。

朝・・・、

散歩をしていたら・・・、

蝉の声が・・・、

聞こえなかった・・・。

そうか・・・、

もう・・・、

季節も・・・、

変わりつつあるなあ・・・、

と思った・・・。

・・・と・・・、

次の瞬間・・・、

蝉が・・・、

一斉に鳴き始めた・・・。

ああ・・・、

この星は・・・、

すでに・・・、

蝉の惑星なのかもしれない・・・。

嗤われながら・・・生きよう・・・。(ダイアーストレイツを
聴きながら・・・。)

嗤われよう・・・。

格好悪く行こう・・・。

人に嘲笑われよう・・・。

そうして・・・、

嗤われながら・・・、

格好悪く・・・、

生きていこう・・・。

そのほうが・・・、

何となく・・・、

気楽に・・・、

生きられる・・・、

ような気がする・・・。

地獄の釜の底をぶち抜いたら、そこは極楽だった・・・(谷口雅春先生の言葉・・・)・・・。

谷口雅春先生は・・・、

著書の中で・・・、

「地獄の釜の底をぶち抜いたら、そこは極楽だった。」

と述べておられる・・・。

苦しみから・・・、

逃れようとすれば・・・、

ますます・・・、

苦しくなる・・・。

苦しみと・・・、

正面から取り組めば・・・、

かえって・・・、

楽になる・・・。

たぶん・・・、

そういうことであろう・・・。

命・・・。

命・・・。

尊い・・・、

命・・・。

いつかは・・・、

消えてしまう・・・、

儂い・・・、

命・・・。

だからこそ・・・、

今を・・・、

精一杯・・・、

生きる・・・。

罪・・・(ガーネット・クロウ 「Love LoneStar」 を聴きなが
ら・・・。)

人は・・・、

生きている限り・・・、

罪を・・・、

犯してしまう・・・、

ものなのであろうか・・・？

人は・・・、

何のために・・・、

生まれ・・・、

生きて・・・、

そして・・・、

死んでいくのであろうか・・・？

数学・・・の・・・単位・・・(オブリエオン)・・・(ガー
ネット・クロウ「短い夏」を聴きながら。)・・・。

去年の夏・・・、

通信制大学で・・・、

数学の単位を取得した・・・。

現役の学生時代・・・、

私立文系だったので・・・、

数学に対する・・・、

何とも表現しようのない・・・、

憧れがあったからである・・・。

しかしながら・・・、

学んだはずの・・・、

数学の内容を・・・、

すっかり忘れてしまった・・・。

人は・・・、

忘却する・・・、

生き物であるなあ・・・。

人は・・・愛されるために・・・生きるのか・・・？（キースエマーソンを聴きながら・・・。）

人は・・・、

愛されるために生きるのか・・・？

それとも・・・、

愛するために生きるのか・・・？

或いは・・・、

嫌われるために生きるのか・・・？

それとも・・・、

人を嫌うために生きるのか・・・？

考えれば・・・、

考えるほど・・・、

わからなくなるなあ・・・。

べつに・・・、

人に愛されようが・・・、

人に嫌われようが・・・、

そんなこと・・・、

どうでも・・・、

いいんだろうなあ・・・。

汗……。(マーク・ノップラーを聴きながら……。)

今年の夏……、

いったい……、

どれだけの……、

汗を流したのであろうか……？

何リットル……？

いや……、

何十リットル……？

いや……、

何百リットル……？

それ以上か……？

そろそろ……、

夏も……、

終わるのであろうか……？

鈴虫・・・？

鈴虫・・・？

が・・・、

鳴き始めた・・・。

もう・・・、

秋の気配が・・・、

漂っているなあ・・・。

世界各地で・・・。

世界各地で・・・、

戦争が・・・、

行われている・・・。

戦争とは・・・、

恐ろしく・・・、

悲惨なものであるなあ・・・。

第二次世界大戦で・・・、

懲りたはずなのに・・・。

人間とは・・・、

歴史に学ばない生き物であるなあ・・・。

平和と尊さを・・・、

もう一度・・・、

考えたいものであるなあ・・・。

生きることは・・・苦しい・・・？

生きるということは・・・、

辛く・・・、

苦しいものである・・・。

それでも・・・、

人は・・・、

生きていく・・・。

命有る限り・・・。

決して・・・、

命を・・・、

無駄にしてはならない・・・。

自ら・・・、

命を捨ててはならない・・・。

人力車・・・(ELP を聴きながら・・・。)・・・。

祖母の・・・、

父親は・・・、

人力車引きだったらしい・・・。

にわかには信じがたかったが・・・、

祖母は・・・、

そう話していた・・・。

人力車を引く・・・、

大変な仕事である・・・。

なんでも・・・、

駅の近くで・・・、

人力車を引いていたらしい・・・。

昔の人は・・・、

大変な苦勞をされていたのであるなあ・・・。

台風・・・(マイク・オールドフィールド「ムーンライト・シャドウ」を聴きながら・・・。)

台風・・・、

子供の頃は・・・、

風や・・・、

雨に・・・、

なぜだか・・・、

ワクワクした・・・。

しかしながら・・・、

今となっては・・・、

なるべく・・・、

被害が出ないようにと・・・、

祈るばかりである・・・。

大人になったからなのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

夏が・・・(山下達郎さんの「さよなら夏の日」を聴きながら・・・。)

夏が・・・、

暑すぎた・・・、

今年の夏が・・・、

終わろうと・・・、

している・・・。

このまま・・・、

夏が・・・、

終わってしまう・・・、

のであろうか・・・？

いや・・・、

そんなはずはあるまい・・・。

8月も・・・もう・・・。

8月も・・・、

もう・・・、

最終日・・・。

子供の頃は・・・、

虚しさを感じたが・・・、

今となっては・・・、

何だか・・・、

ホッとする・・・。

大人になったからなのであろうか・・・？

いやいや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

誰もが・・・悩みを・・・抱えている・・・。

誰もが・・・、

悩みを・・・、

抱えている・・・。

自分が・・・、

悩んでいる時には・・・、

世界で・・・、

自分一人が・・・、

悩んでいる・・・、

という・・・、

錯覚に陥る・・・。

自分が・・・、

苦しい時には・・・、

世界で・・・、

自分だけが・・・、

苦しんでいる・・・、

という・・・、

錯覚に陥る・・・。

しかし・・・、

誰もが・・・、

それぞれの・・・、

悩みを抱え・・・、

苦しんでいる・・・。

であるから・・・、

一日一日を・・・、

精一杯生きよう・・・。

9月・・・(竹内まりやさんの「September」を聴きながら・・・。
)・・・。

とうとう・・・、

9月・・・、

永遠に続くかと思われた・・・、

8月も・・・、

過ぎ去ってしまった・・・。

もう・・・、

涼しくなるのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

大安・・・。

安岡先生によれば・・・、

大安とは・・・、

大いに安んずる・・・、

という意味らしい・・・。

どうやら・・・、

何をやっても・・・、

吉である・・・、

という訳ではなさそうである・・・。

大安の日くらいは・・・、

大いに安んじよう・・・。

野草・・・。

野草は・・・、

強く・・・、

たくましい・・・。

誰かに・・・、

世話をされるわけでもないのに・・・、

刈り取っても・・・、

抜いても・・・、

また・・・、

生えてくる・・・。

たくましいことよ・・・。

ああ・・・、

野草のように・・・、

たくましく・・・、

生きていきたいものであるなあ・・・。

百足・・・。

この夏・・・、

百足を・・・、

一匹も見なかった・・・、

ことに気づいた・・・。

田舎なので・・・、

夏になると・・・、

毎年・・・、

百足が出没する・・・。

しかしながら・・・、

今年は・・・、

一匹も見なかった・・・。

もしや・・・、

俵藤太様が・・・、

退治してくださったのか・・・？

いやいや・・・、

そんなことは・・・、

待てよ・・・、

それは有りかもしれない・・・。

病は気から・・・。

谷口雅治先生によれば・・・、

心を正しくすれば・・・、

病気も良くなるそうである・・・。

病気だけではなく・・・、

環境や・・・、

運命まで・・・、

良くなるそうである・・・。

病は気から・・・、

とは・・・、

昔から言われている・・・。

仏教では・・・、

三界は唯心の所現という・・・。

キリスト様も・・・、

奇跡を用いて・・・、

多数の病人を治された・・・。

心を正しくして・・・、

病気や・・・、

運命を・・・、

良くしよう・・・。

そして・・・、

積善改過に励もう・・・。

罪と記憶・・・(ELOの「タイムトラベラー」を聴きながら・・・)・・・。

普段は・・・、

忘れている・・・、

遠い記憶・・・。

しかし・・・、

時々・・・、

思い出す・・・。

そして・・・、

自らの・・・、

罪深さに・・・、

恐れおののいてしまう・・・。

図らずも・・・、

多くの人々を・・・、

傷つけてしまった・・・。

思い起こせば・・・、

ゾッとする・・・。

どれもこれも・・・、

自らの・・・、

弱さと・・・、

心の狭さに起因する・・・。

しかしながら・・・、

恐れおののいてばかりもいられない・・・。

全ての・・・、

罪を背負い・・・、

歩けるところまで・・・、

歩いて行こう・・・。

ナポリ・・・(真心ブラザーズを聴きながら・・・)・・・。

ナポリ・・・、

と言っても・・・、

イタリアのナポリではない・・・。

昔・・・、

ナポリというレストランがあった・・・。

その頃・・・、

好きだった彼女と・・・、

いつか・・・、

二人で・・・、

食事に行こう・・・、

そう思っていた・・・。

ところが・・・、

彼女とは・・・、

会えなくなった・・・。

私の出鱈目な生き方のせいである・・・。

そのナポリは・・・、

今では・・・、

コンビニになっている・・・。

結局・・・、

ナポリでは・・・、

一度も・・・、

食事をする事はなかった・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が流れた・・・。

ナポリ跡地のコンビニは健在である・・・。

しかしながら・・・、

彼女は・・・、

今頃・・・、

どこで・・・、

どうしているのでしょうか・・・？

彼女が・・・、

今でも・・・、

元気で・・・、

幸せであることを・・・、

願っている・・・。

ときどき思い出す・・・、

二人で・・・、

ナポリで・・・、

食事をするはずだった・・・、

彼女のことを・・・。

魔法使いの弟子・・・。

魔法使いの弟子・・・、

と言っても・・・、

本物の・・・、

魔法使いの弟子・・・、

ではなく・・・、

スパゲッティのお店である・・・。

むかし・・・、

大学の近くにあった・・・。

私は決まって・・・、

ツナトマトパスタ・・・、

を、食べていた・・・。

そんな時に限って・・・、

白い服を着ていた・・・。

そして・・・、

トマトソースが・・・、

服に・・・、

飛び散っていた・・・。

それは置いていて・・・、

結構美味しいスパゲッティだった・・・。

大学卒業後・・・、

そのお店には行ってない・・・。

それから・・・、

いくつもの季節が過ぎ去った・・・。

あのお店は・・・、

今でも健在なのであろうか・・・？

ときどき思い出す・・・。

魔法使いの弟子・・・、

という名の・・・、

スパゲッティのお店のことを・・・。

ホカベン屋の・・・女性（ひと）・・・（小松未歩さんの歌を
聴きながら・・・。）・・・。

若い頃・・・、

毎週行っていたホカベン屋があった・・・。

海に行く途中にあったからである・・・。

そこで・・・、

一人の・・・、

若く・・・、

美しい女性が・・・、

働いていた・・・。

私は・・・、

彼女のことを・・・、

好きになった・・・。

しかし・・・、

何も言えなかった・・・。

それから・・・、

十年ほど・・・、

その店には行かなかった・・・。

理由は忘れた・・・。

でも・・・、

十年ぶりに行ってみると・・・、

彼女は・・・、

まだその店で働いていた・・・。

嬉しかった・・・。

話しかけたかったが・・・、

やはり・・・、

話せなかった・・・。

それからまた・・・、

十年ほど・・・、

その店には行っていない・・・。

彼女は・・・、

まだ・・・、

あのホカベン屋で働いているのであろうか・・・？

もう一度・・・、

あのホカベン屋に行ってみようか・・・。

そして・・・、

今度こそ・・・、

話しかけてみようか・・・？

ときどき思い出す・・・。

ホカベン屋の女性のことを・・・。

好奇心は・・・脳にいい・・・(ラジオで聴いた・・・)・・・。

好奇心は・・・、

脳にいい・・・、

らしい・・・。

ラジオで聴いた・・・。

好奇心が有ると無いのでは・・・、

脳の状態が・・・、

大きく違って来るそうである・・・。

もちろん・・・、

好奇心が有る方が・・・、

脳の状態がいい・・・。

好奇心は・・・、

いくつになっても・・・、

大切にしたいものであるなあ・・・。

親に・・・苛々するのは・・・何故だろう・・・？

親に・・・、

苛々する・・・。

とにかく・・・、

苛々する・・・。

何故だろう・・・？

でも・・・、

そんなことは・・・、

どうでもいい・・・。

とにかく・・・、

親に・・・、

苛々する・・・。

シェーキーズ・・・。

高校時代・・・、

繁華街に・・・、

シャーキーズ・・・、

という・・・、

ピザ屋があった・・・。

平日は・・・、

食べ放題だった・・・。

しかしながら・・・、

学校があるので・・・、

平日は・・・、

滅多に行けなかった・・・。

たまに・・・、

学校が早く終わると・・・、

友達数人で・・・、

食べに行っていた・・・。

そのピザは・・・、

けっこう美味かった・・・。

輪切りのポテトフライも・・・。

ただ・・・、

食べ放題に関しては・・・、

輪切りのポテトフライは・・・、

トラップ・・・？

いや・・・、

落とし穴だった・・・。

というのは・・・、

その・・・、

輪切りのポテトを食べると・・・、

途端に・・・、

満腹になってしまうのであった・・・。

よって・・・、

もう・・・、

食べ放題のピザが・・・、

お腹に入らなくなってしまう・・・。

そんな感じであった・・・。

家に帰っても・・・、

夕食など食べられるはずもなかった・・・。

どうでもいい思い出である・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

シェーキーズは・・・、

今も健在なのであろうか・・・？

ピザを食べたくなると・・・、

思い出す・・・。

シェーキーズのことを・・・。

バッタ・・・。

畑を耕した・・・。

バッタがいた・・・。

なんだか・・・、

懐かしかった・・・。

いまでも・・・、

バッタが・・・、

いるのだなあ・・・。

TR の女性（ひと）・・・（工藤静香さんの「抱いてくれたらいいのに」を聴きながら・・・。）・・・。

昔・・・、

一人で・・・、

ツーリングに行った帰りに・・・、

コンビニで・・・、

一人の女性と出会った・・・。

その女性は・・・、

カワサキ TR 250に乗っていた・・・。

一方・・・、

私は・・・、

ホンダ V ツウィンマグナに乗っていた・・・。

彼女は・・・、

「・・・ホントはアメリカンに乗りたかったけど、重たくって・・・。」

そんなことを話していた・・・。

確かに・・・、

アメリカンは・・・、

重たい・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

あの女性は・・・、

元気であるのであろうか・・・？

そして・・・、

今でも・・・、

バイクに乗っているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

TR に乗っていた女性のことを・・・。

シャアはなぜ、ドムに乗らなかったのか・・・？（ZARDの名曲を聴きながら・・・。）・・・。

シャアは・・・、

なぜ・・・、

ドムに乗らなかったのでしょうか・・・？

もし・・・、

ドムに乗っていたら・・・、

ガンダムに・・・、

いや・・・、

アムロに・・・、

勝っていたかもしれないのに・・・。

それは・・・、

思い過ごしであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

今はもう・・・秋・・・なのか・・・？

今はもう・・・、

秋・・・、

なのか・・・？

秋と言うには・・・、

あまりにも・・・、

暑い・・・、

暑すぎる・・・。

このままでは・・・、

秋も・・・、

冬も・・・、

消えてしまう・・・。

常夏の国に・・・、

なってしまう・・・。

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

突然寒くなる日が・・・、

必ず・・・、

やってくる・・・。

山へ行った・・・。

山へ行った・・・。

むかし・・・、

行ったことのある山に・・・、

久しぶりに行った・・・。

20年振りであろうか・・・？

30年振りであろうか・・・？

道も忘れていた・・・。

カーナビに従って・・・、

車を走らせた・・・。

坂道を登るにつれ・・・、

涼しくなった・・・。

到着すると・・・、

不思議な感じがした・・・。

懐かしい・・・、

というよりは・・・、

初めて来たような・・・、

そんな錯覚を覚えた・・・。

少し雨が降った・・・。

展望所からの眺めも・・・、

懐かしいというより・・・、

新鮮に感じた・・・。

不思議に思った・・・。

これは・・・、

時の経過の為せる技であろうか・・・？

帰り道も・・・、

カーナビに従った・・・。

なぜだか少し・・・、

虚しかった・・・。

家に着いたら・・・、

ホッとした・・・。

引きこもっていた頃・・・(B'z の「ミエナイチカラ」を聴きながら・・・)・・・。

若い頃・・・、

仕事をやめて・・・、

引きこもっていた・・・。

昼夜逆転し・・・、

出鱈目な生活をしていた・・・。

夜になると・・・、

毎日・・・、

車を・・・、

海まで・・・、

走らせた・・・。

途中で・・・、

缶コーヒーを買う・・・。

海に着くと・・・、

タバコをふかしながら・・・、

缶コーヒーを啜った・・・。

対岸に見える・・・、

半島の夜景が・・・、

やけに眩しかった・・・。

夜空も・・・、

綺麗だった・・・。

時々・・・、

そんなことを思い出す・・・。

あの頃の自分に・・・、

もう一度・・・、

会ってみたいものである・・・。

長かった・・・今年の夏も・・・もう・・・終わりなのか・・・
(Doasinfinity 「柊」を聴きながら・・・。)・・・？

長かった・・・。

今年の夏は・・・、

長かった・・・。

しかしながら・・・、

そんな・・・、

長かった夏も・・・、

終わりを告げようとしている・・・。

そして・・・、

秋も深くなり・・・、

冬を迎えるのであろう・・・。

そう考えると・・・、

少し・・・、

寂しい気がする・・・。

さようなら・・・、

長かった・・・、

今年の・・・、

夏よ・・・。

来年・・・、

また会おう・・・。

K・・・(B'z「ミエナイチカラ」を聴きながら・・・)・・・。

K・・・、

ありがとう・・・。

おまえのおかげで・・・、

大学4年間・・・、

楽しかった・・・。

おまえはまだ・・・、

踏ん張っているんだな・・・。

お前に・・・、

会いに行くよ・・・。

思い出の中の・・・、

おまえにな・・・。

K・・・。

生協食堂・・・(森高千里さんの「私の夏」を聴きながら・・・。
)

学生時代・・・、

食事は・・・、

専ら・・・、

大学生協の食堂で済ませていた・・・。

300円前後で食べられた・・・。

貧乏学生だった私には・・・、

有難かった・・・。

ベテランから、若い方まで・・・、

従業員の殆どの方が女性だった・・・。

大学卒業後・・・、

生協食堂には行っていない・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

今でも・・・、

生協食堂は健在なのであろうか・・・？

そして・・・、

生協食堂で働いておられた方々は・・・、

今でもお元気なのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

生協食堂のことを・・・。

シャープのメビウス・・・(一昔前のノートパソコン・・・)
)・・・。

昔・・・、

メンタルダウンしている頃・・・、

父親が・・・、

ノートパソコンを買ってくれた・・・。

シャープのメビウスだった・・・。

OSはWindows XP・・・。

結局・・・、

ネットを見ているだけであったが・・・。

そして・・・、

今では・・・、

そのパソコンは・・・、

どこかに消えてしまった・・・。

しかし・・・、

ありがたかった・・・。

父親とは・・・、

なかがいいわけではない・・・。

だが・・・、

時々思い出す・・・、

特に・・・、

父親に対して・・・、

イライラした時に・・・。

親という存在は・・・、

面倒くさい存在ではあるが・・・、

また・・・、

ありがたい存在でもある・・・。

海へ行った・・・(ガーネット・クロウを聴きながら・・・。
)

久しぶりに・・・、

海までドライブした・・・。

海を見ると・・・、

何だか・・・、

ホッとする・・・。

途中・・・、

車の中で・・・、

ガーネット・クロウの・・・、

「夢のひとつ」を・・・、

ずっと・・・、

リピートしていた・・・。

そして・・・、

タバコを・・・、

やたらと吸った・・・。

缶コーヒーを・・・、

3本も飲んだ・・・。

夏の疲れが・・・、

今頃出たか・・・。

何だか・・・、

疲れた・・・。

なんだか最近・・・苛々する・・・親に対して・・・。

なんだか・・・、

最近・・・、

苛々する・・・。

親に対して・・・。

近親憎悪というやつか・・・。

しかしながら・・・、

どうにかならんものかな・・・。

雨・・・（森高千里さんの「雨」を聴きながら・・・）・・・。

雨・・・、

なんとなく・・・、

ホッとする・・・。

憂鬱になる時もあるが・・・、

なんだか・・・、

安心する・・・。

特に・・・、

夜の雨は・・・、

好きだ・・・。

私だけであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

誰にも負けるな・・・(祖母の言葉・・・)・・・。

「誰にも負けるな!」・・・。

祖母は・・・、

よく言っていた・・・。

私は・・・、

他人に負けるな・・・、

という意味だと思っていた・・・。

しかしながら・・・、

今考えてみると・・・、

自分に負けるな・・・、

という意味だったのではなかろうか・・・?

久しぶりの・・・グランツーリスモ7・・・(Do As Infinity
「終」を聴きながら・・・)・・・。

久しぶりの・・・、

グランツーリスモ7・・・、

オンラインレース大会・・・。

それにしても・・・、

相変わらず・・・、

遅い・・・、

遅すぎる・・・。

とにかく・・・、

疲れた・・・。

でも・・・、

楽しかった・・・。

新しい・・・テレビ・・・。

新しく・・・、

テレビを買った・・・。

高級品ではないが・・・、

何となく・・・、

嬉しい・・・。

今まで知らなかった・・・、

新しい機能がついている・・・。

新しい家電って・・・、

何だか・・・、

いいな・・・。

マスク・・・。

マスク・・・。

マスクをするのが当たり前だった時期・・・。

その時期も終わり・・・、

マスクを・・・、

外すことに・・・。

何だか・・・、

恥ずかしい・・・。

何故だろう・・・？

どうでもいいことではあるが・・・。

マスクを外した顔を見られるのが・・・、

何だか・・・、

恥ずかしい・・・。

私だけであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

シャープ・ザウルス・・・。

シャープ・ザウルス・・・。

昔持っていた・・・。

しかしながら・・・、

ほとんど使わずに・・・、

売ってしまった・・・。

ところが・・・、

また欲しくなって・・・、

アマゾンで・・・、

買ってしまった・・・。

何か・・・、

懐かしい・・・。

シャープ・ザウルス・・・。

今度は・・・、

使おう・・・。

ああ・・・、

シャープ・・・、

ザウルス・・・。

Xbox One . . . 。

Xbox One . . . 。

買ってしまった . . . 。

何故今頃 . . . ?

サポート終了したのに . . . 。

しかしながら . . . 、

なぜだか . . . 、

急に欲しくなった . . . 。

それで . . . 、

買ってしまった . . . 。

ああ . . . 、

Xbox One . . . 。

ああ . . . 、

マイクロソフト . . . 。

プレステ2は・・・生きていた・・・。

久しぶりに・・・、

プレステ2の・・・、

電源を入れた・・・。

すると・・・、

ウーン・・・、

カタカタカタ・・・。

おお・・・、

生きていた・・・。

プレステ2は・・・、

生きていた・・・。

ありがとう・・・、

プレステ2・・・。

ありがとう・・・、

ソニー・・・。

剣豪2・・・。

久しぶりに・・・、

剣豪2を・・・、

プレイした・・・。

元気の・・・、

名作・・・、

剣豪2・・・。

10年サイクルで・・・、

時々・・・、

プレイしたくなる・・・。

剣豪2・・・。

ありがとう・・・、

剣豪2・・・。

ありがとう・・・、

元気・・・。

メンタルにいいこと・・・。

体を動かすことは・・・、

メンタル面に・・・、

いいらしい・・・。

筋トレ・・・、

ストレッチ・・・、

ウォーキング・・・、

ランニング・・・。

確かに・・・、

筋トレやランニングは・・・、

効果を実感できる・・・。

食べ物では・・・、

バナナ・・・、

カレー・・・、

玉子・・・、

ナッツ・・・、

チョコレート・・・、

などがいいらしい・・・。

海苔や・・・、

納豆もいいとか・・・。

私の場合は・・・、

玉子とカレーは・・・、

効果を実感できる・・・。

特に・・・、

カレーを食べると・・・、

妙に元気になる・・・。

メンタルダウンした時には・・・、

カレーや玉子などを食べて・・・、

筋トレやランニングをしよう・・・。

そうすれば・・・、

メンタルが強くなる・・・、

かもしれない・・・。

久しぶりの・・・草刈り・・・(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・)・・・。

久しぶりに・・・、

草刈りをした・・・。

随分と・・・、

涼しくなったものである・・・。

しかしながら・・・、

草刈りをすると・・・、

やはり・・・、

汗をかく・・・。

今年最後の・・・、

草刈りになるのであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことは・・・、

いやあ・・・、

そうなってほしいものである・・・。

昔・・・ある公園にて・・・(ガーネット・クロウ「風とRAINBOW」を聴きながら・・・。)・・・。

昔・・・、

メンタルダウンの最中・・・、

Mさんと知り合った・・・。

二人で買い物をして・・・、

ある公園に行った・・・。

そこで・・・、

缶コーヒーを飲み・・・、

タバコを吸った・・・。

ただそれだけのことである・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

Mさんは・・・、

今でも元気にしているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

Mさんと・・・、

あの公園のことを・・・。

あの公園に・・・、

もう一度・・・、

行ってみようか・・・。

ランニング・・・。

久しぶりに・・・、

走った・・・、

20分ほどではあるが・・・。

しかも・・・、

ウォークアンドランである・・・。

しかしながら・・・、

走ると・・・、

スッキリする・・・。

ランニングって・・・、

なんか・・・、

いいな・・・。

自分正常化・・・。

自分自身を・・・、

正常化したい・・・。

そうすれば・・・、

全てが正常化される・・・、

はず・・・？

三界はただ唯心の所現である・・・。

自分自身を正常化すれば・・・、

特に・・・、

自分の心を正常化すれば・・・、

全てが正常化される・・・、

はずである・・・。

我々皆が・・・、

一人一人・・・、

心を正常化すれば・・・、

世の中の全てが・・・、

正常化される・・・、

はずである・・・。

タマムシ・・・。

今朝・・・、

玄関に・・・、

タマムシが入っていた・・・。

数十年ぶりに・・・、

タマムシを見た・・・。

なんでも・・・、

タマムシは・・・、

縁起がいいそうである・・・。

いいことが・・・、

あるといいなあ・・・。

サムライスピリッツ・・・。

サムライスピリッツ・・・。

久しぶりに・・・、

プレイした・・・。

30年前に比べると・・・、

格段に進化している・・・。

それにしても・・・、

なつかしいなあ・・・。

なんだか・・・、

若返ったような気がする・・・。

気のせいであろうか・・・？

いや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

ホカ弁屋の店員さんは・・・どこに行った・・・？

10年位前までよく行っていた、ホカ弁屋に行った・・・。

昔は・・・、

素敵な・・・、

女性店員さんがいた・・・。

その人に・・・、

逢えるかもしれないと思って・・・、

行ってみたが・・・、

いなかった・・・。

少し・・・、

いや・・・、

相当がっかりした・・・。

でも・・・、

あの人は・・・、

今でも・・・、

元気で・・・、

幸せなのであろう・・・。

素敵なままで・・・。

富士通のノートパソコン・・・。

富士通の・・・、

ノートパソコン・・・。

異様なまでに・・・、

丈夫である・・・。

とにかく・・・、

故障しない・・・。

ジャンク品で・・・、

3000円で買った・・・、

富士通のノートパソコンに・・・、

Zorin linux をぶち込んで・・・、

メインマシンとして使っている・・・。

linux はともかく・・・、

富士通のノートパソコンは・・・、

異様なまでに丈夫である・・・。

ああ・・・、

富士通・・・、

ありがとう・・・、

富士通・・・。

カワサキ・スーパーシェルパ・・・。

カワサキ・スーパーシェルパ・・・。

昔乗っていた・・・。

最初は・・・、

ライディングポジションに違和感を感じた・・・。

しかしながら・・・、

慣れると・・・、

異様なまでに乗りやすかった・・・。

ああ・・・、

カワサキ・スーパーシェルパ・・・。

ありがとう・・・、

カワサキ・・・。

ありがとう・・・、

スーパーシェルパ・・・。

また・・・、

バイクに乗りたくなったなあ・・・。

スターラスター・・・。

スターラスター・・・。

最初に買った・・・、

ファミコンの・・・、

ゲームカートリッジである・・・。

たぶん・・・、

今プレイしたら・・・、

すぐにやめてしまうと思う・・・。

しかしながら・・・、

学生だった当時は・・・、

胸をときめかせて・・・、

プレイしたものであった・・・。

ああ・・・、

スターラスター・・・。

懐かしいなあ・・・。

やはり・・・、

もう一度・・・、

プレイしたいものであるなあ・・・。

一週間ぶりに・・・走った・・・。

一週間ぶりに・・・、

走った・・・。

走ると・・・、

憂鬱な気分も・・・、

消えてしまう・・・。

ただ・・・、

後で・・・、

疲れが出る・・・。

しかしながら・・・、

これからも・・・、

走り続けよう・・・。

こころのバイク乗り・・・(令多映子さんの「SailOn～風に向
かって」を聴きながら・・・。

昔・・・、

バイクに乗っていた・・・。

バイクに乗っている時が・・・、

一番自由だった・・・。

風と一体になる感じが・・・、

何とも言えない喜びだった・・・。

今はバイクに乗っていない・・・。

しかしながら・・・、

こころのバイク乗りだ・・・。

また・・・、

バイクに乗ろう・・・、

そして・・・、

風と一体になり・・・、

自由を感じるのだ・・・。

緑色の女性（みどりいろのひと）・・・（吉田拓郎さんの「流星」を聴きながら・・・。）・・・。

学生時代・・・、

一人の女性と出会った・・・。

いつも緑色の服を着ていたので・・・、

「みどりさん」と呼んでいた・・・。

女優の森下愛子さんに似た、とても美しい女性だった・・・。

何度か一緒に帰った・・・。

よく話してみると・・・、

10年以上前に・・・、

大学を卒業している・・・、

とのことであった・・・。

私よりも、一回り以上年上だった・・・。

私は・・・、

みどりさんのことを愛し始めていた・・・。

しかしながら・・・、

みどりさんは・・・、

突然・・・、

大学に来なくなった・・・。

それ以来・・・、

みどりさんとは会っていない・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

みどりさんは今でも元気であるのだろうか・・・？

時々思い出す・・・、

緑色の服を着た女性のことを・・・。

人生は・・・ゲームに・・・似てる・・・？

人生は・・・、

ゲームに・・・、

似てる・・・？

難しすぎると・・・、

話にならない・・・。

簡単すぎると・・・、

面白くない・・・。

ああ・・・、

人生は・・・、

ゲームみたいなものなんだなあ・・・。

EA UFC 4。

EA UFC 4。

何だか面白い。

まだ始めたばかりだから、

キャリアモードだけやってる。

でも、

面白い。

最近の格ゲーは、

よく出来てるなあ。

いつかはオンライン対戦したいなあ。

真・女神転生III・ノクターン・HD リマスター版・・・。

真・女神転生III・ノクターンを買った・・・。

HD リマスターバージョンである・・・。

PS2 の頃買った・・・。

でも・・・、

クリアできなかった・・・。

オベリスク三姉妹に勝てなかった・・・。

どうしても勝てなかった・・・。

それで・・・、

挫折した・・・。

今度こそ・・・、

クリアしたいものであるなあ・・・。

積善改過・・・。

真面目に生きてると・・・、

馬鹿らしくなることもある・・・。

正直であってっも・・・、

誤解されることもある・・・。

しかしながら・・・、

天は見ている・・・。

神様仏様は見ている・・・。

ご先祖様は見ている・・・。

真面目に・・・、

正直に生きていれば・・・、

良いこともある・・・。

今夜・・・、

そう感じる出来事があった・・・。

真面目に・・・、

正直に生きよう・・・。

そして・・・、

積善改過に励もう・・・。

友達・・・。

友達・・・。

友達って良いな・・・。

時には・・・、

傷つけ合うこともある・・・。

人間不信になることもある・・・。

しかしながら・・・、

傷ついたところを癒やしてくれるのも・・・、

友達なんだなあ・・・。

やっぱり・・・、

友達って・・・、

良いものであるなあ・・・。

ああ・・・親に・・・苛々する・・・。

ああ・・・、

親に苛々する・・・、

顔を見るたびに苦情を言う・・・、

人の欠点を誇大に指摘する・・・、

人が傷ついても構わない・・・、

人の心を考えない・・・。

ああ・・・、

正しく・・・、

サイコパスだ・・・、

精神異常者だ・・・。

私も・・・、

精神異常者なんだろうなあ・・・。

いやだなあ・・・。

誰かの本に・・・、

「・・・幸せになるためには、良い親を選んで生まれるてくるべきである・・・。」

という、逆説めいたことが書かれてあったが・・・、

本当にそうであるなあ・・・。

しかしながら・・・、

親は選べないからなあ・・・。

一体・・・、

どうすれば良いのだろうか・・・？

牛若丸・・・(MANISHの「煌めく瞬間に捕われて」を聴きながら・・・)・・・。

牛若丸・・・、

といっても、・・・、

源九郎義経のことではない・・・。

居酒屋である・・・。

大学時代・・・、

毎晩のように飲みに行っていた・・・。

そこで・・・、

ロック歌手のようなカップルが働いていた・・・。

とても親切で・・・、

ピザをサービスしてくれたこともあった・・・。

地下鉄で偶然乗り合わせたこともあった・・・。

大学卒業後・・・、

牛若丸には行っていない・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

今でも・・・、

牛若丸は健在なのであろうか・・・？

そして・・・、

あの、ロッカー風のカップルは元気でおられるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

牛若丸と・・・、

ロッカー風のカップルのことを・・・。

黄色い・・・リバーシブルの・・・ブルゾン・・・(令多映子さんの「SailOn～風に向かって」を聴きながら・・・)・・・。

高校を卒業して・・・、

大学進学のため・・・、

都会に出た・・・。

都会で初めて買った服が・・・、

黄色い・・・、

リバーシブルの・・・、

ブルゾンだった・・・。

今考えると・・・、

何でそんな服を買ったのか・・・、

謎である・・・。

ただ・・・、

はやく・・・、

都会の人になりたいと思っていた・・・。

まあ・・・、

なれなかったけど・・・。

それにしても・・・、

あの時買った・・・、

黄色い・・・、

リバーシブルの・・・、

ブルゾンは・・・、

どこに行ったんでしょうね・・・？

学生時代の・・・ネルシャツ・・・。

クローゼットを整理していたら・・・、

学生時代のネルシャツが出てきた・・・。

赤・青・緑のチェック柄である・・・。

30年以上前の服なので・・・、

当然のことながら・・・、

古ぼけている・・・。

しかしながら・・・、

何だか・・・、

懐かしい・・・。

今では・・・、

部屋着にしている・・・。

何となく・・・、

若返ったような気がする・・・。

気のせいであろうか・・・？

いやいや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

友情の青いシャツ・・・(島谷ひとみさんの「亜麻色の髪の乙女」を聴きながら・・・)・・・。

昔・・・、

ふとしたことで・・・、

親友が出来た・・・。

その親友と・・・、

服を買いに行ったことがある・・・。

買ったのは・・・、

青いシャツと・・・、

黒いジャンパーである・・・。

それから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

そして・・・、

黒いジャンパーはどこかに消えてしまった・・・。

青いシャツは・・・、

作業用のシャツとして現役である・・・。

また・・・、

友情は・・・、

今だに健在である・・・。

それが一番・・・、

嬉しいことであるなあ・・・。

こころを閉ざしていたのは・・・自分自身だった・・・。

こころを閉ざしていたのは・・・、

自分自身だった・・・。

人を疑っていたのも・・・、

自分自身だった・・・。

やっと気がついた・・・。

これからは・・・、

こころを開いて・・・、

人を信じて・・・、

生きていこう・・・。

そうすれば・・・、

信頼関係が構築され・・・、

幸せに生きていけるはずである・・・。

気のせいであろうか・・・？

いやいや・・・、

そんなことはあるまい・・・。

何故親に苛々するのだろうか・・・？

親に・・・、

苛々する・・・、

何故だろう・・・？

何か・・・、

苛々するなあ・・・？

こころを閉ざして苦しむよりも、こころを開いて傷ついたほうが良い……。

こころを閉ざしていると……、

苦しい……。

そして……、

救われようがない……。

それよりも……、

こころを開いて……、

傷ついたほうが良いのではあるまいか……？

そこには……、

何らかの救いがある……。

それは……、

気のせいであろうか……？

いや……、

そんなことはあるまい……。

親孝行をしようと思っているのに、どうして親を苦しめてしまうのであろうか・・・？（薬師如来真言を聴きながら・・・）・・・。

親孝行をしようと思っているのに・・・、

親を苦しめてしまう・・・。

これでは・・・、

親孝行、しているつもりが、親不孝・・・、

である・・・。

自分が弱いからであらうか・・・？

多分そうであらう・・・。

そして・・・、

親が嫌い、ということは・・・、

心理学的に言えば・・・、

親が好き・・・、

親に愛されたい・・・、

などの感情の裏返しということである・・・。

昔から・・・、

「親孝行、したい時には親はなし。」

というからなあ・・・。

親孝行とは・・・、

難しいものであるなあ・・・。

たまごごはん・・・。

わたしは・・・、

たまごごはんがすきだ・・・。

あたたかいごはんのうえに・・・、

なまたまごをかける・・・。

そして・・・、

しょうゆをたっぷり・・・。

ほんとうにおいしい・・・。

ただ・・・、

たまごごはんをたべると・・・、

ねむくなる・・・。

なぜだろう・・・、

でも・・・、

たまごごはんがだいすきだ・・・。

ああ・・・、

また・・・、

たまごごはんがたべたくなった・・・。

初冬の海へ・・・。

海へ行った・・・。

途中・・・、

車が混んでいた・・・。

師走なんだなあ・・・、

そんな気がした・・・。

カーラジオからは・・・、

山下達郎さんの・・・、

「クリスマスイブ」が流れていた・・・。

海に着いたが・・・、

駐車場が・・・、

工事中で・・・、

車を止めておくスペースがなかった・・・。

そのまま帰った・・・。

何だか・・・、

間抜けである・・・。

しかしながら・・・、

なんかすっきりした・・・。

師走の気分も味わうことが出来た・・・。

冬の海って・・・、

何となく・・・、

いいもんだなあ・・・。

マーガリン・・・。

マーガリン・・・。

時々・・・、

無性に食べたくなる・・・。

今夜も食べた・・・。

パンに・・・、

マーガリンを・・・、

たっぷり塗って・・・。

本当にうまい・・・。

ああ・・・、

マーガリン・・・。

ありがとう・・・、

マーガリン・・・。

EA UFC2・・・xbox one バージョン・・・輸入版・・・(ガーネット・クロウ「風と RAINBOW」を聴きながら・・・。)・・・。

今頃だが・・・、

EA UFC2 は・・・、

面白い・・・。

xbox one バージョンの輸入版だが・・・。

EA UFC3 よりも・・・、

EA UFC4 よりも・・・、

面白い・・・。

オンライン対戦は出来ないけど・・・。

EA UFC5 は・・・、

もっと・・・、

面白いのかなあ・・・。

友情・・・。

学生時代の友人との友情が・・・、

崩壊した・・・。

勿論・・・、

責任は私自身にある・・・。

しかしながら・・・、

ほんの些細なことで・・・、

崩壊する関係性とは・・・、

一体何なのであろうか・・・？

そもそも・・・、

友情と呼べる代物であったのであろうか・・・？

そんなことを・・・、

今夜・・・、

考えた・・・。

ログインと、サインイン・・・。

ログインと・・・、

サインイン・・・。

この二つの違いが・・・、

未だにわからない・・・。

コンピューターは・・・、

難しいものであるなあ・・・。

冬至・・・。

一年のうち・・・、

一番・・・、

昼間が短い日・・・。

とても寒い一日だった・・・。

ついこの間まで・・・、

暑い暑いと言っていたのに・・・、

寒い寒いと言っている・・・。

人間は我儘であるなあ・・・。

そして・・・、

もうすぐ・・・、

クリスマス・・・。

その次には・・・、

新年がやってくる・・・。

一年がすぎるのは早いものであるなあ・・・。

イブイブ・・・。

イブイブ・・・。

もう・・・、

そんな季節になってしまった・・・。

一年がすぎるのは・・・、

早いものであるなあ・・・。

それにしても・・・、

今年はつかれたなあ・・・。

クリスマスイブ・・・。

とうとう・・・、

クリスマスイブ・・・。

やっぱり・・・、

今年も・・・、

ひとりぼっち・・・。

親にはイライラするし・・・、

クリスマスソングを聴くのが辛すぎる・・・。

ああ・・・、

明日は・・・、

クリスマスなのだなあ・・・。

奇跡が起これば良いのだがなあ・・・。

とうとう・・・クリスマス・・・(佐野元春さんの「Christmas
timeinblue」を聴きながら・・・)・・・。

とうとう・・・、

クリスマス・・・。

今年も・・・、

ひとりぼっち・・・。

あんまり・・・、

楽しくなかった・・・。

ただひたすら・・・、

親に苛ついた・・・、

クリスマスだった・・・。

来年こそは・・・、

・・・、

・・・。

肉餃子 . . . 。

肉餃子・・・。

昔・・・、

職場の近くに・・・、

ラーメン屋があった・・・。

そこの・・・、

肉餃子が・・・、

滅法美味かった・・・。

あのラーメン屋は・・・、

今でも健在なのであろうか・・・？

そして・・・、

まだ・・・、

肉餃子は・・・、

メニューにあるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

肉餃子の美味かったラーメン屋のことを・・・。

器・・・。

学生時代・・・、

大学の近くに・・・、

器（うつわ）という喫茶店があった・・・。

友人に教えてもらったのだが・・・、

そのアイスコーヒーは絶品だった・・・。

大学を卒業して・・・、

随分と長い時間が流れた・・・。

卒業後・・・、

その喫茶店には行っていない・・・。

あの・・・、

器という名の喫茶店は・・・、

今でも健在なのであろうか・・・？

そして・・・、

いまでも・・・、

メニューに・・・、

あの絶品のアイスコーヒーがあるのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

器という名の喫茶店と・・・、

絶品のアイスコーヒーのことを・・・。

プリンター・・・の・・・故障・・・。

プリンターが・・・、

故障した・・・。

この時期に・・・。

最初は・・・、

インク切れだった・・・。

それで・・・、

インクカートリッジを購入して・・・、

取り替えて・・・、

印刷しようとしたら・・・、

操作パネルに・・・、

エラーメッセージが・・・。

何とかしようとしたが・・・、

どうにもならなかった・・・。

よりによって・・・、

この時期に・・・。

年賀状・・・、

どうしよう・・・。

便利なものに頼っていると・・・、

いざという時に困るものであるなあ・・・。

いい教訓になった・・・。

コンビニで働く女性・・・。

時々行くコンビニに・・・、

少し年配の女性が働いておられる・・・。

きつい仕事であるにもかかわらず・・・、

笑顔で精一杯働いておられる・・・。

いろんな事情があるのであろうが・・・、

働くことの素晴らしさを教えていただいた気がする・・・。

誠に、頭の下がる思いである・・・。

ポリテクセンターの女性・・・。

昔・・・、

仕事をやめたので・・・、

雇用保険を受給しながら・・・、

ポリテクセンターに通っていたことがある・・・。

建築 CAD のコースだった・・・。

そこで、一人の女性と出会った・・・。

その女性は・・・、

夫婦でラブホテルを経営するのが夢だと語っていた・・・。

ラブホテルの経営は儲かるから・・・、

とるのが理由らしかった・・・。

しかしながら・・・、

ラブホテルの経営は、本当に儲かるのか・・・、

なぜ、建築 CAD のコースを受講しているのか・・・、

私には、甚だ疑問であった・・・。

あれから随分と長い時間が流れた・・・。

あの女性は・・・、

ラブホテルの経営をしているのであろうか・・・？

そして、本当に儲かっているのでしょうか・・・？

時々思い出す・・・、

ポリテクセンターで出会った女性のことを・・・。

孟母断機・・・(大修館書店「社会人のための・漢詩漢文・小百科」より引用・・・)・・・。

大修館書店の・・・、

「社会人のための・漢詩漢文小百科をめくっていたら・・・、

孟母断機という言葉が眼についた・・・。

その意味は・・・、

孟子が修行の途中で家に帰ると、母は織りかけた機の布を断ち切って・・・、

「学問を途中でやめるというのはこれと同じことだ、完成させなければ何の役にも立たないのだ」

と戒めた・・・、

ということである・・・。

学問でも何でも・・・、

最後までやり遂げて・・・、

完成させることが必要なのであるなあ・・・。

それにしても・・・、

親が違えば・・・、

こうも違うものなのであるなあ・・・。

自分の親を見ると・・・、

ああ・・・、

やっぱり・・・、

がっかりするものであるなあ・・・。

大晦日・・・今年は・・・本当に・・・疲れた・・・(ピンク・フロイドを聴きながら・・・)・・・。

とうとう・・・、

大晦日・・・。

今年は・・・、

とにかく・・・、

疲れた・・・。

来年こそは・・・、

いい年であるように・・・、

祈っている・・・。

ピンク・フロイドを聴きながら・・・。

たこ焼き屋の女性・・・。

新年早々・・・、

海までドライブに行った・・・。

途中で・・・、

お腹が減ったので・・・、

たこ焼き屋さんに寄った・・・。

その店は・・・、

若くて・・・、

美しく・・・、

気立てのよい女性が・・・、

一人で切り盛りしているようであった・・・。

たこ焼きも本当に美味しかった・・・。

また行きたくなる店である・・・。

新年早々・・・、

縁起の良いことであるなあ・・・。

新年早々、親に苛つく・・・。

ああ・・・、

新年早々・・・、

親に苛つく・・・。

その上・・・、

妹が帰省するそうだ・・・。

ああ・・・、

嫌なものであるなあ・・・。

心理学で・・・、

近親憎悪という言葉があるらしいが・・・、

私の場合もそうなのであろうなあ・・・。

ああ・・・、

何とかしたいものであるなあ・・・。

新年早々・・・ひとつの恋が終わった・・・。

新年早々・・・、

ひとつの・・・、

恋が終わった・・・。

終わるものは・・・、

早めに終わって・・・、

良かったであろう・・・。

たぶん・・・。

初めて買った DVD・・・。

初めて買った DVD・・・、

それは・・・、

アダルト DVD である・・・。

しかしながら・・・、

それでは、あまりにも情けないので・・・、

アダルト系は除外する・・・。

とすると・・・、

Led Zeppelin の「熱狂のライブ」である・・・。

別に・・・、

Led Zeppelin が特別好きなわけではなかった・・・。

名前だけは知っていたので、昔、何枚か CD を持っていた程度のことである・・・。

では何故・・・、

そんなものを買ったのかというと・・・、

昔、家電店のポイントがある程度溜まった時に・・・、

その家電店に、DVD を買いに行った・・・。

本当は・・・、

ZARD か・・・、

中島みゆきさんの「夜会」が欲しかった・・・。

しかしながら・・・、

ポ・・・、

ポイントが・・・、

足りなかった・・・。

そこで・・・、

どういう訳か・・・、

Led Zeppelin の「熱狂のライブ」と・・・、

PS2 のソフト「龍が如く」を買ってしまった・・・。

今考えると・・・、

何でそんなものを買ったのか・・・？

よくわからない・・・。

ただ・・・、

「龍が如く」は面白く・・・、

何作もプレイした・・・。

「熱狂のライブ」も・・・、

毎晩のように観ていた・・・。

音楽そのものは・・・、

どこが良いのかよく分からなかったが・・・、

サイケデリックな映像が・・・、

何とも心地よかった・・・。

今では・・・、

その「熱狂のライブ」のDVDも行方不明であるが・・・。

時々思い出す・・・、

「熱狂のライブ」のDVDのことを・・・。

三社詣で・・・。

久しぶりに・・・、

三社詣でに行った・・・。

産土の神様・・・。

氏神様である、稲荷大明神・・・。

そして、弁天様・・・。

ご利益があれば良いなあ・・・。

ゴミの中で寝ていた親友・・・。

学生時代・・・、

親友がいた・・・。

少なくとも私は・・・、

彼のことを、親友だと思っていた・・・。

とても良い奴だった・・・。

しかしながら・・・、

ひとつだけ欠点があった・・・。

部屋を片付けられないのだ・・・。

彼の下宿は・・・。

本と、ゴミの山で埋まっていた・・・。

万年床の上にも、ゴミが散乱していた・・・。

それで彼は・・・、

寝袋に寝ていた・・・。

大学卒業後・・・、

彼とは会わなくなった・・・。

風の便りで・・・、

今では・・・、

彼も結婚して・・・、

幸せな暮らしをしていると聞いた・・・。

彼の部屋は・・・、

今では綺麗に片付いているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

ゴミの中で寝ていた親友の事を・・・。

寺田の鉄則・・・。

寺田の鉄則・・・。

今の若い受験生の方は・・・、

ご存じないと思うが・・・、

30年以上前には・・・、

数学の、定番受験参考書であった・・・。

私も・・・、

寺田の鉄則で勉強した・・・。

決して、数学が得意ではなかった・・・、

しかしながら・・・、

寺田の鉄則だけは、やった・・・。

特に・・・、

数I・・・。

そのなかでも・・・、

整数の証明は・・・、

徹底的にやった・・・。

問題も、回答も憶えてしまうほど・・・。

受験のあと・・・、

寺田の鉄則は・・・、

友達にあげてしまった・・・。

だから手元にはない・・・。

ああ・・・、

寺田の鉄則・・・。

愛すべき名著・・・、

寺田の鉄則・・・。

もう一度買って・・・、

勉強してみたいものであるなあ・・・。

最近・・・少し・・・太ったかなあ・・・？

子供の頃・・・、

肥満児だった・・・。

それがコンプレックスだった・・・。

高校生になって・・・、

ダイエットした・・・。

なんとか痩せた・・・。

それから・・・、

痩せたり・・・、

太ったりを・・・、

周期的に繰り返している・・・。

最近・・・、

太り始めた・・・、

そろそろ・・・、

何らかの手を打たねば・・・。

あんまり・・・、

太りたくはないものであるなあ・・・。

ハンバーグ・・・。

今夜・・・、

初めて・・・、

ハンバーグを作った・・・。

以外にも・・・、

美味しかった・・・。

自分で料理するということは・・・、

いいものであるなあ・・・。

ああ・・・、

ハンバーグ・・・。

これからも・・・、

料理をしよう・・・。

海辺のたこ焼き屋さんに・・・また行った・・・。

正月に・・・、

海辺にあるたこ焼き屋さんに行って以来・・・、

たこ焼き屋さんにハマっている・・・。

どうしても・・・、

また・・・、

海辺にある、あのたこ焼き屋さんに行きたくなった・・・。

それで・・・、

何も考えずに・・・、

また行ってしまった・・・。

店主の女性は・・・、

相変わらず美しく・・・、

気立てだ良かった・・・。

そして私は・・・、

回転焼きを買った・・・。

本当に美味かった・・・。

気立てのいい人が作る食べ物は・・・、

本当に美味しいものであるなあ・・・。

ああ・・・、

またあの店に行ってみたくなった・・・。

遠回り・・・。

家に居たくなくて・・・、

ドライブに行った・・・、

目的も・・・、

目的地もなく・・・。

ただ・・・、

車を走らせた・・・。

そして・・・、

遠回り・・・、

遠回り・・・、

遠回り・・・。

ただひたすら・・・、

車を走らせ・・・、

遠回り・・・。

家に帰り着いた頃には・・・、

疲れ果てていた・・・。

でも・・・、

遠回りのドライブも・・・、

たまにはいいな・・・。

レディーボーデン・・・。

子供の頃・・・、

アイスクリームが好きだった・・・。

まあ・・・、

今でもだが・・・。

子供の頃憧れたのは・・・、

レディーボーデンだった・・・。

若い人にはわからないかもしれないが・・・。

たまにしか食べることの出来ない、高級品？ だった・・・。

ハーゲンダッツが普及するとともに・・・、

レディーボーデンを見かけなくなった・・・。

ああ・・・、

レディーボーデン・・・。

懐かしいなあ・・・。

もう一度食べてみたいなあ・・・。

レディーボーデン・・・。

サザンが好きだった女性・・・。

中学時代・・・、

サザンファンのクラスメイトがいた・・・。

小泉今日子さんに似た、綺麗な人だった・・・。

彼女はサザンファンで・・・、

当時大ヒットしていた「チャコの海岸物語」・・・、

のドーナツ盤を・・・、

学校に持ってきたりしていた・・・。

私は密かに・・・、

彼女に憧れていた・・・。

しかしながら・・・、

彼女は・・・、

突然、転校してしまった・・・。

奇遇にも・・・、

同じ大学に進学したのではあるが・・・、

一度も会うことはなかった・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が過ぎ去った・・・。

彼女は今でも元気なのであろうか・・・？

そして・・・、

今も、サザンファンなのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

小泉今日子さんに似た、サザンファンの女性のことを・・・。

知って犯した罪と、知らずに犯した罪・・・。

知って犯した罪・・・。

知らずに犯した罪・・・。

どちらが罪深いのであろうか・・・？

どうやら、仏教的には・・・、

知らずに犯した罪のほうが重いと考えられているようだ・・・。

ブツダ様は、焼けた鉄の棒の喩えを説いておられる・・・。

焼けた鉄の棒を、熱いと知って握れば、やけどは軽くて済むが・・・、

知らずに握れば、思いやけどをすることになる・・・、

ということらしい・・・。

また・・・、

悪いとわかっているならば、少しは手加減をするが・・・、

悪いとわかっていなければ、全く手加減しないからだそうだ・・・。

一方、キリスト教的に、というか、スウェーデンボルグによれば・・・、

知って犯した罪のほうが重いということである・・・。

とにかく・・・、

罪は犯さずにいたいものである・・・。

しかしながら・・・、

我々人間は・・・、

知っているか否とにかかわらず・・・、

生きていくうえで・・・、

大小様々な罪を犯してしまう・・・。

だからこそ・・・、

積善改過という言葉があるのであろう・・・。

善をなし・・・、

間違いを改めよう・・・。

最近・・・やたらと・・・コーヒーを飲む・・・。

最近・・・、

やたらと・・・、

コーヒーを飲む・・・。

本格的なものではない・・・。

缶コーヒーや・・・、

ボトルコーヒーである・・・。

それでも、十分うまい・・・。

そしてやたらと・・・、

タバコを吸う・・・。

ストレスが溜まっているのか・・・？

疲れているのか・・・？

しかしながら・・・、

そんなことはどうでも良い・・・。

私は・・・、

コーヒーと・・・、

タバコが好きだ・・・。

それで十分ではあるまいか・・・？

カラスの行水・・・？

私は・・・、

お風呂の時間が短い・・・。

というか・・・、

熱いお湯で、早く済ませる・・・。

カラスの行水である・・・。

江戸っ子ではないのだが・・・。

なんとなく・・・、

長湯は苦手である・・・。

しかしながら・・・、

本当は・・・、

ゆっくりお風呂に入りたいのであるが・・・。

どうしてもできない・・・。

10分前後で済ませてしまう・・・。

ああ・・・、

たまには・・・、

長湯をしてみたいものであるなあ・・・。

前田の物理・・・。

今の受験生の方はご存じないであろうが・・・、

私が受験生の頃は・・・、

「前田の物理」といえば・・・、

大学受験物理の定番参考書であった・・・。

しかしながら・・・、

それは、理系のための本であった・・・。

ところが、どういう訳か・・・、

私は、文系であるにもかかわらず・・・、

チャレンジしてしまった・・・。

結果は、惨敗・・・。

1%も理解できなかった・・・。

それで私は、理科を諦めた・・・。

それは、国立を諦めることを意味する・・・。

仕方なく・・・、

私立文系に進学した・・・。

そんな思い出のある本・・・、

それが・・・、

「前田の物理」である・・・。

しかも・・・、

まだ手元にある・・・。

もう一度・・・、

チャレンジしてみようか・・・？

今度こそは・・・。

ああ・・・、

「前田の物理」・・・、

愛すべき・・・、

「前田の物理」・・・。

歯磨き。

毎日、

歯を磨く。

毎朝、

毎晩。

めんどくさいなあ。

でも、

歯を磨く。

面倒くさいけど、

歯を磨く。

毎日、

毎日。

最近・・・よく食べる・・・。

最近・・・、

よく食べる・・・。

何でも・・・、

美味しい・・・。

ご飯も・・・、

お菓子も・・・、

肉も・・・、

魚も・・・、

野菜も・・・、

たこ焼きも・・・、

焼きそばも・・・、

回転焼きも・・・、

チョコレートも・・・、

何でも美味しい・・・。

おかげで・・・、

2キロ太った・・・。

最近・・・、

何でも・・・、

美味しい・・・。

そして・・・、

何でも・・・、

よく食べる・・・。

わがまま・・・。

わがままだった・・・。

今日、気がついた・・・。

自分のことしか考えていなかった・・・。

だから・・・、

なんとなく・・・、

苦しかった・・・。

それを・・・、

人のせいにしていた・・・。

でも、今日、気がついた・・・、

全部・・・、

自分のわがままのせいだった・・・。

もう・・・、

わがままはやめよう・・・。

そう思った・・・。

おしるこの缶ジュース・・・？・・・缶入りおしるこ・・・？
（ガーネット・クロウの「忘れ咲き」を聴きながら・・・。）

回転焼きを買いに行った・・・。

しかし・・・、

売り切れだった・・・。

それで・・・、

たい焼きを買おうとした・・・。

でも・・・、

売り切れだった・・・。

そこで・・・、

たこ焼きを頼んだ・・・。

支払いの後に・・・、

お店のお姉さんが・・・、

おしるこの缶ジュースを、おまけでくれた・・・。

缶入りおしるこ・・・というべきか・・・？

でも・・・、

呼び方なんて・・・、

どっちでも良い・・・。

おねえさんの優しさが・・・、

嬉しかった・・・。

そんな、小春日和だった・・・。

カラオケスナックの女性・・・。

学資時代・・・、

ゼミの飲み会・・・。

そして・・・、

二次会・・・。

カラオケスナックへ・・・。

そこで・・・、

綺麗な女性が働いていた・・・。

私は・・・、

杉良太郎さんの・・・、

「おまえとおれ」・・・、

を歌った・・・。

何故その歌を歌ったのか・・・、

忘れてしまった・・・。

子供の頃・・・、

父親が歌っていたのではあるが・・・。

とにかく歌った・・・、

「おまえとおれ」・・・、

・・・を・・・。

歌い終わると・・・、

その綺麗な女性が・・・、

花の首飾りをかけてくれた・・・。

にっこり・・・、

微笑みながら・・・。

あれから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

あの綺麗な女性は・・・、

今も元気でおられるのであろうか・・・？

ときどき思い出す・・・、

カラオケスナックで働いていた・・・、

綺麗な女性のことを・・・。

歯医者さんの思い出・・・。

幼い頃・・・、

母に連れられ・・・、

歯医者さんに行った・・・。

母が支払いをしているうちに・・・、

私は一人で、車に戻った・・・。

そして・・・、

車のギアや、サイドブレーキ、ハンドルなどを、めちゃくちゃに動かした・・・。

すると・・・、

な・・・、

なんと・・・、

車が・・・、

後ろに動き始めた・・・。

たぶん・・・、

ギアをニュートラルにしてしまい、サイドブレーキを外したのであろう・・・。

駐車場に、傾斜があったことも原因であると思われる・・・。

私は驚いた・・・。

そこへ・・・、

どういう訳か・・・、

父親がやってきた・・・。

そして・・・、

車に乗り、車を止めてくれた・・・。

父親は、仕事帰りであったのであろうか・・・？

とにかく・・・、

事なきを得た・・・。

そんな・・・、

へんてこな思い出がある・・・。

それしても・・・、

事故にならずに済んで、本当に良かったと思う・・・。

父には本当に感謝している・・・。

ときどき苛つくが・・・、

親というものは・・・、

本当にありがたい存在である・・・。

歯医者さんの思い出・・・2・・・(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・)・・・。

小学生の頃・・・、

たぶん・・・、

夏休みだったと思う・・・。

ばあちゃんと、妹と、私の3人で・・・、

歯医者さんに行った・・・。

それも・・・、

自転車に乗って・・・。

何故・・・、

自転車で・・・、

歯医者さんに行ったのであろうか・・・？

歯医者さんの治療の後に・・・、

自転車に乗るのは・・・、

あまり、良いことではないと思うのだが・・・。

とにかく・・・、

3人で・・・、

自転車に乗って・・・、

歯医者さんに行った・・・。

ただそれだけのことである・・・。

しかしながら・・・、

祖母亡き今となっては・・・、

何とも言えない・・・、

懐かしい思い出である・・・。

初めて・・・畑に・・・種を巻いた・・・(ガーネット・クロウ「夢のひとつ」を聴きながら・・・)・・・。

生まれて初めて・・・、

畑に・・・、

種を巻いた・・・。

よく知らない野菜の種だ・・・。

慣れていないので・・・、

よくわからないままやった・・・。

15分位で終わった・・・。

何だか・・・、

すっきりした・・・。

種から・・・、

芽が出て・・・、

野菜を収穫できれば良いなあ・・・。

それにしても・・・、

祖母は・・・、

どんな思いで・・・、

畑仕事をしていたのであろうか・・・？

もうちょっと・・・、

祖母の手伝いをしておけばよかったなあ・・・。

そんなことを考えた・・・。

外は・・・、

春の陽気だった・・・。

相撲好きだった男・・・。

大学時代・・・、

体育を・・・、

四年生まで持ち越した・・・。

四年生になって・・・、

仕方なく・・・、

相撲を選択した・・・。

好き好んで選択したわけではなかったが・・・、

他に残っているものが・・・、

アメフト・・・、

ラグビー・・・、

空手・・・、

等だったので・・・、

相撲は、まだマシだろうと思ったからである・・・。

その相撲の授業に・・・、

一人だけ、社会人の先輩が参加していた・・・。

土曜日の午後の授業だったので・・・、

仕事帰りに参加しているとの事だった・・・。

週休二日制が導入される直前のことである・・・。

私は不思議に思った・・・。

何故、仕事帰りに、わざわざ相撲をとりに来るのであろうか・・・？

・・・と・・・。

しかしながら・・・、

今なら・・・、

何となくわかる・・・。

多分・・・、

ストレス解消であったのだろう・・・。

大学を卒業してから・・・、

随分と長い年月が経過した・・・。

あの先輩は、今でも元気でおられるのであろうか・・・？

そして・・・、

今でも相撲をとっておられるのであろうか・・・？

ときどき思い出す・・・、

相撲好きだった男のことを・・・。

久々の・・・ネイションズカップ・・・。

久々の・・・、

グランツーリスモ7・・・、

ネイションズカップ・・・。

久しぶりだったから・・・、

緊張した・・・。

そのためか・・・、

何だか・・・、

疲れた・・・。

ああ・・・、

グランツーリスモ7・・・。

ああ・・・、

ネイションズカップ・・・。

ミニスカートの女性・・・。

先日・・・、

ドライブの帰りに・・・、

ガソリンスタンドの前を通った・・・。

すると・・・、

ミニスカートの女性が・・・。

もう春だなあ・・・、

と思った・・・。

というのは建前であり・・・、

本音は・・・、

なんて綺麗な足なんだろうか・・・、

素敵な女性だなあ・・・、

あんな恋人が欲しいなあ・・・、

と思った・・・。

やはり・・・、

男とは・・・、

そういうものであるなあ・・・。

しかしながら・・・、

もう、本当に・・・、

春の陽気であるなあ・・・。

自動販売機・・・。

車で・・・、

海まで走っていた道にあった・・・、

自動販売機・・・。

今では・・・、

もう無い・・・。

いつも・・・、

その自動販売機で・・・、

缶コーヒーを買っていた・・・。

どうでもいいことなのかもしれないが・・・、

何となく・・・、

寂しい・・・。

ただそれだけのことである・・・。

同級生・・・。

同級生と飲んだ・・・。

皆幸せそうだった・・・。

朋が皆・・・、

自分より偉く思えた・・・。

石川啄木の気持ちが・・・、

よくわかったような気がする・・・。

楽しかったが・・・、

なんとなく・・・、

虚しかった・・・。

親に・・・苛々する・・・なんか・・・情けない・・・。

親に・・・、

苛々する・・・。

他人には・・・、

苛々しないのに・・・。

どうしても・・・、

親の言動には・・・、

ムカついてしまう・・・。

ああ・・・、

情けないのう・・・。

しかしながら・・・、

親を見れば・・・、

ああ・・・、

苛々するのも・・・、

仕方がないことなのかもなあ・・・？

さすがに・・・回転焼きも・・・飽きてきた・・・。

今年に入って・・・、

たこ焼き・・・、

回転焼き・・・、

たい焼き・・・、

唐揚げ・・・、

等の、B級グルメにはまっていた・・・。

しかしながら・・・、

流石に飽きてきた・・・。

ただ・・・、

焼きそばは飽きない・・・。

というよりも・・・、

今度は・・・、

焼きそばにハマった・・・。

ああ・・・、

焼きそばは・・・、

旨いなあ・・・。

明日も焼きそば食いたいなあ・・・。

ネットで出会った貴方・・・(ガーネット・クロウ「世界はま
わると言うけれど」を聴きながら・・・)・・・。

ああ・・・、

ネットで出会った・・・、

貴方・・・。

一日一回のメール・・・。

最初は・・・、

めんどくさかった・・・。

でも・・・、

今では・・・、

貴方からのメールが・・・、

待ち遠しい・・・。

今夜も・・・、

貴方からのメールを・・・、

待っています・・・。

台湾の・・・バスガイドさん・・・。

旅行で訪れた・・・、

台湾・・・。

バスガイドの女性・・・。

はじめは・・・、

話を聴いていなかった・・・。

しかし・・・、

彼女の誠実な話に・・・、

徐々に・・・、

引きこまれていった・・・。

誠実さというものは・・・、

本当に大切なことだと・・・、

教わった・・・。

あれから・・・、

随分と長い時間が過ぎ去った・・・。

あのバスガイドの女性は、今でも元気なのであろうか・・・？

そして、今でもバスガイドの仕事をなさっているのであろうか・・・？

ときどき思い出す・・・、

台湾の、バスガイドの女性のことを・・・。

父親に・・・苛々するようになったのは・・・なぜだろう・・・
まあ・・・どうでもいいことではあるが・・・。

父親に・・・、

苛々する・・・。

子供の頃は・・・、

そんなこと無かったのだが・・・。

だんだん・・・、

苛々するようになった・・・。

早くいなくなって欲しいとさえ思う・・・。

なぜだろう・・・？

父親の表情が・・・、

目が・・・、

異常性を帯びているような気がする・・・。

まあ・・・、

そんなことは・・・、

どうでもいいことなのではあるが・・・。

強くなれ・・・。

強くなれ・・・。

強くなければ・・・、

善を為すことも出来ない・・・。

それどころか・・・、

悪をなしてしまう・・・。

まずは強くなること・・・、

それが先決である・・・。

強くなったあと・・・、

正しくなればいい・・・。

何となく・・・、

そんな気がする・・・。

とにかく・・・、

強くなろう・・・。

氷の砂漠・・・。

私は・・・、

ずっと・・・、

歩き続けている・・・。

氷の砂漠を・・・、

たった一人で・・・。

この先に・・・、

何があるのか・・・、

わからない・・・。

天国か・・・？

それとも地獄か・・・？

何もないのか・・・？

わからない・・・。

ただ・・・、

この・・・、

氷の砂漠を・・・、

歩き続けている・・・。

ただ・・・、

歩き続けている・・・、

氷の砂漠を・・・、

たった一人で・・・。

朋・・・確かに・・・繋がっている・・・。

孤独感に苛まれている時・・・、

どうしようもなく、苦しんでいる時・・・、

絶妙なタイミングで・・・、

連絡をくれる朋がいる・・・。

悪夢から救い出されて・・・、

ホッとする・・・。

離れていても・・・、

繋がっているのだなあ・・・。

あの人も・・・、

この・・・、

同じ夜空の下にいるのであるなあ・・・。

寒い時こそ・・・筋トレ・・・。

寒い・・・。

しかしながら・・・、

寒い時こそ・・・、

筋トレだ・・・。

腕立て伏せ・・・、

スクワット・・・、

等等・・・。

体があたたまる・・・。

ああ・・・、

筋トレ・・・。

寒い時こそ・・・、

筋トレ・・・。

真っ赤なソアラ・・・。

ソアラを見かけた・・・。

真っ赤なソアラを・・・。

久しぶりに見た・・・。

状態は良さそうだった・・・。

ただ・・・、

残念ながら・・・、

ボンネットの塗装が剥げかけていた・・・。

30年以上前の車だから・・・、

それは致し方ない・・・。

それにしても・・・、

小さく感じた・・・、

というか・・・、

小さかった・・・。

昔は・・・、

あんなに大きく感じたのに・・・。

車は・・・、

どんどん巨大化しているものなんだなあ・・・。

ああ・・・、

ソアラ・・・、

真っ赤な・・・、

ソアラ・・・。

ありがとう・・・、

トヨタ・・・。

唐揚げ・・・。

最近・・・、

よく行く唐揚げ屋さんがある・・・。

若くて・・・、

気立てのいい女性が・・・、

一人で切り盛りしておられる・・・。

チェーン店にはない・・・、

良さがある・・・。

その唐揚げを食べると・・・、

元気になる・・・。

しかも・・・、

格別に旨い・・・。

ああ・・・、

唐揚げ・・・。

また食べたいなあ・・・。

あのお店の唐揚げを・・・。

回転焼き・・・。

回転焼き・・・。

最近・・・、

ハマっている・・・。

昔はそれほど好みではなかったのであるが・・・。

最近は、よく食べる・・・。

毎週食べる・・・。

旨いんだよなこれが・・・。

そのためか・・・、

最近太った・・・。

それでも食べたい・・・、

回転焼き・・・。

ああ・・・、

回転焼き・・・。

愛すべき・・・、

回転焼き・・・。

生きるということ・・・死ぬということ・・・。

尾崎豊が・・・、

26歳で死んだ時・・・、

私は23歳だった・・・。

自分も・・・、

26歳で死のうと思った・・・。

でも・・・、

死ねなかった・・・。

芥川は・・・、

36歳になる前に死んだので・・・、

自分も・・・、

36歳になる前に死のうと思った・・・。

しかしながら・・・、

死ねなかった・・・。

人はそう簡単には死ねない・・・。

生きるということは・・・、

苦しみの連続である・・・。

愛別離苦・・・。

怨憎会苦・・・。

等など・・・。

それでも・・・、

生きていくしか無い・・・。

生命尽きるまで・・・。

レビンの男・・・。

昔・・・、

職場に・・・、

一歳年上の先輩がいた・・・。

国立大卒のインテリだった・・・。

彼は・・・、

カローラレビンに乗っていた・・・。

しかし・・・、

時々・・・、

シビックに乗ってやってきた・・・。

そのシビックは、県外で働いている弟さんの車だった・・・。

車は、乗らないでおくとも動かなくなるので・・・、

時々、通勤に使っていたのだ・・・。

そこで私は、尋ねてみた・・・。

「レビンとシビック、どっちが速いですか・・・？」

・・・と・・・。

すると・・・、

「シビックの方が速いよ。Vtecは、高回転の伸びがいいからね・・・。」

・・・と・・・彼は答えた・・・。

私は、妙に納得した・・・。

それからしばらくして・・・、

私はその職場を去った・・・。

それから・・・、

幾年月が流れたであろうか・・・？

彼は今も元気であるのであろうか・・・？

そして・・・、

今でもレビンに乗っているのであろうか・・・？

そして・・・、

弟さんと、弟さんのシビックは・・・？

時々思い出す・・・、

カローラレビンに乗っていた男のことを・・・。

天の評価・・・。

人は・・・、

無責任な言動をとる・・・。

誹謗中傷・・・、

イジメ・・・、

差別・・・、

パワハラ・・・、

モラハラ・・・、

セクハラ・・・、

等等・・・。

現代人の道德観念は、地に落ちている・・・。

他人など、当てにならない・・・。

しかしながら・・・、

天は・・・、

公平である・・・。

自分がやっただけのことが返ってくる・・・。

因果応報・・・、

善因善果・悪因悪果・・・、

である・・・。

たとえ・・・、

他人に評価されなくとも・・・、

天に評価される人間でありたいものである・・・。

積善・改過に励もう・・・。

海沿いを走る・・・。

海まで・・・、

車を走らせた・・・。

もう・・・、

そんなに寒くはない・・・。

海沿いを走る・・・。

何のために・・・？

目的など無い・・・。

いや・・・、

最近出来た・・・。

海沿いにある・・・、

たこ焼き屋さんだ・・・。

正確に言えば・・・、

そこの・・・、

女性店員さんだ・・・。

いつも笑顔で・・・、

気立てのいい・・・、

綺麗な人である・・・。

これは・・・、

恋なのであろうか・・・？

ああ・・・、

もう、春なんだなあ・・・。

point of no return (回帰不能点) . . . (ケミストリーさんの
曲のタイトルを借りた . . .)

point of no return は . . . 、

とっくに過ぎている . . . 。

もう . . . 、

後戻りは出来ない . . . 。

このまま . . . 、

前へ . . . 、

前へと . . . 、

進む以外に、道はない . . . 。

ここまで来たのだ . . . 、

行けるところまで行こう . . . 。

この道・・・。

今まで・・・、

歩いてきた・・・、

この道・・・。

もう・・・、

周りには、誰もいなくなった・・・。

先を見ても、何も見えなくなった・・・。

どこに辿り着くのか・・・？

どこにも辿りつけないのか・・・？

それでも・・・、

私は・・・、

歩いて行く・・・。

この道を・・・。

「酒の一滴、血の一滴」・・・と言っていた先輩・・・。

大学時代・・・、

飲み会のたびに・・・、

「酒の一滴、血の一滴」・・・、

と言っていた先輩がいた・・・。

中曽根首相に似た風貌で・・・、

面白い先輩だった・・・。

彼は・・・、

確か、一流企業に就職したと思う・・・。

卒業以来・・・、

彼とは会っていない・・・。

あれから随分と長い年月が流れた・・・。

あの先輩は・・・、

今でも元気でおられるのであろうか・・・？

そして・・・、

今でも・・・、

中曽根さんに似た風貌なのであろうか・・・？

そして何より・・・、

今でも・・・、

「酒の一滴、血の一滴」・・・、

と、曰っているのでしょうか・・・？

時々思い出す・・・、

中曽根首相に似た男のことを・・・。

ベルマーク・・・。

そのむかし・・・、

ベルマークというものがあつた・・・。

お菓子や、ガムなどについていた・・・。

そして・・・、

それを、学校で集めたりしていた記憶が・・・。

でも・・・、

ベルマークって・・・、

一体何だったのであろうか・・・？

今となつては・・・、

謎である・・・。

今でも・・・、

ベルマークは存在するのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

ベルマークのことを・・・。

Zippo . . . 。

Zippo . . . 。

大好きだった . . . 、

Zippo . . . 。

家にいない時に . . . 、

家族に捨てられた . . . 。

ああ . . . 、

Zippo . . . 。

どこにいったのだ . . . 、

Zippo . . . 。

愛すべき . . . 、

Zippo . . . 。

努力と・・・才能・・・。

才能・・・、

があればいい・・・。

しかしながら・・・、

才能が無ければ・・・、

その分、努力をすればいい・・・。

他人の、十倍も二十倍も努力するのが本物である・・・、

とは、安岡先生の言葉であったと思う・・・。

またある人は・・・、

天才とは努力の別名である・・・、

と言った・・・。

私の祖母は・・・、

他人が一時間勉強するときには、二時間勉強せよ・・・、

他人が二時間勉強するときには、三時間勉強せよ・・・、

他人が三時間勉強するときには、五時間勉強せよ・・・、

他人が五時間勉強するときには、眠らずに勉強せよ・・・、

と言っていた・・・。

ああ・・・、

本当に・・・、

努力というものは・・・、

大切であるなあ・・・。

毒親

毒親

いまはやりの

毒親

ああ・・・

毒親

やはり

毒親

正しく

毒親

どうにかならんものかなあ・・・。

しかしながら・・・、

もしかすると・・・、

私の方が・・・、

毒子なのかもしれない・・・。

ああ・・・、

なんてこった・・・！

昔・・・親友がいた・・・。

今となっては・・・、

もう・・・、

昔の話であるが・・・。

私には・・・、

親友がいた・・・。

しかしながら・・・、

その友情は・・・、

脆くも崩れ去った・・・。

私には・・・、

親友がいた・・・。

今となっては・・・、

もう・・・、

昔の話であるが・・・。

オイル交換・・・。

オイル交換した・・・。

最近、エンジンの調子が・・・、

何となく・・・？

と、感じていた・・・。

それで・・・、

オイル交換してもらった・・・。

例によって言われた・・・、

「・・・それと、オイルほとんど入っていませんでしたよ・・・。」

・・・と・・・。

やはりそうか・・・。

それにしても・・・、

ヴィッツは・・・、

オイルをよく喰う・・・。

ああ・・・、

ヴィッツ・・・。

ああ・・・、

もうすぐ車検なのだ・・・。

消しゴム・・・。

消しゴムがあったら・・・。

魔法の消しゴムがあったら・・・。

嫌な過去を消せるのに・・・。

心の中の・・・、

どす黒いものを消せるのに・・・。

そんな・・・、

魔法の消しゴム・・・、

あったらいいのになあ・・・。

こころの絆創膏・・・。

こころに貼れる・・・、

絆創膏が・・・、

あったらいいのになあ・・・。

こころの傷を治す・・・、

魔法の絆創膏があればなあ・・・。

傷だらけのこころも・・・、

癒やされるのになあ・・・。

こころに貼れる絆創膏・・・、

あったらいいなあ・・・。

小鳥さんが・・・横断歩道を・・・。

車を運転していた・・・、

横断歩道があったので、スピードをゆるめた・・・、

しかし・・・、

歩行者の方がおられなかったので・・・、

徐行しながら、東り過ぎようとした・・・、

その瞬間・・・、

小鳥さんが・・・、

な・・・、

なんと・・・、

横断歩道を渡ろうとしていた・・・。

何とか避けて通った・・・。

バックミラーで確認したら・・・、

小鳥さんが・・・、

横断歩道を渡っていた・・・。

小鳥さん・・・、

びっくりさせてごめんね・・・。

これから・・・、

もっと・・・、

安全運転するね・・・。

教えてくれて、ありがとう・・・、

小鳥さん・・・。

チョコレート饅頭・・・。

たこ焼き屋さんで・・・、

チョコレート饅頭を買った・・・。

これが滅法美味かった・・・。

回転焼きに、チョコクリームが入っているだけなのだが・・・、

不思議な美味しさだった・・・。

ああ・・・、

明日も食べたいなあ・・・、

チョコレート饅頭・・・。

春の嵐・・・。

外では・・・、

春の嵐が・・・、

吹き荒れている・・・。

期待と不安が入り混じっている・・・。

これから・・・、

良くなるのであろうか・・・？

それとも・・・？

ああ・・・、

良くなってほしいものであるなあ・・・。

風前の灯・・・。

私は・・・、

辛うじて、生存している・・・。

まさに・・・、

風前の灯である・・・。

風が吹いたり・・・、

雨が降ったりすれば・・・、

あっという間に消えてしまう・・・。

私は・・・、

辛うじて、生存している・・・。

風前の灯である・・・。

菜の花・・・。

菜の花が咲いていた・・・。

鮮やかな黄色の花だった・・・。

寒の戻りがあったが・・・、

もう・・・、

春なのであるなあ・・・。

草刈り・・・。

草刈り・・・、

草刈り・・・。

きつい草刈り・・・。

楽しい草刈り・・・。

ばあちゃんは・・・、

毎日毎日・・・、

黙々と・・・、

草刈りしていたなあ・・・。

これからは・・・、

草刈りの季節・・・。

ばあちゃんの方まで・・・、

草刈りしようなあ・・・。

週に2日・・・。

ああ・・・、

週に・・・、

2日だけ会えるあなた・・・。

いつも・・・、

あなたのことを考えています・・・。

毎日会えるならば・・・、

どんなにか幸せなことでしょう・・・。

ああ・・・、

週に・・・、

2日だけ会えるあなた・・・。

おお・・・、

ああ・・・、

春であるなあ・・・。

夢・・・。

今朝方・・・、

あなたの夢を見ました・・・。

20年も会っていないのに・・・、

あなたは・・・、

若いままでしたね・・・。

ただ・・・、

ロングヘアから・・・、

ショートヘアに変わっていましたね・・・。

相変わらず美しい・・・。

また会いたいですね・・・。

今度は・・・、

夢の中ではなく・・・、

現実世界で・・・。

マーテルジャック・N

学生時代・・・、

同じ下宿に・・・、

Nという男が住んでいた・・・。

彼とは一度も話をしたことがない・・・。

しかしながら・・・、

学園祭の時・・・、

プロレス同好会が・・・、

興行をしていた・・・。

そこで・・・、

な・・・、

なんと・・・、

彼を見つけた・・・。

彼は・・・、

マーテルジャック・Nと名乗っていた・・・。

それから・・・、

私の彼を見る目が変わった・・・。

あいつはただの男じゃない・・・、

プロレス同好会の、マーテルジャック・Nだ・・・。

そんな感じだった・・・。

それから、随分と長い年月が流れた・・・。

彼は今も元気であるのであろうか・・・？

そして・・・、

今でもプロレスを続けているのであろうか・・・？

時々思い出す・・・、

同じ下宿に住んでいた・・・、

マーテルジャック・Nのことを・・・。

それにしても・・・、

マーテルジャックって・・・、

一体どんな意味なのであろうか・・・？

ネットで検索すれば・・・、

すぐにわかるのかもしれないが・・・、

そんな気にはならない・・・。

謎は、謎のままのほうがいい・・・。

それにしても・・・、

本当に・・・、

謎めいた男だ・・・。

マーテルジャック・Nという男は・・・。

国連に行った女性・・・。

大学時代の・・・、

親友だった女性が・・・、

国連職員になった・・・。

もう・・・、

30年近く前の話である・・・。

最初の赴任地は・・・、

オーストリアのウィーンだった・・・。

今では・・・、

国連をやめている・・・。

旦那さんが・・・、

ニューヨーク州の弁護士で・・・、

彼女自身も・・・、

ニューヨーク州の・・・、

弁護士資格を持っている・・・。

優雅な暮らしをしていることであろうなあ・・・。

彼女と会うことは・・・、

もう二度と無いであろう・・・。

時々思い出す・・・、

国連に行った女性のことを・・・。

こころのうた

著 者 tomo4307

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
